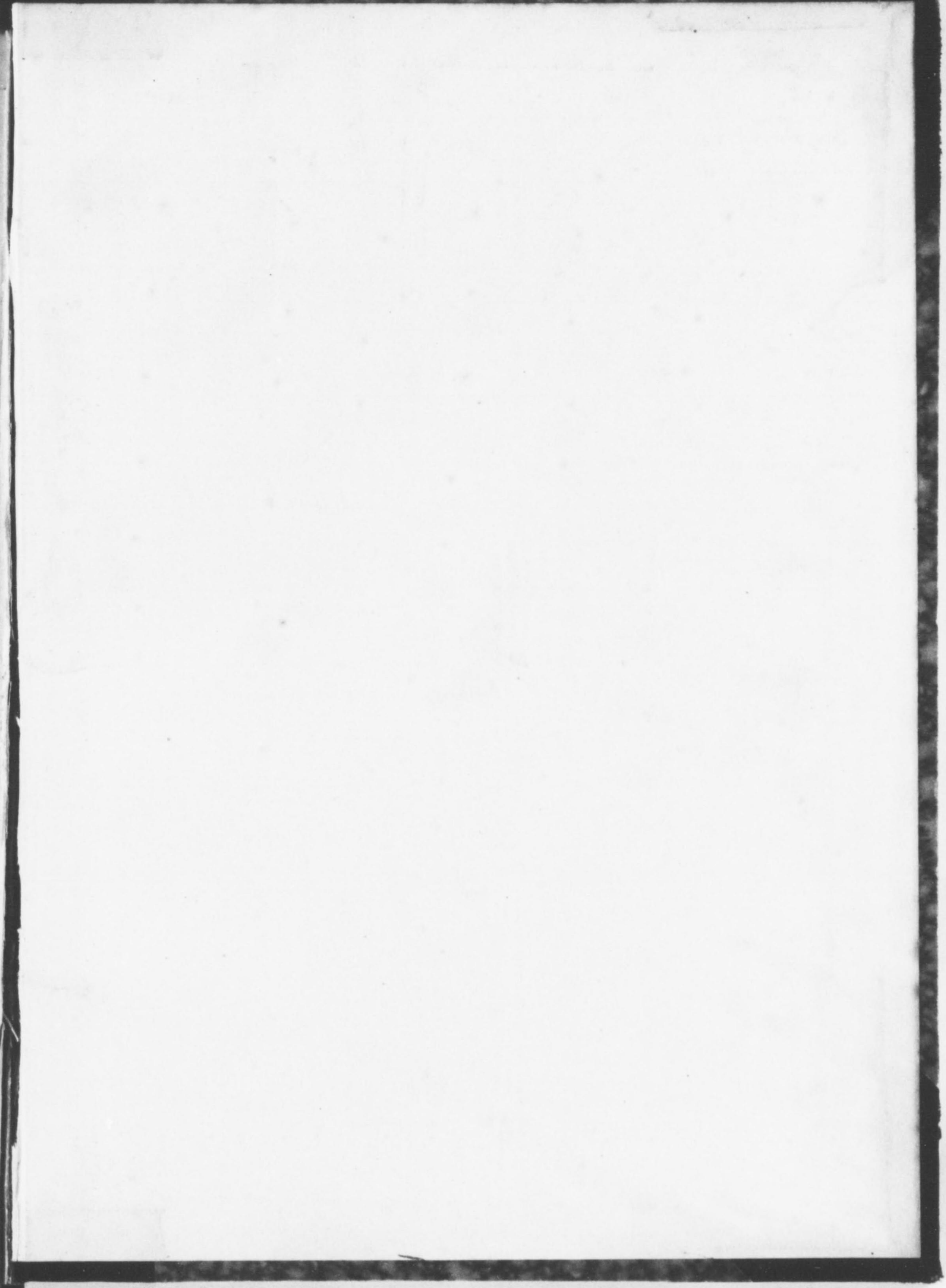
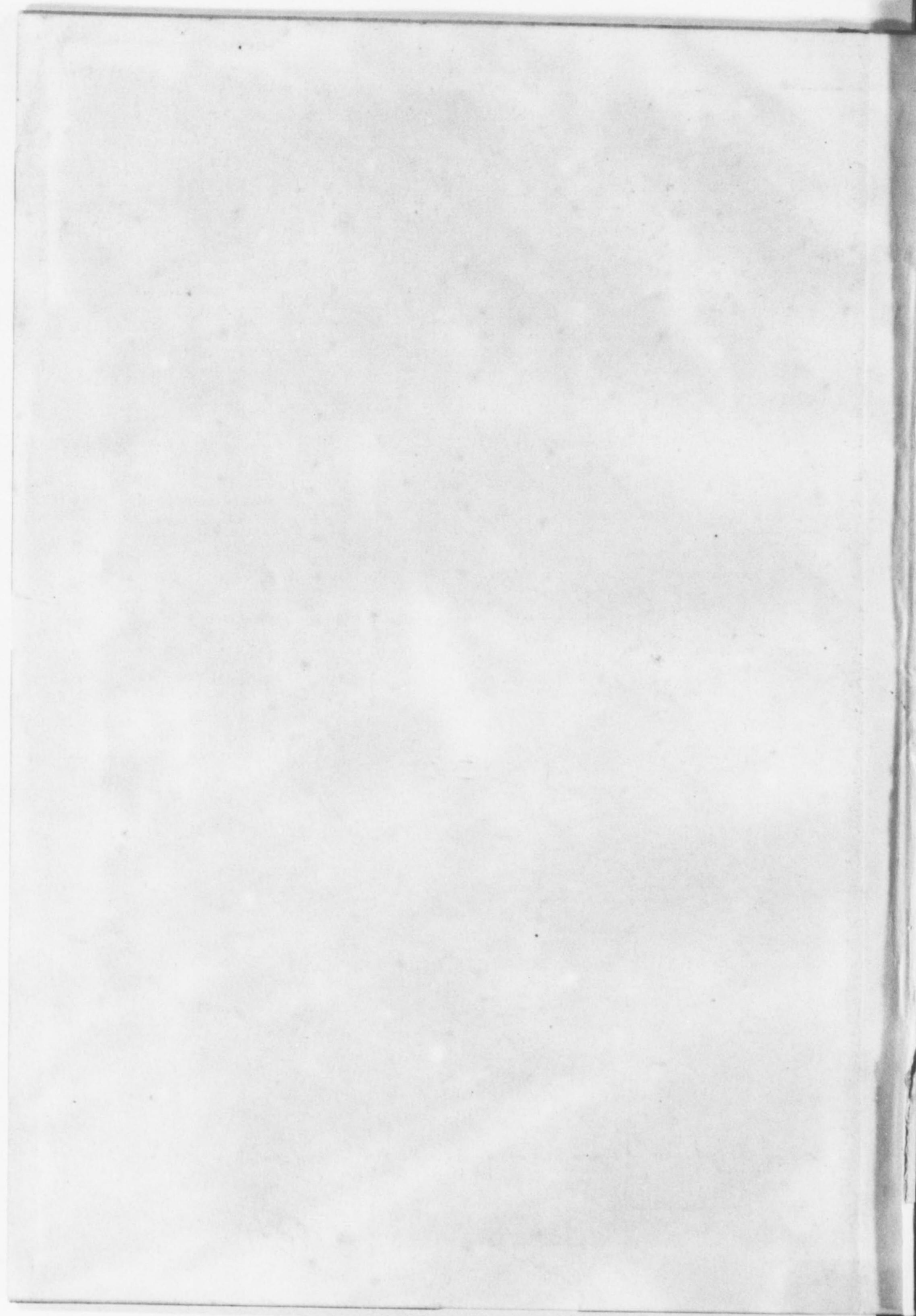


2 3 4 5 6 7 8 9 <sup>4</sup>/<sub>20</sub> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 <sup>4</sup>/<sub>30</sub> 1 2 3 4 5 6 7



司法省第二二年報

明治九年

司法研究室

司法省記錄文庫	保 第 二 百 八 十 三 號
---------	--------------------------------------

第一 一 號	第 四 架	第 一 二 號
--------------	-------------	------------------

第一 一 三 號	司法省記錄文庫
-------------------	---------

昭和十三年  
四月八日

H500  
S I

7

司法省報告書ハ明治八年ニ創始シ其記スル所ハ省中處務ノ概略ニ係リ民事  
刑事ノ綜計ニ至テハ別ニ之ヲ編制シ副ルニ其説明ヲ以テス即綜計表上申書  
是ナリ而シテ九年十年ノ綜計表既ニ成ルト雖而上申書及報告書ノ如キハ未  
タ之ヲ進達スルノ期ニ際セス蓋シ九年以來百事變更スル所多ク加フルニ微  
用スヘキノ文書頗ル錯雜シテ紬繹ノ難キニ苦シム是レ其遷延ヲ來セル所以  
ナリ茲ニ明治九年ノ報告書成ル而シテ民事刑事綜計表ノ如キハ本省報告ノ  
最要件ナルヲ以テ專ラ法律ノ沿革ニ對照シ特ニ之レカ説明ヲ爲セリ宜シク  
省中處務ノ諸項ト互看ヲ要スヘキモノナリ乃チ八年ノ體裁ヲ改メ綜計表及  
其説明ヲ合シテ一冊ト爲シ名クルニ第二年報ヲ以テシ例ニ依テ之ヲ進達ス  
夫レ諸項ノ成績ニ據テ省務ノ舉否ヲ考ヘ綜計ノ表示ニ就テ法律ノ利弊ヲ証  
スル等其裨益ノ鮮少ナラサルヲ信ス然レモ起工日猶淺ク材料往々闕乏スル  
所アルカ爲メニ纂輯ノ功未タ其全キヲ見ス豈遺憾ナラスヤ因テ今特ニ表紀  
ノ一課ヲ置キ漸次此事業ノ整備ヲ期シ以テ恭シク 陛下銳意圖治ノ 盛旨  
ニ副フ所アラシコトヲ仰企ス謹奏

明治十四年八月

司法卿田中不二麻呂

凡例

一此書分テ三編ト爲ス曰ク本省處務概畧曰ク民事綜計要旨民事綜計表曰ク  
刑事綜計要旨刑事綜計表而シテ體裁ノ未タ宜キヲ得サル者アルハ事業日猶  
淺ク材料全ク備ラサルヲ以テナリ

一事務ノ弛張ハ皆經費ニ關スルヲ以テ會計ト吻合スルヲ要ス因テ本省處務  
概略ハ會計年度ニ從フ即チ九年七月ヨリ十年六月ニ至ル民事刑事ノ總計  
ニ至テハ其性質ヲ異ニスルヲ以テ曆ニ從フ即チ九年一月ヨリ同年十二月  
ニ至ル

一表紀ニ係ル者ハ數字ヲ以テ之ヲ記シ、ヲ加エテ以テ千位ヲ分ツ而シテ金ハ  
圓位穀ハ石位ニ亦之ヲ附ス其〇ヲ附スル者ハ零數ナリ

一第二編第八表第九表第十四表中他廳ヨリ受取〔他廳へ廻ス〕〔他廳へ移ス〕ハ重  
複ノ數トナル故ニ實數ヲ看ント欲セハ重複ノ數ヲ除算セサルヘカラス  
一第三編第一表ヨリ第四表ニ至ル合計ハ婦女犯罪及ヒ贖罪収贖閏刑ニ至ル  
マテ皆之ヲ合算ス

一同第七表ノ全員合計ハ第一表ノ全免減等無料呵責ノ三項ヲ除キタルモノ  
ナリ

一同第十表ノ犯則全員ハ婦女ヲ合算ス

一同第二十四表中雇人ノ數ハ戶籍屆濟ノ者ノミニ係ル故ニ雇人盜ノ數ト吻合セス

一同第三十六表中處分濟ノ人員ハ第二表第十一表ヨリ大審院各上等裁判所琉球藩ノ處分ニ係ル者ヲ除キ之ニ第二十九表第三十一表ノ全員ヲ加フレハ其數當サニ吻合スヘキモノナリ然ルニ其數ノ吻合セサルモノハ第三十六表中重複并消滅ニ属スル等ノ者アルニ因ル

一同第三十七表ノ拘留人員ハ明治九年十二月二十八日現在未決ノ人員ヲ掲クルモノトス

一同第五十五表以下熊本萩福岡臨時裁判所并大審院ニテ處斷シタル國事犯及ヒ清國領事館ニ於テ處斷シタル罪犯ハ第一表ヨリ第五十四表ニ至ル各表ニハ之ヲ合算セス

## 司法省第二年報目次

### 第一編

#### 處務概略

法律規則

裁判所廢置

職員附雇外國人

法學専門生徒

經費附土木

書籍

恩赦特典

代言人

### 第二編

民事綜計要旨

大審院事務

上等裁判所事務

地方裁判所事務

身代限

勸解

民事綜計表

第一表上告總數

第二表上告結局時間

第三表上告訴訟件目

第四表控訴及人民ヨリ官府ニ對スル訴訟總數

第五表控訴及人民ヨリ官府ニ對スル訴訟件目

第六表控訴及人民ヨリ官府ニ對スル訴訟結局時間

第七表控訴結局ノ初審裁判所

第八表初審裁判所訴訟總數

第九表初審裁判所訴訟件目

第十表初審裁判所本廳支廳區裁判所訴訟件目

第十一表

其一外國人關涉ノ訴訟件目

其二各裁判所ニ區別シタル外國人關涉訴訟ノ總數

其三各裁判所ニ區別シタル外國人關涉ノ訴訟件目

第十二表

其一大審院上等裁判所訴訟中金圓ニ關スル件數及金員階級

其二地方裁判所訴訟中金圓ニ關スル件數及金員階級

第十三表身代限ノ總數及負債額償還額ノ比例附外國人調  
涉ノ身代限

第十四表勸解ノ總數

### 第三編

刑事綜計要旨

罪犯ノ總數及處斷區別

罪犯男女、生國、年齡、職業ノ區別

懲役限內加等、減等區別

大審院各裁判所事務景況

死罪ニ該ル者ノ罪狀刑名

減等加等

二罪俱發

二度以上刑ヲ受ケシ者

滯獄曠過、存留養親、瘋癲人、士族收祿、死後刑名宣告、外國人關涉、清國人

處刑

國事犯處分

清國在留人處分

刑事綜計表

第一表犯罪種類

第二表各廳ニ區別シタル罪犯ノ數

第三表

其一各廳ニ區別シタル人ニ對スル犯罪種類

其二各廳ニ區別シタル物ニ對スル犯罪種類

第四表各廳ニ區別シタル人ニ對スルト物ニ對スルトノ犯罪總數

第五表婦女ノ犯罪種類

第六表各廳ニ區別シタル婦女犯罪ノ總數

第七表罪犯處斷區別

第八表各廳ニ區別シタル罪犯處斷區別

第九表各廳處斷中贖罪、收贖、閏刑ノ總數

第十表犯則種類

第十一表各廳ニ區別シタル犯則種類

第十二表各廳ニ區別シタル犯則罰名

第十三表犯罪人ノ貫籍

第十四表各廳ニ區別シタル犯罪人ノ貫籍

第十五表婦女ノ貫籍

第十六表各廳ニ區別シタル婦女ノ貫籍

第十七表犯罪人ノ年齡、種族

第十八表各廳ニ區別シタル犯罪人ノ年齡、種族

第十九表婦女ノ年齡、種族

第二十表各廳ニ區別シタル婦女ノ年齡、種族

第二十一表犯罪人ノ職業

第二十二表各廳ニ區別シタル犯罪人ノ職業

第二十三表婦女ノ職業

第二十四表各廳ニ區別シタル婦女ノ職業



第二十五表犯罪人ノ宗門

第二十六表各廳ニ區別シタル犯罪人ノ宗門

第二十七表婦女ノ宗門

第二十八表各廳ニ區別シタル婦女ノ宗門

第二十九表懲役限内役限増加ノ總數

第三十表各廳ニ區別シタル懲役限内役限増加ノ總數

第三十一表懲役限内減等

第三十二表各廳ニ區別シタル懲役限内減等

第三十三表

其一大審院取扱件數人員ノ總數

其二大審院取扱死罪案ノ總數

第三十四表

其一上等裁判所取扱件數人員ノ總數

其二上等裁判所取扱懲役終身罪案ノ總數

其三上等裁判所取扱死罪案ノ總數

第三十五表地方裁判所及各縣取扱件數

第三十六表地方裁判所及各縣取扱人員

第三十七表罪囚拘留時間

第三十八表死罪者ノ犯罪種類

第三十九表各廳ニ區別シタル死罪者ノ犯罪種類

第四十表死罪者ノ刑名、履歴、減等

第四十一表犯罪人ノ減等、加等

第四十二表各廳ニ區別シタル犯罪人ノ減等、加等

第四十三表各廳ニ區別シタル犯罪人減等ノ原刑

第四十四表各廳ニ區別シタル犯罪人加等ノ刑名

第四十五表二罪以上俱發及二度以上刑ヲ受ケシ者

第四十六表各廳ニ區別シタル二罪以上俱發及二度以上刑ヲ受ケシ者

第四十七表各廳ニ區別シタル二度以上俱發者ノ本刑

第四十八表各廳ニ區別シタル二度以上刑ヲ受ケシ者

第四十九表滯獄曠、過存留養親、瘋癲人、士族取祿、死後刑名宣告、外國人關

涉、清國人處刑

第五十表各廳ニ區別シタル滯獄曠過、存留養親、瘋癲人、士族取祿、死後刑

名宣告、外國人關涉、清國人處刑

第五十一表各廳ニ區別シタル滯獄曠過ノ本刑

第五十二表各廳ニ區別シタル士族收祿、瘋癲人鎖錮、死後刑名宣告ノ各

本刑

第五十三表各廳ニ區別シタル存留養親ノ本刑

第五十四表各廳ニ區別シタル外國人關涉及清國人處刑

第五十五表國事犯罪種類

第五十六表國事犯罪減等ノ總數

第五十七表國事犯罪捕縛、喚問、自首區別

第五十八表國事犯罪貫籍、職業、年齡、宗門

第五十九表清國在留人處分

第三十八表... 第三十九表... 第三十六表...

司法省第二年報告

同第八表... 同第一編 本省處務概略

法律規則

明治九年三月上申シテ曰ク讓渡シタル貸借證書ニ就キ紛議ヲ生スルモノ少カラス是レ其授受ノ法ナキニ因ルト同年七月第九十九號布告アリ曰ク證書ヲ其貸主ヨリ他人へ讓渡ス時ハ其借主ヲシテ證書ヲ書換ヘシムヘシト同年五月上申シテ曰ク初犯再犯各盜罪相交ル如キハ仍ホ犯數ヲ以テ論ス可キ者ナリ然ルニ律ニ其例ナシ宜シク條例ヲ制定セラル可シト同年七月第四百號布告ヲ以テ其條例ヲ制定セラル曰ク初犯再犯各盜罪ヲ犯シ己ニ斷決ヲ經テ又盜罪ヲ犯ス者ハ其輕キ所ノ盜罪三犯ヲ以テ論ス若シ後犯ノ罪重キ者ハ重キヲ以テ論ス假令ハ初犯竊盜再犯強盜ニシテ三犯監守盜ナル者ハ並ニ竊盜三犯ヲ以テ論シ初犯監守盜再犯竊盜ニシテ三犯常人盜三百圓以上ナル者ハ常人盜ヲ以テ論シ初犯竊盜ニシテ再犯三犯強盜ナル者ハ強盜再犯ヲ以テ論スル類ナリト然ルニ右條例ハ各盜罪相交ル三犯ノ例ニシテ再犯ノ事ニ及ハス因テ元老院ニ於テ更ニ草スル所ノ議案ヲ以テ下問セラレ即意見ヲ上

ル同年十一月第百三十七號布告ヲ以テ其條例ヲ増加セラル曰ク初犯竊盜ニシテ再犯監守盜若クハ常人盜ナル者及ヒ初犯監守盜ニシテ再犯常人盜若クハ竊盜ナル者及ヒ初犯竊盜ニシテ再犯監守盜若クハ竊盜ナル者ハ並ニ後犯ノ本罪ニ一等ヲ加フト

同月甲第十號ヲ以テ代言規則中外國人原告ノ時ニ限り被告ニ於テ外國人ヲ代言人トナスハ苦シカラサルノ條ヲ追加スル旨ヲ達ス

同月達第六十二號ヲ以テ明治四年十二月以前ニ係ル舊藩々處分濟ノ事件ニ付訴ヘ出ツル者アル片ハ先ツ其事由ヲ具申シ指令ヲ俟ツ可キノ制旨ヲ奉シタルニ因リ右ノ事件ハ本省ヘ伺出可キ旨各裁判所及ヒ裁判所ヲ置サル各縣ニ達ス

同月達第五十九號ヲ以テ司法警察假規則第三條中地方ノ便宜ニ依リ區戶長ヲシテ警部ノ事ヲ兼任セシムルヲ得ルノ註脚ヲ刪除シタル旨ヲ檢事及ヒ府縣ニ達ス

同月內務省起案會社條例ノ下問ニ對シテ意見ヲ上陳ス

同年八月達第六十三號ヲ以テ實印紛失等ニ因リ地所并建家書入質入証書押印スル能ハサル場合ニ於テハ區戶長與書ニ其事由ヲ記スレハ實印アル証書

ト同一ノ效アリ是レ內務省ニ指令セラレタル制旨ヲ奉シタル旨大審院各裁判所ニ達シ同年十一月達第八十二號ヲ以テ猶ホ實印ナキ旨ノ保証人二員以上連印ヲ要スルノ追令ヲ奉シタル旨ヲ達ス

同月上申シテ曰ク再犯加等罪條例中初犯監守盜再犯竊盜ニシテ三犯常人盜三百圓以上ナル者ハ常人盜ヲ以テ論スト雖モ常人盜ハ本年第一百一號布告ヲ以テ二百五十圓以上懲役終身ト改正セラレタルニ因リ常人盜ヲ以テ論スルモ竊盜三犯ヲ以テ論スルモ同ク懲役終身ニシテ後犯ノ罪重キ者ノ例ト爲シ難シ宜シク常人盜ヲ以テ論スルノ例ヲ刪去セラル可シト同年十月第百二十六號布告アリ曰ク第百四號布告假令以下ノ中初犯監守盜再犯竊盜ニシテ三犯常人盜ナル者ハ常人盜ヲ以テ論スルノ一例ヲ刪去スト是ヨリ先キ第一百一號ヲ以テ新律綱領及ヒ改定律例第百二十六條ヲ改メ監守盜百五十圓以上常人盜二百五十圓以上并ニ懲役終身ト爲シ又明治六年第百六十七號ヲ以テ制定スル所ノ監守常人盜條例ヲ改メ監守盜再犯スル者ハ財ヲ得スト雖モ一等ヲ加ヘ三犯四十圓以下懲役十年四十圓以上懲役終身ト爲ス此改正タル當省ノ上申スル所ニ非スト雖モ茲ニ附載シテ以テ其沿革ヲ示ス

同月達第六十四號ヲ以テ斷罪證據ノ推測方法ヲ大審院各裁判所ニ示ス

同年九月甲第十一號ヲ以テ代言人規則第五條但書免許ハ一年ヲ限ルトアル年限計算ヲ示シ且出願期限ヲ一年兩度ト定ム  
同月達第六十五號ヲ以テ代言人免許願狀并試験書共ニ今後一年兩次ニ差出スヘキ旨及ヒ已ニ免許狀ヲ與ヘタル者滿期ノ後猶其職務ヲ繼續セント欲スル者ハ試験ヲ要セサル旨ヲ府縣ニ達ス  
同月達第七十二號ヲ以テ當省日誌ヲ廢シ指令錄并指令抄ヲ頒布スル旨大審院各裁判所ニ達シ同年十一月達第七十七號ヲ以テ指令抄ヲ廢シ指令錄ノミ頒布スル旨ヲ達ス  
同月甲第十二號ヲ以テ内國人原告ニテ外國人ニ係ル刑事并ニ民刑附帶ノ訴訟ハ檢事及ヒ警察官之ヲ受ケ直ニ被告人管轄ノ外國領事ニ求刑ノ手續ヲ定メ又同月甲第十三號ヲ以テ八年五月甲第三號達中刑事ノ二字ヲ删除ス蓋シ八年五月甲第三號ヲ以テ民事ノ原告人ハ其事由ヲ各開港市場ノ府縣廳ニ申出其廳ノ添書ヲ得テ被告人管轄ノ各國領事ヘ申訴ス可キ旨布達セリ然ルニ八年八月外國人ノ内國人ニ對シ暴行脅迫ヲ爲シ負傷或ハ器物ヲ毀壞スル等ノ處行アリタル片ハ直チニ外國領事ニ照會ス可シト外務省及ヒ警視廳ヘノ制旨アリ故ニ爾後右等ノ事件ニ付キ同廳ヨリ領事ヘ照會スト雖モ猶八年

ニ

甲第三號達ニ援據シ其請求ヲ拒ム者アリ乃チ此兩號ノ達ヲ發シタル所以ナリ  
同年十月甲番外ヲ以テ民事ノ詞訟ハ可成一應勸解ヲ乞フ可キ旨東京府下ニ諭達シ又勸解調ハサルモノハ不調ノ書付ヲ原告人ニ下付シ後日其書付ヲ以テ更ニ出訴スル時區裁判所ノ權内ニアル者ハ區裁判所ニ於テ裁判シ權外ニ係ル者ハ不調ノ書付ニ其旨ヲ附記シテ本廳ヘ出サシム可キ旨東京裁判所ニ開示シ尋テ十一月甲第十七號ヲ以テ同上ノ旨趣ヲ全國ニ諭達ス  
同月元老院起案刑事控訴ヲ許スノ下問ニ對シ意見ヲ上陳ス  
同月達第六十八號ヲ以テ身代限ヲ爲ス者詐欺ノ所爲ニ因リ債主ニ損害ヲ被ラシメ及ヒ其所爲ヲ助クル者ハ刑法ニ問フヘキトヲ注意セシム蓋近來身代限ノ處分ヲ受ル者踵ヲ接スト雖モ未タ曾テ詐欺ノ罪ニ問ハル、モノアルヲ聞カス是レ果シテ詐欺ニ涉ル者ナキカ決シテ然ラサル者アルヲ以テナリ  
同年十一月甲第十四號ヲ以テ代言規則第四條但書裁判所々在ノ地三里以內トアルヲ該地方裁判所區内ト改正ス  
同月甲第十五號ヲ以テ代言人再試験ノ規程ヲ示ス  
同月甲第十六號ヲ以テ代言人本貫族籍轉換改名届ノトヲ定ム

同月達第八十號ヲ以テ証書面償金或ハ違約金ヲ掲ケタルモ得ヘキ利益ト失フタル損害ナク且罰金科料ト掲クルモ人民互ニ罰金ヲ科スル理由ナキニ因リ共ニ裁判上無効タルヘキ旨ヲ大審院各裁判所ニ達ス

同月上申シテ曰ク七年當省甲第二十一號達裁判所取締規則第九條ニ呼出ヲ受タル者無届ニテ遅參及ヒ不參スル者ハ違式輕重ニ問ヒ相當ノ罰金ヲ科ス可シトアリ故ニ餘罪併發スル時ハ一ノ重ニ從テ科斷スルノミナラス必檢事ノ求刑ヲ經テ刑事裁判官之ヲ處斷セサルヲ得ス且罰金ハ七十五錢以上ト爲ス皆實際ニ便ナラサルヲ以テ宜シク之ヲ改正セラルヘシト十年一月第五號布告アリ曰ク裁判所ノ召喚ヲ受ケ遅參及ヒ不參スル時ハ裁判官ニ於テ直ニ五錢以上十圓以下ノ罰金ヲ科ス可シト此ニ於テ更ニ裁令ヲ奉シ裁判所取締規則第九條ヲ削除セリ

同月元老院起案罪犯告發條例証人條例偽証律ノ下問ニ對シ意見ヲ上陳ス

同月元老院起案保釋條例ノ下問ニ對シ意見ヲ上陳ス

同月上申シテ曰ク各府縣布令スル所ノ條規ニ違ヒ或ハ府縣稅則ヲ犯ス者ハ違警罪ノ權衡ニ照準シ總テ一圓五十錢ヨリ多カラサル罰金ヲ科セント十年一月第十三號布告アリ曰ク各府縣廳ヨリ布達スル所ノ條規ニ違犯スル者ハ

裁判官ニ於テ一圓五十錢以内ノ罰金ヲ科スヘシト

同年十二月上申シテ曰ク即今當省ニ於テ調査スル所ノ刑法草案ニ依レハ當サニ死刑ニ入ル可キ者モ輕減セラル、類劾カラス宜シク先ツ賊盜偽造寶貨、鬪毆、逃亡等ノ死ニ入ル者ヲ改正セラル可シト十年三月第二十五號布告アリ曰ク強盜、偽造寶貨、罪人拒捕、懲役人逃律例中死ニ入ル者ヲ改メテ懲役終身ト爲スト

明治十年一月上申シテ曰ク八年定メラレタル大審院各裁判所ノ職制章程及ヒ控訴上告手續實際ニ便ナラサル者アルヲ以テ宜シク之ヲ改正セラルヘシト同年二月第十九號布告ヲ以テ右職制章程及ヒ控訴上告手續ヲ改正シ巡廻裁判規則判事通則ヲ刪除セラル

同月丁第十四號ヲ以テ司法省并檢事職制章程ヲ改正セラレタル旨ヲ大審院各裁判所ニ達ス是亦同年一月上申シテ制旨ヲ奉シタルヲ以テナリ

同月上申シテ曰ク第十九號布告ヲ以テ控訴上告手續ヲ改正セラレタルニ付テハ八年第百號民事上告者預ケ金ノ儀ハ追テ達スル迄差出スニ及ハサルノ布告ハ健訟ノ弊ヲ生シ隨テ裁判上無用ノ煩勞アルヲ以テ之ヲ廢セラル可シト同年三月第三十一號ヲ以テ右八年百號布告ハ控訴上告手續改正ニ付消滅

同年二月丁第十號ヲ以テ曩ニ定メラレタル朝鮮國在勤管理并清國駐留領事委任狀中改正ノ旨ヲ大審院各裁判所ニ達ス且此改正ニ付テハ該所ニ起ル詞訟事件金額百圓以上ハ長崎裁判所ノ管轄ニ屬スルヲ以テ同日丁第十一號ヲ以テ更ニ之ヲ同裁判所ニ達シタリ

同月甲第一號ヲ以テ自今戶籍屆濟ノ有無ニ拘ハラス雇主雇人相許諾シテ一月以上ノ期限ヲ定メ雇使スル者ハ雇人ヲ以テ論ス可キ旨ヲ達ス蓋シ六年十月二月第九十號ヲ以テ官員并ニ官華士族ノ家令扶從等ヨリ農工商ノ番頭手代丁稚等ノ男女ニ至ル迄戶籍屆濟以上ノ者ヲ雇人ト稱スル旨達セリト雖氏婢僕稅ハ既ニ廢セラレ且齊シク雇人ニシテ戶籍法ヲ遵守スル者却テ遵守セサル者ヨリ其刑重ク權衡適セサル旨ヲ上申シテ裁可ヲ得タルニ因ル

同月丁第十三號ヲ以テ東京府下囚人糺問手續ヲ定メテ之ヲ同裁判所檢事并糺問判事ニ達ス是レ糺問事務ノ淹滯ナキヲ要シテナリ  
同年三月丁第二十七號ヲ以テ訴答文例ハ唯訴訟ノ書式ヲ示シタルモノナレハ該例第十四條第二十八條第二十九條ヲ除クノ外文例中云々スル所ノ証書ナシト雖氏証據ノ端緒アルニ於テハ憑據アル訴答ト見做シテ受理ス可キ旨

大審院各裁判所ニ達ス蓋シ文例中明文ナキニ因リ裁判上頗ル弊害ヲ醸シ甚シキニ至テハ他ニ何等ノ証據アルモ証書ナキモノハ之ヲ受理セサルニ至ル者アルヲ以テ曩ニ上申シテ裁令ヲ奉シタルニ因ル  
同月上申シテ曰ク律ニ五等親以上ノ尊長卑幼ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ各鬪毆律內尊長故殺卑幼律ニ依リ二等ヲ減ストアリ此ニ依テ之ヲ推スニ例ヘハ鬪毆律內三等親以上ノ尊長卑幼ヲ故殺スル者絞トアルヲ綱領ノ減法ヲ以テ二等ヲ減スレハ懲役三年ニシテ凡人謀殺已ニ行フ者ト權衡相同シ然ルニ改定律例ノ減法ニ依テ二等ヲ減スレハ懲役十年ニシテ却テ凡人ヨリ重シ故ニ凡人ニ比シ五等ヲ減セサレハ平衡ヲ得ス既ニ三等親ニ五等ヲ減スレハ一等二等親モ同ク五等ヲ減スルヲ以テ適當トスヘキナリト同年四月第四十號布告ヲ以テ律例ヲ改正セラル曰ク五等親以上ノ尊長卑幼ヲ謀殺スル已ニ行フ者減五等ニ從フト

同月丁第二十五號ヲ以テ自今重罪ト雖モ犯狀明白ナル者ハ糺問判事ノ下調ヲ請フニ及ハス直ニ裁判ヲ求メ糺問判事アラサル裁判所ニ於テハ當分輕重罪ニ拘ハラス直ニ裁判ヲ求ム可キ旨ヲ檢事及檢事アラサル各縣ニ達ス  
同年四月上申シテ曰ク明治六年第二百三十九號實印ナキ証書ハ裁判上証據

ニ立タサルノ布告ニ依レハ假令相手方自筆ノ証書ヲ有スルモ實印ナキヲ以テ冤枉ヲ含ンテ止ムノ外ナカル可シト又上申シテ曰ク明治四年六月布告諸商人買販ノ品代金淹滞ヲ訴フルモ銘々記載ノ帳面ニ借主ノ印鑑ナキ者ハ取揚裁判セサルノ旨趣ヲ要スルニ亦上ノ二百三十九號布告ト性質ヲ同フスルヲ以テ宜シク共ニ廢止セララルヘシト同年五月第四十四號布告ヲ以テ右兩布告ヲ廢セララル

同月丁第二十九號ヲ以テ民事裁判上目安糺ノ成例ヲ廢ス可キ旨各裁判所ニ達ス蓋シ詞訟ノ事タル原被ノ辨論陳述ヲ經ルニ非サレハ其眞偽ヲ判定ス可ラス然ルニ該成例ノ如ク出訴ノ起頭被告ノ答辨ヲ俟タス直ニ受理不受理ヲ判決スルハ人民ノ權利ヲ損害スルノ恐レアルノミナラス上ニ掲ケタル如ク丁第二十七號達證據ノ端緒アル訴ハ受理スヘキノ旨趣ニモ矛盾スルヲ以テナリ

同月上申シテ曰ク本年第十二號布告預ケ金穀ノ詞訟ニシテ其証書中封ノ儘預リ置或ハ融通使用ヲ爲サ、ル明文アリト雖氏自今二十年前ニ係ル者ハ一切裁判ニ及ハストアリ右二十年以前トハ過去ノミヲ指スヤ將タ將來ヲモ指スヤ往々疑議スルモノアリ之ヲ法理ニ照スニ過去ニ止マルト信スト雖氏

法文明晰ナラス敢テ定奪ヲ乞フト即チ過去ノミヲ指ストノ裁令ヲ奉セリ同月丁第三十一號ヲ以テ三重縣下ニ於テ本年一月中記シタル証書ニ限り舊証券界紙ヲ用非サルモ仍ホ其效ヲ有スヘキ旨大藏省ニ指令セラレタルノ制旨ヲ奉シタルトテ大審院各裁判所ニ達ス蓋シ昨九年十二月第百五十五號舊証券界紙布告行下ノ際該縣下暴動ニ會シテ人民周知スルニ逸アラサルヲ以テナリ

同月丙第八號ヲ以テ逃亡ノ罪人々相書ハ管下ニ揭示ス可キ者ニアラサル旨ヲ府縣ニ達ス

同年五月甲第二號達ヲ以テ代言人滿期後ト雖取掛リノ事ニ限り代言スルトヲ許ス

同年丁第三十四號ヲ以テ大審院へ宛タル刑事上告狀及ヒ明細書ヲ原裁判所へ差出シタル時原裁判所ハ其事柄ノ如何ヲ問ハス都テ大審院へ遞送ス可キ旨ヲ各裁判所ニ達ス

同月丙第十號ヲ以テ糾問判事職制假規則第五章第十七條中放免ノ二字ヲ釋放ト改メタル旨ヲ大審院各裁判所及ヒ檢事府縣ニ達ス

同月內務省起案本年第十三號府縣廳ヨリ布達スル所ノ條規ニ違犯スル者ハ

裁判官ニ於テ罰金ヲ科スルノ布告ヲ改メ違式條例中ニ加フルノ下問アリ即意見ヲ上陳ス

同年六月丙第十三號ヲ以テ上告ノ節罪案其他ノ書類ハ本書ヲ出シ上告趣意明細書ハ正副二通ヲ出ス可キ旨ヲ檢事ニ達ス

同月丁第四十六號ヲ以テ明治八年第二百九號婚姻又ハ養子養女ノ取組及ヒ離婚離縁等縱令相對熟談ノ上タリ且雙方ノ戶籍ニ登記セサル内ハ其效ナシト看倣ス可キノ達後其登記ヲ怠リシ者ト雖且既ニ親族近隣ノ者モ夫婦若クハ養父子ト認メ裁判官ニ於テモ其實アリト認ムル者ハ夫婦若クハ養父子ヲ以テ論スヘキ旨ヲ大審院各裁判所ニ達ス是ヨリ先キ謀殺故殺犯姦等ノ罪ヲ犯ス者夫婦若クハ親子ノ實アリト雖且戶籍ノ登記ヲ欠クニ因リ凡人ヲ以テ論スルハ其當ヲ得サルトヲ上申シテ裁令ヲ奉シタルヲ以テナリ

法律規則ノ沿革大率右ノ如シト雖且將來改正ス可キ者ニ至テハ枚擧ス可ラス而シテ刑法草案ノ丁ハ既ニ九年一月政始ノ日ニ於テ上奏シ爾來猶億屬ニ命シ各國刑法ノ得失ヲ討論セシメ比較取捨草シテ五百餘條ニ及ヒ同年十二月二十八日ヲ以テ進達セリ訴訟法モ既ニ起草スト雖且同年九月十八日其起案ヲ元老院ニ命セラレタルヲ以テ稿本ヲ同院ニ回付セリ然ルニ現今行ハル

ハ所ノ拿捕勾引推鞠法ノ類速ニ改正セサル可ラサル者一ニシテ足ラス因テ治罪法モ亦既ニ編纂ニ着手セリ維新以來民法ノ創成多クハ一弊ヲ除キ一害ヲ防クニ出ルヲ以テ茲ニ一竇ヲ填レハ彼ニ數竇ヲ生シ其弊ヤ奸民ニ奇貨ヲ與ヘ益其奸ヲ逞フスル者アルニ至ル是ヲ以テ亦委員ニ命シ民法ヲ起草シテ既ニ數百條ニ及ヘリ夫レ既ニ民法アリ商法ナカル可ラス我國ニ於テハ商事ニ關スルノ規則方法最モ備ハラサルヲ以テ頃コロ亦起案ノ掛ヲ命セリ願フニ各法着手ノ順序ト部類ノ大小アルヲ以テ其竣功モ自ラ遲速アル可シ故ニ一部ノ編纂成ル毎ニ上奏セント欲スルナリ

### 裁判所廢置

明治五年始テ東京裁判所ヲ設ケテヨリ以來各裁判所ノ設置漸次増加シ本年九月現設ノ裁判所ハ東京、神奈川、千葉、茨城、栃木、熊谷、埼玉、愛知、山梨、新潟、京都、大阪、兵庫、高知、山口、宮城、鶴岡、函館、長崎、三浦、鹿兒島ノ二十一所ニシテ縣官ノ裁判事務ヲ兼任スル者ノ中本年八月第百十二號布告ヲ以テ廢縣ニ係ル者筑摩、磨、豐岡、敦賀、香川、名東、鳥取、宮崎、若松、置賜ノ十所ナリ而シテ該縣ニ屬セシ支區廳ノ共ニ廢セラレタル者五所アリト雖且猶現ニ行政司法ヲ兼務スル者十八



縣アリ故ヲ以テ本年五月裁判所ヲ全國ニ普設セラレント上申シテ曰ク方  
 今ノ制甲縣地方裁判所アルモ乙縣或ハ之ナシ故ニ縣官判事ヲ兼ネ民刑訴訟  
 ヲ聽斷シ往々人民ノ疑惑ヲ來シ事務ノ障碍亦尠カラス然レモ毎縣裁判所ヲ  
 置ク片ハ巨萬ノ費額ヲ要スルヲ以テ之ヲ今日ニ行フヘカラス因テ二縣若ク  
 ハ三縣ヲ合シテ一裁判所ヲ設ケ以テ全國ニ周遍ナラシメ而シテ其所轄ノ廣  
 狹ニ從ヒ更ニ支廳ヲ分置スル片ハ事簡ニシテ民其便ニ就カシ試ニ右方法ニ  
 據リ一周年ノ經費ヲ概算スルニ金額百五十三萬二千四百餘圓ニ過キス之ヲ  
 方今司法部内ノ現費ニ比照スレハ金二十三萬八千二百餘圓ヲ增加スト雖モ  
 今裁判所ヲ置カサル各縣ノ裁判事務ニ係ル費用大約該廳金額五分ノ一ト見  
 做シ金二十八萬九千八百圓トス是ヲ以テ右增額ニ充ル時ハ金五萬千五百圓  
 餘ノ剩餘ヲ生ス是レ費額ヲ增加スルニ似テ却テ其減省ヲ見ル況ヤ事務障碍  
 ノ患ナク体裁其宜ヲ得所謂一舉兩得ノ策ナリト同年九月其裁令ヲ得再ヒ裁  
 判管轄區域ノ方案ヲ上奏ス因テ同月第百十四號布告ヲ以テ地方裁判所ヲ全  
 國ニ普置セラル是ニ於テ同月達第六十六號ヲ以テ地方裁判所各管下便宜ノ  
 地ヲ擇ヒ區畫ヲ定メ支廳及ヒ區裁判所ヲ設ケ事務ヲ取扱フ可キ旨ヲ地方裁  
 判所ニ達シ而シテ從前ノ支廳假規則ヲ修正シテ區裁判所假規則ト改ム同月

達第六十七號ヲ以テ支廳并區裁判所ノ稱呼ハ總テ其地名ヲ冠スヘキ旨ヲ達  
 セリ

右布告ニ依リ縣官兼務ノ裁判事務ヲ解キ地方裁判所ニ引渡シタル縣ハ三重、  
 靜岡、長野、岐阜、滋賀、和歌山、堺、岡山、石川、愛媛、島根、青森、秋田、岩手、山形、福岡、熊本、大  
 分ノ十八所ニシテ其縣々ニ屬セシ支區廳ノ事務ヲ解キシ者ハ二十五所ナリ  
 且又府縣裁判所ノ廢止ハ千葉、山梨、愛知、神奈川、宮城、三瀆、埼玉、鶴岡、兵庫ノ九所  
 ニシテ其支區廳ノ廢止ハ二十六所ナリ又右ノ改置ニ依リ府縣職制ノ末條ヲ  
 廢セラレ及ヒ同職制中第四課事務ハ渾テ警部ヲ以テ取扱ハシムヘキ旨府縣  
 ニ達セラル

地方裁判所改置ノ令發シテヨリ猶實地ノ便宜ニ依リ上申スル所ヲ採用セラ  
 レ其位置ヲ變易セシ者亦少カラズ即チ栃木裁判所ヲ水戸ニ移シ水戸裁判所  
 ト稱シ九年九月第百三十一號布告岩國裁判所ヲ廣島ニ移シ廣島裁判所ト稱シ浦和裁判所  
 ヲ熊谷ニ移シ熊谷裁判所ト稱シ同年十一月第百三十八號布告一ノ關裁判所ヲ仙臺ニ移シ  
 仙臺裁判所ト稱シ同年十一月第百三十八號布告米澤裁判所ヲ福島ニ移シ福島裁判所ト稱シ  
 同年十二月第百五十五號布告青森裁判所ヲ弘前ニ移シ弘前裁判所ト稱シ十年三月第百三十五號布告地  
 方裁判所ノ開廳ハ九年達第六十一號六十九號七十一號七十八號七十九號及

八十三號乃至八十九號十年丙第十一號等ヲ以テ漸次ニ之ヲ達セリ即チ十年六月現在裁判所ヲ示ス左ノ如シ

廳名		管轄府縣	開廳月日
東京上等裁判所々轄			
東京裁判所	伊豆 東京府 七島縣	改置前既ニ開廳セシヲ以テ別ニ開廳セス	
橫濱裁判所	神奈川縣	九月二十六日	
水戸裁判所	茨城縣	十一月一日	
熊谷裁判所	群馬縣	十一月十八日	
名古屋裁判所	愛知縣	十一月十三日	
靜岡裁判所	靜岡縣	十一月十日	
新瀉裁判所	新瀉縣	改置前既ニ開廳セシヲ以テ別ニ開廳セス	
松本裁判所	岐阜縣	十二月一日	
京都裁判所	京都府	改置前既ニ開廳セシヲ以テ別ニ開廳セス	
大坂裁判所	大阪府	右ニ全シ	
神戶裁判所	兵庫縣	十月三十日	
金澤裁判所	石川縣	十一月三十日	
大坂上等裁判所々轄			

廳名		管轄府縣	開廳月日
宮城上等裁判所々轄			
松山裁判所	愛媛縣	十一月二十八日	
高知裁判所	高知縣	改置前本年四月六日開廳セシヲ以テ別ニ開廳セス	
松江裁判所	島根縣	十二月一日	
廣島裁判所	廣島縣	六月七日	
弘前裁判所	青森縣	三月二十九日	
仙臺裁判所	岩手縣	十二月九日	
福島裁判所	福島縣	十二月三十日	
函館裁判所	北海道 從前管轄内	改置前既ニ開廳セシヲ以テ別ニ開廳セス	
長崎上等裁判所々轄			
長崎裁判所	長崎縣	十二月十八日	
熊本裁判所	熊本縣	十一月二十日	
鹿兒島裁判所	鹿兒島縣	改置前本年四月十七日開廳セシヲ以テ別ニ開廳セス	

右ノ外現設ノ支廳三十六所區裁判所百三十四所アリト雖凡在地名開廳月日等ハ略シテ之ヲ舉ケス

職官職事職員附屬外國人

明治九年地方裁判所ヲ普設セラレテヨリ以來職員隨テ増加ス八年度末即チ  
 九年六月ノ現員ハ二千三百五十三人ニシテ同年十二月ニ至リ三千三百零九  
 人トナル即チ六月ヨリ増加スル者九百五十六人ナリ  
 明治十年一月第三號達ヲ以テ各省中ノ諸寮及ヒ大少丞以下廢セラレ書記官  
 及ヒ屬官ノ等級ヲ定メラル是ヲ以テ同月省中各局課ノ分掌ヲ更定シ内記庶  
 務、編纂、反譯、照查、書籍、學校、會計、刑法、民法、民法編纂、民法編纂ノ十一課、議法、檢事  
 ノ兩局ヲ設ケ同年五月刑法編纂、民法編纂ノ兩課ヲ掛ト改稱シ同年六月第四  
 十六號四十七號達ヲ以テ判事判事補檢事檢事補ノ官等及ヒ大審院各裁判所  
 屬官ノ名義ヲ改正セラレ是レ書記官以下ノ等級改正アリテ未タ判事檢事等  
 ニ及ハサルヲ以テ曩ニ上申スル所ヲ採用セラレタルナリ  
 今十年六月三十日ノ現員ヲ示ス左ノ如シ

卿 輔	官 級	等	
		勅	任
-	一	-	-
-	二	-	-
-	三	-	-
-	四	-	-
-	五	-	-
-	六	-	-
-	七	-	-
-	八	-	-
-	九	-	-
-	十	-	-
-	十一	-	-
-	十二	-	-
-	十三	-	-
-	十四	-	-
-	十五	-	-
-	十六	-	-
-	十七	-	-
-	十八	-	-
-	十九	-	-
-	二十	-	-
-	二十一	-	-
-	二十二	-	-
-	二十三	-	-
-	二十四	-	-
-	計	-	-
-	計	-	-

右表中ヨリ本省ノ職員ヲ抽掲シテ分課ヲ示ス。左ノ如シ

合計	出 仕	各裁判所屬	大審院屬	檢事檢事補	判事判事補	司法屬	書記官
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
二	-	-	-	-	七	-	四
-	-	-	-	二	七	-	-
-	-	-	-	二	二四	-	四
三〇	-	-	-	四	四二	-	-
四六	-	-	-	-	二	五	-
-	五	-	-	-	-	二一	-
三三	一五	三	二	-	-	一三	-
三三	六	一	三	三	六	五	-
三三	一三	-	四	-	-	一八	-
五〇	一八	一	-	四	八	一〇	-
三九	二八	-	-	-	一	二〇	-
一四〇	一〇〇	-	三	-	七	三九	-
一八五	一四三	二	-	-	二	二七	-
二四七	二一〇	八	二	-	-	四七	-
四二三	三六六	七	三	-	-	-	-
一九七	一九七	-	-	-	-	-	-
四二五	四二五	-	-	-	-	-	-
四一九	四一九	-	-	-	-	-	-
五七三	五七三	-	-	-	-	-	-
二八九九	二八九九	二二	一八	一七	一〇八	一九五	一〇

編 纂 課	庶 務 課	内 記 課	局 課 名		長 副 并 長	判 任				等 外 出 仕				計 合			
			等 八	等 九		等 十	等 十一	等 二十	等 三十	等 四十	等 五十	等 六十	等 七十		等 一	等 二	等 三
一	一	一	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	二	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三	一	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一	二	五	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二	三	一	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
六	一六	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二	五	一	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一七	三四	一〇	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

合 計	檢 事 局	局 法 議		會 計 課	學 校 課	書 籍 課	照 查 課	翻譯 課
		民 法 編 纂 掛	刑 法 編 纂 掛					
一三	一	二	一	一	一	一	二	二
五		二	一					四
九		一	三	二			一	
一〇	二	一	一	二			一	一
一								
二	一			三				一
六			二	一				二
一二	一	一	一	四			一	四
二六	四	一		三	三	一	四	二
一六		四	一	二	三			
七		一		一		一		一
七				二			一	
三〇				三		一		四
一三				五				
一六六	七	一〇	八	一六	二八	一	三	二

議法局中刑法編纂民法編纂ノ兩掛ハ編纂ノ爲メ設ケタルモノニシテ  
 事務終レハ之ヲ廢スルモノトス  
 兼務ハ朱書シテ之ヲ分チ合計中ニ算入セス

本年度末ノ現員右ノ如シト雖E判事檢事等ノ官等改正ノ達ヲ發セラル、ヤ  
 年度將サニ盡ントスル際即チ六月二十八日ニアリ故ニ同日ト三十日トノ現  
 員ヲ比較スレハ僅ニ一日ヲ間テ二百九十九人ヲ減セリ因テ更ニ右達ノ日即

チ六月二十八日ノ現員ヲ掲ケ其實況ヲ示ス丁左ノ如シ

合 計	出 仕	裁 判 所 屬	大 審 院 屬	檢 事 檢 事 補	判 事 判 事 補	司 法 屬	書 記 官	卿 輔	官 名 級		勅 任	奏 任	判 任	等 外 出 仕	合
									一 等	二 等					
一									一	等	一				
二									二	等	二				
一									三	等	三				
一四				一	九		四		四	等	四				
二二				二	九		一		五	等	五				
三七				二	三二		四		六	等	六				
七二				七	六四		一		七	等	七				
七六	一	五	四	八	五三	五			八	等	八				
一〇七	四	一〇	三	五	七七	八			九	等	九				
二二七	三	一八	二	二二	七九	一三			十	等	十				
二四四	六	二二	二	三三	一〇四	七			十	等	十				
五七	一六	二二	二	三	一六	一			二十	等	二十				
六三	二六	三三	四		二	二			三十	等	三十				
一三六	二四				二二	三			四十	等	四十				
一七四	一三六				三八	二六			五十	等	五十				
二二二	二〇五				二六	四			六十	等	六十				
四二二	三六九	三			四				七十	等	七十				
一九一	一九一								一	等	一				
三九	三九								二	等	二				
四一〇	四一〇								三	等	三				
五三九	五三九								四	等	四				
三、一九八	二、四一一	八八	二〇	五二	四二七	一八七	一〇	二	計						

六月三十日ヨリ

減 増

	三
	二
	七
	二六
	六四
	七四
	九五
	三二
	七
	二四
四	
二	
一六	
一〇	
六	
三四	
九	
三四	
	二九九

又前ノ現員ヲ本省大審院各裁判所ニ區別シ官名等級ヲ示ス左ノ如シ

官名	勅任		奏任		判任		等外	合計
	卿輔判事	検事	書記官	判事	検事	属判事	補検事	
本省	二		一〇	二		一〇	九	一八二
大審院		一		一五		一九	三	六八
東京上等裁判所				一三		二一	一八	九六
大坂上等裁判所				五		二	一	八一
宮城上等裁判所				五		七	六	四六
長崎上等裁判所				四		五	一七	四八
東京裁判所				六		一四	六一	二一九
京都裁判所				三		六	一〇	一五五

官名	勅任	奏任	判任	等外	合計			
大坂裁判所			五	一五	三三	六三	一〇二	二一八
横濱裁判所			三	六	九	二二	四一	八〇
神戸裁判所			三	七	二一	六二	八四	一七七
長崎裁判所			二	四	一八	五五	一三五	二二四
函館裁判所			二	五	二	八	二四	四一
新潟裁判所			二	二	一四	三六	七四	一一八
熊谷裁判所			二	四	一三	三九	六二	一一〇
水戸裁判所			二	五	一一	二九	五一	九八
名古屋裁判所			二	二	一四	三八	五五	一一一
静岡裁判所			二	三	七	四一	五二	一〇五
松本裁判所			二	三	一〇	四〇	二二	七七
仙臺裁判所			二	三	一一	二八	四一	八五
福島裁判所			二	五	五	五一	五一	一一四

大坂上等裁判所	宮城上等裁判所	長崎上等裁判所	東京裁判所	京都裁判所	大坂裁判所	横濱裁判所	神戸裁判所	長崎裁判所	函館裁判所	新潟裁判所	熊谷裁判所	水戸裁判所	名古屋裁判所	静岡裁判所	松本裁判所	仙臺裁判所	福島裁判所	弘前裁判所	金澤裁判所	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
49	27	32	23	27	26	39	93	79	17	54	58	47	56	53	55	44	63	40	55	49
9	15	11	14	15	15	21	33	27	6	22	25	23	33	24	21	21	27	17	24	19
7	7	7	7	7	7	11	34	24	4	14	14	16	22	22	19	16	11	8	11	7
1	1	1	1	1	1	2	5	4	1	3	3	4	5	5	4	4	5	3	4	1
33	19	24	27	25	28	41	84	77	24	74	62	51	55	53	57	41	51	28	29	33
81	46	48	55	50	58	80	177	124	41	288	221	188	211	205	277	185	214	168	284	81

東京上等裁判所	大審院	本省	廳名等級										合計							
			等一	等二	等三	等四	等五	等六	等七	等八	等九	等十								
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
61	43	138	6	27	28	37	19	28	18	24	25	23	33	24	21	27	17	24	19	49
27	18	27	6	27	28	37	19	28	18	24	25	23	33	24	21	27	17	24	19	49
8	7	11	1	11	12	17	9	14	10	14	15	16	22	22	19	16	11	8	11	7
35	25	44	4	25	28	37	19	28	18	24	25	23	33	24	21	27	17	24	19	49
96	68	182	10	68	77	104	55	84	54	74	62	51	55	53	57	41	51	28	29	33



ヒシモノ「ジュル、ジュスラン」アダーム、ラパール「ヘルベルト、エ、ステーウエン  
 ス」ノ三人ナリ又満期ニ因リ雇ヲ解キシ者ハ鄭雪濤一人ナリ故ニ本年度末ノ  
 現員ヲ以テ前年度ニ比較スレハ二人ヲ増加シ俸給モ亦毎月九百圓ヲ増セリ  
 是レ法律専門學校ヲ設置シテ師範ヲ要セシヲ以テナリ

奉職廳名	國名	名人	名職	務給料	期限
本省	佛蘭西	キヌスターウア、エミール、 ボアソナード、ドフラン、 ラビー	法律顧問	月給七百圓 手當二百圓	自九年十一月十五日 至十二年十一月十四日
本省	佛蘭西	ジュル、ジュスラン	檢職顧問	同六百圓	自九年七月六日 至十一年七月五日
本省	亞米利加	ジ、ドフルユ、ヒール	裁判顧問	同五百圓	自九年八月廿五日 至十二年八月廿四日
本省	佛蘭西	ピエール、ジョセフ、ムリエ	法學生徒教師 兼 譯 譯	同三百圓	自九年八月十日 至十年八月九日
本省	和蘭陀	アダーム、ラパール	法律顧問	同三百圓	自九年八月廿三日 至十一年二月廿二日
横濱裁判所	和蘭陀	レランワシデル、ポルドル	書記通辨翻譯	同三百圓	自九年九月廿九日 至十年九月廿八日
横濱裁判所	支那	羅寶森	書記通辨翻譯	年給四百圓	自九年十二月六日 至十年十二月五日

大坂上等裁判所 大坂裁判所 神戸裁判所	佛蘭西	裁判顧問	月給二百五十圓	自九年十月一日 至十年九月三十日
神戸裁判所	英吉利	書記通辨翻譯	同二百圓	自九年七月七日 至十年七月六日
合計	人員	給料	三、三三三、三三三	
前年度ヨリ増	二		九〇〇、〇〇〇	

給料中前年度ノ一弗ハ今之ヲ壹圓ニ算シテ比較ス  
 年給ハ之ヲ十二分シテ合計中ニ算入ス  
 佛人「リップマン」ハ大坂上等裁判所大坂裁判所神戸裁判所ヲ兼勤ス

職員ニ關シタル諸達ヲ舉レハ九年七月丁第三號ヲ以テ各廳雇使ノ外國人滿  
 期後繼雇解任等ハ凡ソ三十日前開申ス可キ旨雇外國人アル裁判所ニ達シ同  
 八月第十九號ヲ以テ職制律廢セラレ官吏懲戒例ヲ設ケラレタルニ因リ判任  
 以下職務上ノ過失ハ其事實ヲ具申スヘキ旨大審院長各裁判所長及ヒ檢事局  
 長ニ達シ同十一月丁第九號ヲ以テ各廳官員ノ公私旅行ハ管内外ニ關セス着



發トモ申牒ス可キ旨ヲ大審院各裁判所及ヒ檢事ニ達シ十年一月丙第三號達  
 ヲ以テ各廳官員任解申牒書式及ヒ新任判任官以下ノ履歷書差出方ヲ改正シ  
 丙第七號達ヲ以テ糾問掛ヲ命シ或ハ免シタル時鄰接府縣ヘノ通牒ヲ廢シ丁  
 第十六號達ヲ以テ等外吏職務上ノ過失ハ懲戒例ニ照シテ處分シ備等ノ公事  
 ニ關スル者ハ適宜處分スルヲ各裁判所長及檢事長ニ委任シ東京ヲ除ク丁第十  
 七號達ヲ以テ判任官以下公私旅行ノ發着九年丁第九號達并歸省療養除服出仕改印  
 ヲ申牒スル例規ヲ廢シ同年三月丁第二十四號達ヲ以テ判任官辭表ニ依テ免  
 官スル者ノ詞令傳達ヲ各裁判所長及ヒ檢事ニ委任シ東京ヲ除ク同六月丁第四十  
 五號ヲ以テ本省ヘ開申シ允准ヲ得テ採用シタル官員ハ任官詞令ト共ニ在勤  
 ヲ命スル詞令ヲ付與ス可キ旨各裁判所長ニ達シ東京ヲ除ク丁第四十七號ヲ以テ  
 判任官ノ採用ヲ具上スルニハ必ス履歷書ヲ添ユヘキ旨大審院各裁判所及ヒ  
 檢事ニ達スル等ナリ

法學專門生徒

法律學ノ生徒ハ官費ヲ以テ養成スル者ニシテ本年度本省學校中私費生徒四人アリ是レ例外ニ係ル教師  
 ヲ海外ニ聘シ歐米ノ原書ニ就テ教授シ大成ヲ目途トス而シテ前ニ明法寮ノ

生徒アリ前年度既ニ七名ヲ撰拔シテ佛國留學ヲ命シタリ猶ホ此事業ヲ振興  
 セン丁ヲ期シ法學專門ノ科ヲ開キ生徒ヲ養成セン丁ヲ上申シ裁可ヲ得タル  
 ニ因リ九年三月達第三十一號ヲ以テ廣ク生徒ヲ府縣ニ招募ス是ニ於テ同年  
 八月再ヒ明法寮生徒中ヨリ三名ヲ撰拔シテ佛國留學ヲ命シ其餘ハ官吏ニ登  
 用シ同年九月ニ至リ招募ニ應セシ人員中ヨリ學力ノ優等身體ノ強壯ナル者  
 一百餘名ヲ撰シテ入學ヲ許シ學事一變ヲ爲セリ  
 本年度中本省學校ニ於テ生徒ノ病死セシモノ二人退校ヲ命セシモノ八人佛  
 國ニ於テ病死セシモノ一人業成テ歸朝セシモノ一人アリ即チ十年六月三十  
 日ノ現員左ノ如シ

	司法省學校	生徒	教師及教官
佛國	留學	九四	六
獨國	留學	一	
合計		一〇四	六

右ノ外九年四月招募シタル出仕生徒ナルモノアリ是レ皆ナ速成ヲ期シ翻譯書等ニ就キ學ハシムル者ニシテ教授ノ一モ亦判事判事補及ヒ屬官中ヨリ兼掌ス而シテ生徒ノ數漸次増加シ九年十二月ニ至ツテ現ニ四十一名アリト雖氏同月遂ニ之ヲ廢セリ

經費附土木

本年度經費ノ定額ハ金百二十三萬三千圓ニシテ地方裁判所ノ改置ニ因リ増額十八萬七千五百圓ヲ合セテ百四十二萬零五百圓トス然ルニ官制改革ニ因リ減額三萬二千九百一十一圓零二錢及ヒ雇外國人宿料中減額百五十圓「ホアツ」外務省兼務中同省官邸合セテ三萬三千零六十一圓零二錢ヲ除キ百三十八萬七千四百三十八圓九十八錢ヲ實際經費ノ額トス而シテ同年度中支出スル所ノ總金額ハ百三十八萬六千六百七十一圓九十七錢六厘ナレハ之ヲ扣除シテ七百六十七圓零四厘ヲ贏餘トス

右支出ノ金額百三十八萬六千六百七十一圓九十七錢六厘ヲ以テ前年度ノ支出額ニ比スレハ金二十七萬五千四百一十一圓二十七錢五厘ヲ増加ス即チ左ノ如シ

費目	年度		定額常費		九年度ノ方		額外常費		九年度ノ方		合計		九年度ノ方	
	九年度	八年度	增	減	九年度	八年度	增	減	九年度	八年度	增	減	九年度	八年度
俸給	七九八,五五三	八〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇						七九八,五五三	八〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇			
給與	二二七,七八〇	七二七,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇						二二七,七八〇	七二七,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇			
內國旅費	五八,五七三	四九,八六一	八,七一二						五八,五七三	四九,八六一	八,七一二			
廳中費	二二九,九四〇	七四,八二五	一五五,一一五						二二九,九四〇	七四,八二五	一五五,一一五			
厩費	八三,〇〇〇	八六,〇〇〇	三,〇〇〇						八三,〇〇〇	八六,〇〇〇	三,〇〇〇			
管繕費	一〇六,九九五	四八,八二七	五八,一六八						一〇六,九九五	四八,八二七	五八,一六八			
外國人諸費	四〇,二七五	四〇,八五五	五八〇						四〇,二七五	四〇,八五五	五八〇			
內國生徒費	一〇,九五〇	五五,七〇〇	四四,七五〇						一〇,九五〇	五五,七〇〇	四四,七五〇			
外國生徒費	一〇,〇〇〇	六八,五三三	五八,五三三						一〇,〇〇〇	六八,五三三	五八,五三三			
檻倉費		四三,〇七五	四三,〇七五							四三,〇七五	四三,〇七五			
設置費														
償戻														
合計	一,七九八,九五三	九,九六三,九二二	八,一六四,九六九	一,六三三,九七五	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,七九八,九五三	九,九六三,九二二	八,一六四,九六九	一,八〇〇,〇〇〇	一,八〇〇,〇〇〇	一,八〇〇,〇〇〇

八年度ハ洋銀一弗ヲ一圓ニ算シテ掲載セシヲ以テ今其増差凡ソ金二百

七十六圓餘ヲ算入シテ比較ス

右表中經費各目ノ増減ニ就キ尚其因由ヲ略叙スルト左ノ如シ

俸給ハ官制改正ニ因リ本省及ヒ各上等裁判所ニ於テ二萬二千六百三十六圓餘ヲ減スト雖ヒ大審院ニ於テ前年度未タ備ハラサル人員ヲ補充スル爲メ四千四百四十八圓餘ヲ増シ又地方裁判所ノ改置ニ因リ之カ支區廳ヲ増置セシヲ以テ人員隨テ増加シ爲メ二十六萬六千零七十圓餘ヲ増ス故ニ乗除スレハ十四萬七千五百八十二圓餘ノ増加ヲ爲セリ

給與ハ本省事務繁劇ナルヲ以テ使役人員増加シ爲メ二萬二千四百七十三圓餘ヲ増シ大審院上等裁判所ニ於テ前年度未タ備ハラサル人員ヲ補充スル爲メ千六百六十一圓餘ヲ増シ地方裁判所ノ改置ニ因リ三萬六千二百八十圓餘ヲ増シ又額外常費ニ於テ賞與及ヒ祭筵料等五百六十圓ヲ増スヲ以テ通シテ五萬零九百七十四圓餘ノ増加ヲ爲セリ

內國旅費ハ地方裁判所改置ノ際各地交代等ノ旅費一切設置費ヨリ支辨シ且旅費定則ノ改正ニ因リ一萬千七百七十七圓餘ヲ減スト雖ヒ地方裁判所改置ノ後

一時官吏ヲ交代セシムル等ニ因リ二萬零七圓餘ヲ増スヲ以テ乗除シテ八千八百九十圓餘ノ増加ヲ爲セリ

廳中費ハ地方裁判所ノ改置ニ因リ本省事務ニ影響ヲ來シ爲メニ需用品其他ノ費用一萬二千零六十八圓餘ヲ増シ大審院ハ草創ニ屬シ本年度ニ至リ整備ヲ要スルモノ少カラサルヲ以テ千七百五十八圓餘ヲ増シ各地方裁判所ニ於テ三萬六千三百九十圓餘ヲ増スト雖ヒ各上等裁判所ニ於テ二千五百三十七圓餘ヲ減シ又額外常費ニ於テ外國人接待費ノ節畧ニ因リ九百四十七圓餘ヲ減スルヲ以テ乗除シテ四萬六千七百三十二圓餘ノ増加ヲ爲セリ

厩費ハ需用品等ノ節減ニ因リ二十四圓餘ヲ減セリ

營繕費ハ前年度ニ於テ本省大審院上等裁判所ノ修繕畧備ハルヲ以テ此費用一萬零四百零七圓餘ヲ減セリ然ルニ地方裁判所一時ノ營繕ハ設置費ヲ以テ支辨セリト雖ヒ爾後支區廳ノ位置ヲ變シ或ハ永久ノ目途ヲ以テ改築スル等ノ費用六萬九千四百八十二圓餘ヲ増シタルヲ以テ乗除シテ五萬九千零七十五圓餘ノ増加ヲ爲セリ而シテ額外常費ニ至テハ前年度中大審院大坂長崎ノ兩上等裁判所其他數裁判所ノ新築費用ヲ要セシモ本年度ハ東京上等裁判所其他一二裁判所ノ新築ニ止ルヲ以テ六萬四千二百零六圓餘ヲ減セリ故ニ之

ヲ乗除スレハ却テ五千百三十一圓餘ノ減省ヲ見ルナリ  
 設置費ハ前年度無キ所ノ費目ナリ是レ地方裁判所ノ設置ニ屬スル費用ニシ  
 テ本年度特別ニ設ケタルモノトス即チ其額七萬八千八百六十八圓餘ニシテ  
 之ヲ前年度ニ比スレハ六萬四千四百四十一圓餘ノ増加ヲ爲セリ前年度設置費  
 比額外常費給與ノ内八千四百六十三圓餘廳中費ノ内六千五百八十四圓餘  
 給與ノ内二千三百八十圓餘合テ一萬七千四百二十七圓餘ハ設置ニ屬スル費  
 用ナルヲ以テ今之ヲ分蓋シ前年度ハ宮城上等裁判所ヲ移轉シ及ヒ宮城鶴岡  
 高知鹿兒嶋ノ數裁判所設置ニ止ルモ本年度ハ地方裁判所ノ改置ニ因リ廢置  
 分合一トシテ此經費ヲ要セサル者ナキヲ以テナリ  
 償戻モ亦前年度無キ所ノ費目ナリ即チ其額十六圓餘ニシテ額外増費ニ屬ス  
 ト雖比西南騷擾ノ際鹿兒嶋裁判所ニ於テ未決事件預リ金ノ賤手ニ陥ヒリシ  
 モノヲ償ヒ戻セシ者ナルヲ以テ一時ノ費用ニ止ルモノトス  
 此他熊本秋月ノ暴動及ヒ西南騷擾ノ爲メ支消セシ金額ノ交付ヲ受クル者  
 アリト雖比本省會計部外ナルヲ以テ之ヲ畧ス  
 又本省大審院裁判所ノ各廳ニ區別シテ本年度ノ經費ヲ示ス左ノ如シ

廳名	費目		國內旅費	廳中費	廳底費	營業費	外國人諸費	國內生徒費	外國生徒費	設置費	償戻	計	合計
	俸給	與給											

本 省	大 審 院	東 京 上 等 裁 判 所	大 坂 上 等 裁 判 所	宮 城 上 等 裁 判 所	長 崎 上 等 裁 判 所	東 京 裁 判 所	京 都 裁 判 所	大 阪 裁 判 所	橫 濱 裁 判 所	神 戶 裁 判 所	長 崎 裁 判 所	函 館 裁 判 所
常費 1,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00	常費 5,000,000.00
額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00	額外 2,000,000.00
合計 3,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00	合計 7,000,000.00

廳名	費目		給俸	與給	國內旅費	廳中費	厩費	管轄費	國外諸費	國內生徒費	國外生徒費	設置費	償戻	計	合計
	常費	額外													
新潟裁判所	1,345,440	3,124,840	3,124,840	1,018,150	1,018,150	3,848,300	2,113,550	2,868,900	2,113,550			1,000,000	3,124,840	3,124,840	3,124,840
能谷裁判所	1,218,100	1,218,100	1,218,100	1,218,100	1,218,100	1,218,100	1,218,100	1,218,100	1,218,100				1,218,100	1,218,100	1,218,100
水戸裁判所	1,875,500	1,875,500	1,875,500	1,875,500	1,875,500	1,875,500	1,875,500	1,875,500	1,875,500				1,875,500	1,875,500	1,875,500
名古屋裁判所	1,628,600	1,628,600	1,628,600	1,628,600	1,628,600	1,628,600	1,628,600	1,628,600	1,628,600				1,628,600	1,628,600	1,628,600
静岡裁判所	1,174,100	1,174,100	1,174,100	1,174,100	1,174,100	1,174,100	1,174,100	1,174,100	1,174,100				1,174,100	1,174,100	1,174,100
松本裁判所	1,327,000	1,327,000	1,327,000	1,327,000	1,327,000	1,327,000	1,327,000	1,327,000	1,327,000				1,327,000	1,327,000	1,327,000
仙臺裁判所	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600				1,477,600	1,477,600	1,477,600
福島裁判所	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600				1,477,600	1,477,600	1,477,600
弘前裁判所	757,600	757,600	757,600	757,600	757,600	757,600	757,600	757,600	757,600				757,600	757,600	757,600
金澤裁判所	1,166,000	1,166,000	1,166,000	1,166,000	1,166,000	1,166,000	1,166,000	1,166,000	1,166,000				1,166,000	1,166,000	1,166,000
松江裁判所	947,000	947,000	947,000	947,000	947,000	947,000	947,000	947,000	947,000				947,000	947,000	947,000

廳名	費目		給俸	與給	國內旅費	廳中費	厩費	管轄費	國外諸費	國內生徒費	國外生徒費	設置費	償戻	計	合計
	常費	額外													
廣嶋裁判所	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600	1,477,600				1,477,600	1,477,600	1,477,600
高知裁判所	1,577,500	1,577,500	1,577,500	1,577,500	1,577,500	1,577,500	1,577,500	1,577,500	1,577,500				1,577,500	1,577,500	1,577,500
松山裁判所	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400				1,077,400	1,077,400	1,077,400
熊本裁判所	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400	1,077,400				1,077,400	1,077,400	1,077,400
鹿兒島裁判所	1,277,300	1,277,300	1,277,300	1,277,300	1,277,300	1,277,300	1,277,300	1,277,300	1,277,300				1,277,300	1,277,300	1,277,300
檜熊谷裁判所	3,277,200	3,277,200	3,277,200	3,277,200	3,277,200	3,277,200	3,277,200	3,277,200	3,277,200				3,277,200	3,277,200	3,277,200
萬千葉裁判所	5,277,100	5,277,100	5,277,100	5,277,100	5,277,100	5,277,100	5,277,100	5,277,100	5,277,100				5,277,100	5,277,100	5,277,100
舊栃木裁判所	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000				3,277,000	3,277,000	3,277,000
舊山梨裁判所	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000	3,277,000				3,277,000	3,277,000	3,277,000
舊鶴岡裁判所	5,277,000	5,277,000	5,277,000	5,277,000	5,277,000	5,277,000	5,277,000	5,277,000	5,277,000				5,277,000	5,277,000	5,277,000
舊三浦裁判所	4,277,000	4,277,000	4,277,000	4,277,000	4,277,000	4,277,000	4,277,000	4,277,000	4,277,000				4,277,000	4,277,000	4,277,000

夫レ事務擴張スレハ用度モ亦從テ増加セサルヲ得ス茲ニ本省大審院各裁判

所十年六月二十八日ノ現員ヲ以テ本年度ノ經費ト對照スルノ左ノ如シ

廳名	職員	經費
本省	一八二	二二九、二二一
大審院	六八	五九、四一九
東京上等裁判所	九六	八四、七二五
大坂上等裁判所	八一	五二、七九五
宮城上等裁判所	四六	二三、九九〇
長崎上等裁判所	四八	二六、五九三
東京裁判所	二一九	一一七、八一七
京都裁判所	一五五	五三、五七六
大坂裁判所	二一八	七二、〇一〇
横濱裁判所	八〇	三七、六九五
神戸裁判所	一七七	五三、五八六
長崎裁判所	二一四	五七、六八七
函館裁判所	四一	二〇、〇二九
新潟裁判所	一二八	三五、四八三
熊谷裁判所	一二〇	三三、三六六
合計	一、三〇六	一、三〇六、〇〇〇

四十

廳名	職員	經費
水戸裁判所	九八	三三、二九五
名古屋裁判所	一一一	四一、七九七
静岡裁判所	一〇五	三三、九四三
松本裁判所	七七	三一、〇八四
仙臺裁判所	八五	三七、二七九
福島裁判所	一一四	四六、六九六
弘前裁判所	六八	二四、〇三三
金澤裁判所	八四	二八、〇二三
松江裁判所	七九	二〇、八五〇
廣島裁判所	一二九	三六、九四八
高知裁判所	一一三	二八、三〇七
松山裁判所	一二三	二二、八五四
熊本裁判所	九七	二四、六八一
鹿兒島裁判所	四二	一八、八七七
合計	一、三〇六	一、三〇六、〇〇〇

表中地方裁判所改置前ノ各廳經費ハ現在ノ廳ニ合ス即チ千葉ヲ東京ニ舊熊谷ヲ熊谷ニ栃木ヲ水戸ニ山梨ヲ静岡ニ鶴岡ヲ福島ニ三浦ヲ長崎ニ合算ス

四十一

會計上ニ關シタル達ヲ舉レハ九年九月丁第四號ヲ以テ各地在勤ノ者該裁判所區域内ヲ往復スル旅費ハ旅費定則第六章ニ準據ス可キ旨各裁判所ニ達シ十年五月丁第三十九號ヲ以テ地租減額費用節減ニ就キ本年一月二月兩度ノ制旨ヲ奉シタルニ因リ官制改革ニ係ル經費ノ減額ハ本年度經費ノ内ヨリ返納ス可キ旨各裁判所長ニ達スル等ナリ  
土木ノ一ハ本省大審院各裁判所大抵アラサル所ナシト雖モ多クハ小修繕ニ止ルヲ以テ悉ク之ヲ舉示セス獨リ本年度中新築セシ廳舎ヲ掲クル一左ノ如シ

廳名	所在地名	造築種類	總坪	起工月日	落成月日	經費
東京上等裁判所	東京永樂町一丁目二番地	西洋造	四百六十五坪 二合五夕	明治十年六月廿日	明治十年五月十日	金二萬千零五十一圓八十錢
福島裁判所	岩代國信夫郡腰濱村地内宇新町北二番地	全	三百四十六坪	全年四月廿日	全年九月廿二日	金六千六百零一圓四十八錢五厘 三萬零九百三十九圓八十四錢五厘
廣島裁判所	安藝國沼田郡廣嶋字小町五百八十五番地	全	二百七十七坪 八合三夕	全年五月十日	全年六月十日	金三千二百八十六圓五十六錢

書籍

法律ニ係ル書籍ヲ翻譯シ或ハ刊行スル事業ハ從前ヨリ之レアリ而シテ本年度明治十年一月局課分掌改定ノ際更ニ書籍課ヲ置キ專ラ上梓印刷ノ事ヲ掌ラシム因テ此ニ掲出スルハ同課ニ於テ年度中刊行功ヲ竣ル者ニ係ル左ノ如シ

編	書	譯	綴	書目	書ノ大旨	冊數定	追々刊行冊數定
			證據論拔萃	證據論ノ原旨ヲ拔萃ス		一	第一
			性法講義	「ホアツナード」氏ノ性法講義ヲ筆記ス		一	
			佛國商工法鑑	佛國商工業ニ管スル法則ヲ彙纂ス		一	
			萬國公法	普國「ヘフトル」氏著萬國交際ノ一ヲ論述ス		一	
			佛國民法契約書解釋方法說明	「ホアツナード」氏ノ講義ヲ筆記ス		一	
			大審院判決錄民事部	明治八年判決ノ判文ヲ錄ス		一	
			全 刑事部	全 上		一	
			司法省指令錄民事部	各裁判所府縣指令ヲ編纂ス		一	自一號至十七號

全 刑 事 部	全 上	一 號
司 法 省 布 達 全 書	八 年 ノ 布 達 ヲ 區 分 編 纂 ス	一
全 工	九 年 ノ 布 達 ヲ 區 分 編 纂 ス	一
諸 規 則 罰 例 全 書	諸 規 則 罰 例 ヲ 編 纂 ス	第 一 第 二
民 事 慣 例 類 集	各 地 方 民 事 慣 例 ヲ 採 録 類 纂 ス	第 一

恩赦特典

恩赦ノ特典ハ刑ノ執行中若クハ裁判言渡前ニ於テ行狀ノ嘉ス可キ者ト罪跡自カラ情ノ憫諒スヘキモノアリテ成律ヲ的用シカダキ者トヲ赦減スルモノナリ本年度中此特典ヲ奉行シタル者ノ總數二百八十三人ナリ而シテ其五人ハ情ノ憫諒スヘキモノアリテ成律ヲ的用シカダキ者ナリ之レヲ細別スレハ二人ハ國事犯口供甘結後五年ヲ經ル者一人ハ火ヲ放チテ人家ヲ燒燬スト雖元ト痴情ニ出テ盜心アルニアラサル者一人ハ謀殺已ニ行ヒ人ヲ傷シテ死セス其事九年前ニ在リ且情狀ノ酌量スヘキトアリシ者一人ハ妻ヲ故殺スト雖元ト酩酊ニ乘シテ平生ノ妬念ヲ生シ毆打シタルニヨリ死ニ致シ醒後悔ヒテ自死セントスル者ナリ其餘二百七十八人ハ皆行狀ノ嘉スヘキ者ニシテ

其目ヲ舉クルニ悔悛ノ實効アル者二十九人人命ヲ救助スル者五十人出火ノ際消防ニ盡カスル者百三十八人暴徒騷擾ノ際功勞アル者四十五人逃走セントスル囚ヲ捕獲スル者十五人役ノ爲メニ廢疾トナル者一人ナリ今此恩典ヲ蒙ル者ヲ前年度ニ比較スルニ死罪ニ一人ヲ増シ懲役ニ百十人ヲ増ス其原刑及ヒ輕減ノ差等及ヒ特典ヲ乞ヒシ廳名左ノ如シ

廳 名	原 刑 死 刑		懲 役				合 計
	一 等 減	二 等 減	原 刑 終 身	原 刑 自 五 年 至 十 年	原 刑 三 年 以 下		
大 審 院	二						二
東 京 上 等 裁 判 所	一						一
大 坂 上 等 裁 判 所	一	一					二
東 京 裁 判 所				九		二	一一
元 警 視 廳				三			四
大 坂 府				二	一	二	二七
神 奈 川 縣				一	一		四
兵 庫 縣			二				三
埼 玉 縣					一		一



千葉縣	茨城縣	栃木縣	堺縣	三重縣	靜岡縣	滋賀縣	岐阜縣	長野縣	宮城縣	石川縣	島根縣	廣島縣	和歌山縣	大分縣	名東縣	元敦賀縣	合計
																	四
																	一
																	二四
																	五
																	一一〇
																	三七
																	九六
																	六
																	二八三
二	一一	五九	一	一	一	四	一	八一	二	五	三	一	五	三九	一	一〇	二八三

代言人

本年度中代言人ノ免許狀ヲ與ヘシ者五百五十二人ナリ此中上等地方兩裁判所ヲ兼テ營業スル者七十二人アリ是ヲ重複ノ數トス即チ其實數四百八十人ナリ又々期限滿チタル者七十六人アリ此中再ヒ免許狀ヲ與ヘシ者四十一人ナリ但兩裁判所ヲ兼テタル者ヲ包含ス即チ其實數ハ三十五人ナリ而シテ罰ヲ受ケシ者ヲ舉クレハ譴責一人停業二人除名一人ナリ此年度末ノ現在員ヲ舉クルト左ノ如シ

廳名 人員

東京上等裁判所	四二
大坂上等裁判所	二八
宮城上等裁判所	一四
長崎上等裁判所	〇
東京裁判所	五〇
横濱裁判所	四
水戸裁判所	七
熊谷裁判所	六

名古屋裁判所	五
静岡裁判所	五
新潟裁判所	二
松本裁判所	五
京都裁判所	二
大坂裁判所	七
神戸裁判所	四
金澤裁判所	一
松江裁判所	〇
松山裁判所	二
高知裁判所	二
廣島裁判所	二
弘前裁判所	一
仙臺裁判所	二
福島裁判所	一
函館裁判所	四
長崎裁判所	一
熊本裁判所	二
鹿兒島裁判所	〇
合計	五

重複數	七一
實數	四四
重複數ハ上等裁判所ト地方裁判所ト兼業ノ者ニ係ル	五
合計	七一

第二編 民事統計要旨

大審院自第一表  
至第三表

本年大審院ニ於テ受ル所ノ上告ノ數百四十六件之ニ前年即チ明治八年ノ殘件四十六件ヲ合セテ百九十二件ナリ此中結局ニ至リタルモノ六十五件ニシテ之ヲ區分スレハ左ノ如シ  
本院及ヒ上等裁判所ノ設置ハ前年五月ニ在ルヲ以テ前年ト増減ヲ比較スルヲ得ス

一願下及ヒ不受理

五十一件

一破毀

十三件

一刑事課ニ送付ス

一件

右合計中人民ヨリ官府ニ對スル詞訟ノ上告新舊共ニ三十件ニシテ即不受理五件破毀一件未決二十四件ナリ

又上告總數中控訴ヲ經サルニ因リ受理セサルモノ十一件アリ  
 本年十二月三十一日ニ至リ未決ノ件數百二十七件アリ總數十分ノ六六強ニ當ル

結局ニ至リタル時日ハ半年ヲ超ル者其半ニ居ル此ノ如ク時日ノ遷延スル者ハ蓋シ大審院ノ事務特ニ繁密ニ涉ル者多キヲ以テナリ

結局ニ至リタル訴訟ノ種類ハ土地ニ關スル者最モ多シトス初審裁判所ニ於テハ金錢ニ關スル者常ニ多キニ居ルト雖モ上告ニ至ツテハ土地ニ關スル者反テ金錢ニ關スルモノヨリ多シ蓋シ土地ノ所有經界等ニ至ツテハ各地慣例ヲ異ニシ事實最モ盤錯ニ涉ルヲ以テ自ラ然ル所以ナリ然レモ表紀ノ事業日猶淺ク徵集ノ材料未タ精密ナラサルヲ以テ其性質ノ辨知シ難キ者少カラス因テ此類別ヲ以テ遠カニ其原由ヲ認定スルヲ得ス

結局ニ至リタル件數中外國人ニ關涉セシモノ二件アリ一ハ米穀ニ關スル件ニシテ受理セス一ハ給料ノ件ニシテ破毀セリ其原廳ハ皆ナ東京上等裁判所ナリ

各上等裁判所ニ就テ本年上告件數ノ多少ヲ見ルニ東京上等裁判所最モ多シ大坂宮城長崎ノ三上等裁判所ヲ合スルモ東京上等裁判所ノ半數ニ及ハス乃チ各廳ノ件數ヲ以テ上告件數ニ比例スレハ左ノ如シ

廳名	控訴及ヒ官府ニ對スル訴訟		比例十分率
	新訴	上告新訴	
東京上等裁判所	四八一	九五	二〇弱
大坂上等裁判所	三一二	二二	〇七強

宮城上等裁判所	七七	一一	一四強
長崎上等裁判所	一〇二	八	〇八弱

上等裁判所自第四表至第七表

上等裁判所ハ地方裁判所ノ裁判ニ對スル控訴及ヒ人民ヨリ官府ニ對スル訴訟ヲ受ク先其總數ヲ掲ケ次ニ其區分ヲ記ス

本年上等裁判所ニ於テ受ル所ノ訴訟ノ數九百七十二件之ニ前年ノ殘件二百五十一件ヲ合セテ千二百二十三件此中結局ニ至リタルモノ九百六十一件ナリ

結局ニ至リタル時日ヲ區分スレハ百日以下ノ者最モ多ク結局數十分ノ六強ニ居リ一年以下ノ者十分ノ三強ニ居リ一年以上ノ者ハ纔カニ三十四件ニ過キス

本年十二月三十一日ニ至リ未決ノ件數猶ホ二百六十二件アリ總數十分ノ二強ニ當ル

本年上等裁判所ニ於テ受ル所ノ控訴ノ數八百二十五件之ニ前年ノ殘件百九

十件ヲ合セテ千零十五件ナリ此中結局ニ至リタルモノ七百九十七件ナリ其  
區分左ノ如シ

- 一願下及ヒ不受理 四百二十五件
- 一裁許 三百六十九件
- 一刑事課ニ送付ス 三件

控訴ノ種類ハ金錢ニ關スル者最モ多ク土地家屋ニ關スルモノ之ニ次ク地方  
裁判所ト稍其趣ヲ同フスト雖モ之レカ比例ヲ爲ス片ハ少シク其權衡ヲ異ニ  
ス即チ地方裁判所金錢ニ關スル件數ハ結局總數十分ノ八強ニシテ上等裁判  
所ハ十分ノ四強ニ居リ地方裁判所土地家屋ニ關スル件數ハ十分ノ一二及ハ  
スト雖モ上等裁判所ハ十分ノ三強ニ居ルナリ

各廳受ル所ノ控訴件數ハ東京上等裁判所最モ多シ其件數三百八十八件大坂  
上等裁判所ハ之ニ次ク其件數二百八十七件宮城上等裁判所ハ七十一件長崎  
上等裁判所ハ七十九件ナリ

控訴ノ原廳ヲ見ルニ其件數ノ最モ多キ者ハ東京裁判所ニシテ大坂之ニ次ク  
其他ノ裁判所ハ皆ナ東京裁判所ノ三分ノ一二及ハス而シテ函館鹿兒島ノ兩裁  
判所及ヒ開拓使ハ全ク之ナシ乃チ其比例ヲ示ス左ノ如シ

廳名	初審結局件數	控訴結局件數	比例千分	控訴結局區別	
				願下 不受理	裁許 初審ヲ適當トス 初審ヲ不適當トス
司法省裁判所	三	三			刑事 一
東京裁判所	二三八九五	一三八	五七八弱	六九	五三
橫濱裁判所	五九一八	三六	六〇八強	二五	五
水戸裁判所	一四八八八	三一	二〇八強	一三	一一
熊谷裁判所	九〇六七	二一	二二四強	八	九
名古屋裁判所	一九三六八	四二	二一七弱	二四	七
静岡裁判所	一一五七五	一八	一五六弱	一〇	五
新潟裁判所	九七〇〇	三六	三七〇弱	一一	二
松本裁判所	九九三九	三一	三一二弱	一〇	一三
京都裁判所	二一九〇一	三六	一六四強	一九	八
大坂裁判所	五五三六八	一一二	二〇二強	五七	二四
神戸裁判所	二四、二四	五八	二四〇強	三一	一五

合 計	開拓使	鹿兒島裁判所	熊本裁判所	長崎裁判所	函館裁判所	福島裁判所	仙臺裁判所	青森裁判所	廣島裁判所	松江裁判所	高知裁判所	松山裁判所	金澤裁判所
二八五〇五八	二二五	七五七	七四四二	一一五一九	九七八	九一六一	五三四九	四三六三	六二一六	八二七七	一一、二八七	四、七三七	九一〇四
七九七			一一	四六		二六	一八	一七	一八	五	三七	二〇	三六
二八〇強			一六一強	三九九強		二八四弱	三三七弱	三九〇弱	二九〇弱	〇六〇強	三三一弱	四二二強	三九五強
四二三			七	二六		一五	一一	一三	一〇	二	二三	一四	二四
二〇九			二	一一		七	二	二	五	三	五	三	六
一五九			三	八		四	四	二	三		九	三	六
三													

控訴結局件數中外國人ニ關涉スルモノ十件アリ此中願下及ヒ不受理トナリ

タルモノ四件裁許トナリタルモノ六件ナリ其種類ハ賣買貸借ニ關スル者半ニ居リ其他ハ雇人取戻受負及ヒ違約等ナリ審理ノ廳ハ大坂上等裁判所五件東京上等裁判所二件長崎上等裁判所二件司法省裁判所一件ナリ本年上等裁判所受ル所ノ人民ヨリ官府ニ對スル訴訟ノ數百四十七件之ニ前年ノ殘件六十一件ヲ合セテ二百零八件ナリ此中結局ニ至リタルモノ百六十四件トス其區分左ノ如シ

一願下及ヒ不受理

百三十九件

一裁許

二十四件

一刑事課ニ送付ス

一件

官府ニ對スル訴訟ノ種類ハ控訴ト其趣ヲ異ニシ土地ニ關スル者金錢ニ關スル者ト其數略伯仲ス即チ土地ニ關スル者五十七件金錢ニ關スル者五十一件之ニ次テ多キ者ハ縣廳處分不服及ヒ曲庇壓制ノ目ニシテ合セテ三十件アリト雖モ何ノ處分不服ナルヤ何ノ曲庇壓制ナルヤ今其性質ヲ知ルニ由ナシ各廳受ル所ノ官府ニ對スル訴訟ノ件數東京上等裁判所最モ多シ其件數九十三件大坂上等裁判所之ニ次ク其件數二十五件長崎上等裁判所ハ二十三件宮城上等裁判所ハ六件ナリ

官府ニ對スレ訴訟結局件數中外國人ニ關涉スルモノ十四件アリ此中願下不受理トナリタルモノ合セテ五件刑事課ニ送付スルモノ一件裁許八件ナリ其件目ハ賣買貸借ニ關スルモノ半ニ居リ其他ハ受負手付金償金學費及ヒ違約等ナリ審理ノ廳ハ東京上等裁判所十一件大坂上等裁判所二件長崎上等裁判所一件ナリ

地方裁判所 自第八表至第十三表

地方裁判所ノ改置ハ本年九月ニ在リ是ヨリ先京都岡山廣島岐阜長野栃木埼玉福島宮城石川滋賀兵庫長崎福岡大分高知静岡神奈川岩手青森ノ諸府縣管轄ヲ分合セラル故ニ裁判管轄モ廳名同フシテ前後管轄ノ廣狹ヲ異ニシ或ハ一郡ヲ甲乙兩廳ニ分屬スル等ノ者アリ今地方裁判所改置前ノ裁判所及ヒ府縣ノ件數ハ之ヲ現在ノ裁判所ニ合算スト雖モ少差異アルハ免レサル所ナリ本年十二月現設ノ地方裁判所ノ數二十三所開拓使ヲ加ヘテ二十四所其支廳三十三所區裁判所七十八所ナリ支廳及區裁判所ノ件數ハ皆之ヲ各本廳ニ合記ス

本年地方裁判所及ヒ開拓使ニ於テ受ル所ノ訴訟ノ數二十七萬千三百九十七

件之ニ前年ノ殘件五萬六千二百九十三件ヲ合セテ三十二萬七千六百九十件ナリ此内結局ニ至リタルモノ二十八萬五千零五十八件其區分左ノ如シ

- 一願下及ヒ棄却 六萬四千零四十件
- 一和解 二十一萬五千四百九十七件
- 一裁許 四千八百十件
- 一刑事課ニ送付ス 七百一十一件

本年十二月三十一日ニ至リ猶四萬二千六百三十二件ノ未決アリ總數十分ノ一三強ニ當ル

本年受ル所ノ新訴ノ數ヲ以テ前年ニ比較スレハ左ノ如シ

八年 新 訴	九年 新 訴	減
三二三五八八	二七一三九七	五二一九一

右ニ依テ見ル片ハ民事ノ訴訟前年ヨリ遽カニ減少セシカ如シト雖モ其實ハ然ラス蓋シ前年ハ勸解ノ法アリト雖モ之ヲ實行セシハ東京裁判所小倉縣ノ二所ニ止リ其件數甚タ少シ本年ニ至テハ各廳漸次ニ勸解ヲ聞キ且民事詞訟ハ力メテ勸解ヲ經ヘキ旨本省ヨリ諭達セシヲ以テ其件數遽カニ十倍ニ上レ

リ乃チ本年ノ本訴及ヒ勸解ヲ合算スル者ヲ以テ之ヲ前年ニ比較スル片ハ左ノ如シト看做シ新訴中ニテ之ヲ除算ス

八年新訴		九年新訴	
本訴	勸解	本訴	勸解
三二三、五八八	一六六六七	二七一、三九七	一六八、三六七
合計		合計	
三四〇、二五五		四三九、七六四	
		九年ノ方増	九九五、〇九

右本年本訴及ヒ勸解ノ數ヲ合シテ之ヲ全國ノ人口ニ比例スレハ左ノ如シ

全國人口	本訴及ヒ勸解件數	百分ノ率
三四一七〇、八三二	四三九、七六四	一、三七七

本訴結局中前年ヨリ著シク増加セシ者ハ和解ニシテ之ニ次テ増加セシ者ハ裁許ナリ但裁許ハ六年以降年ヲ追テ減セシカ本年ニ至リ遽カニ増加ス又前年ヨリ著シク減少セシ者ハ願下及ヒ棄却ナリ是レ全ク勸解ヲ經ルニ因テ訴訟人略權利義務ノ所在ヲ辨知ス故ニ勸解不調ニシテ本訴ヲ爲スニ至ル片ハ自ラ願下或ハ棄却トナルモノ少ク隨テ和解裁許ノ増加スルハ理ノ當サニ然ルヘキ者ナリ其區分左ノ如シ

結局總數	右ノ内					九年ノ増減	
	裁許	和解 <small>席前 席後</small>	願下	棄却	刑事課ニ送付ス	外國領事ヘ廻ス	増
八年	二八六、二六一	三、五四六	一九七、三七五	五九、五九二	二四、七〇七	一、〇二八	一三
九年	二八五、〇五八	四、八一〇	二二五、四九七	四五、〇二七	一、九〇一	七一一	一三
九年ノ増減	一、二〇三	一、二六四	一八、一三三	一四、五六五	五、六九四	三二七	一三

結局ニ至リタル訴訟ノ件目八十八種アリト雖氏之ヲ類別スレハ金錢ニ關スル件目三十八種ニシテ其件數ハ殆ント結局數十分ノ八四ヲ占ム而シテ此中十分ノ八三強ハ金錢貸借ノ件ナリ金錢ニ關スル者ヲ除キ猶五十餘種ノ目アリト雖氏其件數ハ結局數十分ノ二ニ及ハス乃チ訴訟ノ金錢ニ關スル者多キヲ見ル可シ今上ノ種類ヲ大別シテ家督相續、家督相續遺、離婚、離婚、妻、取戻、子女取戻、人事雜取戻、同居人立退、親屬不和、土地建物、土地建物、地引揚支配地引揚地所經界、道路通行、地所々有、開墾地、入會山、地券、河水、用水、山ヲ合ス〇第十表印刷ノ際愛知裁判所書入質一件ヲ脱シタルヲ以テ今之ヲ



鹿兒島裁判所	熊本裁判所	長崎裁判所	函館裁判所	福島裁判所	仙臺裁判所	青森裁判所	廣島裁判所	松江裁判所	高知裁判所	松山裁判所	金澤裁判所	神戸裁判所	大坂裁判所	京都裁判所	松本裁判所
九	五三	一	三三	一	三	一二	一七	二九	二七	九	一〇〇	三六	三三	六	
一	三三	三四	二	五三	一二	二八	二〇	二九	一八七	二〇	一七六	八一	五〇	四三	
六	一七	一八	一五	七	五	一四	五三	一五	四	二四	二四	一一〇	二六	二二	
一	二二三	二四六	五五四	一七三	三五〇	三六四	五二九	一四〇八	八八	四七七	一七七五	一四七四	三三九	二七九	
六二八	五六一	九四三	六五八	四二二	二九三五	三九九五	五二一五	三、八八三	二、四九〇	六六三二	一、四七五	一、四九三	四、二八二	八、一三二	
五〇	六四二	六〇七	五八〇	三〇九	二二五	一、〇二九	八九三	一、〇三〇	六五三	三、九三三	六、四九六	四、二八二	八七八		
四五	九三	四二七	二九三	三一〇	四六七	一七三	三三六	一〇四	三五四	五四二	三一五	一五六	三二		
七	六一	一八五	三三六	七四	七二	四〇八	六〇一	三三四	三六五	一一五〇	一、八九五	一一、五五四	六三		
一一	五七九	四〇六	四二一	一八七	一七二	五六七	四四五	二六六	五二一	一四〇	二、二三九	六七八	二七四		
一四	一六五	一一三	二九二	四〇	一〇四	一九八	三六八	一一七	四五〇	六九四	八三七	二四五	二一〇		
七五七	七四四二	一一、五一九	九一六一	五三九九	四三六三	六二一六	八二七七	一一、一八七	四七三七	九、一〇四	二四、一二四	二、一九〇	九九三九		

新瀉裁判所	静岡裁判所	名古屋裁判所	熊谷裁判所	水戸裁判所	横濱裁判所	東京裁判所	廳名
五	一一	二〇	一一	三六	一	一五	續相督家
五	二二	二九	六〇	四一	一一	七二	縁離婚離
一六	三	二二	二二	二二	六	二四	雜事人
三四〇	二六六	二三五	二六四	四二四	七六	一八二	物建地土
七〇八六	一〇、〇六〇	二、一六二	七七〇	二、一五八	四七九六	一、八六三	借貸錢金
一、一八七	七六二	九三二	五七五	一、一三七	六五三	二六六三	雜錢金
三四一	一〇五	一九〇	九〇	三六	二一	三一	借貸穀米
一六九	四八	三七一	四二	一三八	九	五八六	借貸品物
二九六	二〇七	六一九	一四六	二四二	二二五	九七七	約違
二五五	九一	七四五	一五七	二九三	一一〇	七三三	事雜
九七〇	一一、五七五	一九三六八	九〇六七	一四、八八八	五九一八	二、三八九五	計合

補入シ 金銭貸借 賦金立替預ケ金 年月金銭 雜地代家賃敷金 雇賃給金 席料 損料  
 算入シ 金銭貸借 賦金立替預ケ金 年月金銭 雜地代家賃敷金 雇賃給金 席料 損料  
 手金証據金 制賦金 横取宿并 賄料 酒食料 藝妓揚代 金引ニ關スル 1、養育米金  
 船舶碇泊料 賣代金 藥料 止宿并 賄料 酒食料 藝妓揚代 金引ニ關スル 1、養育米金  
 代目ハ米金ヲ分別スルニ由リテ小作米金ニ合算ス 違約米穀貸借預ケ米穀  
 二目ハ米金ヲ分別スルニ由リテ小作米金ニ合算ス 違約米穀貸借預ケ米穀  
 合諸物品貸借 預ケ家畜品質入物品 抵當、物預ケ物品 違約米穀貸借預ケ米穀  
 ス 諸物品貸借 預ケ家畜品質入物品 抵當、物預ケ物品 違約米穀貸借預ケ米穀  
 違約諸物品ニ關スル 違約受負違約雜事 拒、精算 差拒、營業 差拒、漁獵ニ關スル 1、  
 訴認諸口違約ニ關スル 違約受負違約雜事 拒、精算 差拒、營業 差拒、漁獵ニ關スル 1、  
 伐木家祿公債ノ十項トナシ各裁判所ノ多少ヲ示ヌ丁左ノ如シ 關左表申金錢第  
 書証ヲ合ス 債ノ十項トナシ各裁判所ノ多少ヲ示ヌ丁左ノ如シ 關左表申金錢第  
 十表其二表申ノ件數ト合セハ米金ヲ合算スル者等アルニ因ル  
 シテ其實金錢ニ關セハ又ハ米金ヲ合算スル者等アルニ因ル

開拓使									
合計	四六七	一、〇三〇	四六二一〇、〇五〇	二〇八、七六六、三三〇、三六〇	五、二二一	九、二二九、一三、一八一	六、三八二、二八五、〇五八	一九一	二二
								四	七
									二
									二二五

右ニ依テ見レハ金錢貸借ノ件ハ高知裁判所ヲ除クノ外各廳共ニ其結局數十分ノ五以上ヲ占メ就中十分ノ八或ハ七ヲ占ムルモノ多シ又東京裁判所ノ家賃、損料、税金、養育料、京都裁判所ノ爲替、金、神戸裁判所ノ地所々有地所經界、償金、高知裁判所ノ地券、長崎裁判所ノ遺物ノ如キハ其件數ノ多キ他廳ニ比類ナク、金澤、松山、高知、松江、廣島、函館、鹿兒島ノ七裁判所及ヒ開拓使ハ書入質ノ訴訟ナシ是レ必ス事由アルヘシト雖モ未タ之ヲ詳ニスルヲ得ス

結局件數中外國人ニ關涉スルモノ二百三十七件アリ之ヲ前年ニ比スレハ百七十件ヲ減ス前年ハ四百零七件此中願下棄却トナリタルモノ百二十一件裁許トナリタルモノ五十八件ナリ其裁判所ハ三府五港ノミニシテ件數ノ最モ多キハ橫濱裁判所トス、長崎、神戸ノ兩裁判所之ニ次キ大坂、東京、函館ノ三裁判所又之ニ次ク而シテ新潟裁判所ハ僅ニ一件ノミ結局中願下棄却ノ多キモノハ神戸裁判所和解ノ多キ者ハ長崎裁判所裁許ノ多キモノハ橫濱裁判所ナリ

訴訟ノ種類ハ大抵金錢ニ關スルモノニシテ其中最モ多キモノハ金錢貸借ナリ之ニ次テ多キ者ハ賣代金及ヒ諸種ノ違約ナリ

結局ニ至リタル件數中金錢ニ關スルモノ二十三萬五千四百七十六件ナリ之ヲ前年ニ比スレハ千三百六十一件ヲ減ス前年ハ二十三萬六千八百三十七件

右訴訟ノ原告ヨリ請求スル所ノ金額ハ千七百七十九萬二千六百六十八圓五十六錢ナリ本年京都裁判所、島根縣各一件、鶴岡縣五件ハ金額合セテ十九兆零八千九百六十四圓三千九百二十九萬八千七百圓零七十五錢ノ巨額ナリト雖モ不當ノ利子或ハ無原因ノ賠償ヲ約シタルモノナルヲ除ク之ヲ前年ニ比スレハ三十萬零千零七十九圓餘ヲ増加ス前年ハ無原因ノ償金、高八百二十七萬六千七百零三圓七十錢ヲ除キ實額千七百四十九萬千零八十九圓三十五錢六厘ナリ但洋銀ハ一弗ヲ一圓トナシ又之ヲ平均スル片ハ一件ノ得ル所七十五圓五十五錢餘ニシテ前年ヨリ一圓八十錢餘ヲ増スノ割合ナリ之ヲ各裁判所ニ分テハ左ノ如シ

廳名	結局件數	金錢ニ關スル結局件數	結局件數十分ノ率	金額	總金額十分ノ率	金員平均一件ノ額	金錢貸借件數	金錢ニ關スル結局件數十分ノ率
東京裁判所	二二、八九五	二一、二六九	八九〇強	二、四八四、九八二、五七一	一三九八弱	一一六、八三六	一六、九九九	七一強
橫濱裁判所	五、九一八	五、三九九	九一二強	六四七、八〇五、〇六九	〇三六四強	一一九、九八六	四、五三二	七三強
水戸裁判所	一四、八八八	一三、四四五	九〇三強	三九〇、六三八、六五〇	〇二二〇弱	二九、〇五四	一一、〇五五	八一〇強
熊谷裁判所	九、〇六七	七、九六二	八七八強	三〇二、九九八、九三七	〇一七〇強	三八、〇五五	七、二六六	七九九強
名古屋裁判所	一九、三六八	一六、六五三	八六〇弱	九八七、九三一、〇五七	〇五五五強	五八、八三五	一五、六四七	八〇八弱

裁判所	八 年	九 年	九 年	九 年	方
静岡裁判所	一一、〇〇九	九九一弱	四三八、七〇六、七九三	〇二四七弱	三九八、四九
新潟裁判所	八、一〇三	八三五強	九〇三、〇〇三、七〇一	〇五〇、八強	一一、四四〇
松本裁判所	七、九六六	八〇一強	五二二、六六二、五三四	〇二九四弱	六五、六一一
京都裁判所	一八、四三五	八四二弱	九七二、三六四、三七六	〇五四七弱	五二、七四二
大坂裁判所	四六、〇〇九	八三一弱	三、一一二、九四八、九九八	一七五〇弱	六七、六五九
神戸裁判所	一八、四六〇	七六五強	一、三五九、三三三、八三〇	〇七六四弱	七三、六三五
金澤裁判所	五八、七三三	六四五強	三三三、〇七〇、一〇八	〇一八七強	五六、五四一
松山裁判所	四〇、一二	八四七弱	四一三、四七一、五五一	〇二三二強	一〇、九七九
高知裁判所	七、九六六	七一一強	一、〇三一、八九四、二八五	〇五八〇強	一二、九五三七
松江裁判所	五、八三六	七〇五強	八一六、九五四、三八〇	〇四〇三弱	一二、八五〇
廣島裁判所	五、〇五九	八一四弱	一九〇、三六七、五七五	〇一〇七弱	三七、六二九
青森裁判所	二、七〇五	六一一弱	二六九、六三四、八一九	〇一五二弱	九九、六八〇
仙臺裁判所	四、五九三	八五九弱	七六一、〇三七、〇五九	〇四二八弱	一六五、六九四
福島裁判所	六、九一八	七五五強	二九四、一六九、二七七	〇一六五強	四四、四一六
西館裁判所	八七二	八九二弱	一〇〇、七二三、一二二	〇〇五七強	一一、五五〇
長崎裁判所	九、七〇九	八四三弱	一〇、七四四、六八、三六六	〇六〇四弱	一一〇、六六七

金圓ノ階級ニ就テ其多少ヲ見ルニ前年ト略其趣ヲ同フシテ二十圓以上五十圓以下ノ者最モ多ク十圓以上二十圓以下ノ者之ニ次ク十圓以下ハ金額減スル毎ニ漸ク減シ五十圓以上ハ又更ニ減シ金額増ス毎ニ益減ス又前年ト毎階級ノ増減ヲ比較スレハ左ノ如シ

裁判所	八 年	九 年	九 年	九 年	方			
熊本裁判所	七、四四二	六、四二六	八六三強	二八二、三八五、三八〇	〇一五九弱	四三、九四四	四、九〇五	六五八弱
鹿兒島裁判所	七五七	五八一	七六八弱	七二、九一三、一六八	〇〇四一弱	一二五、四九五	三六七	四七一強
開拓使	二二五	二一六	九六〇	二八、七二二、九五四	〇〇一六強	一三二、九七六	一六三	七二四強

階級	八 年	九 年	九 年	九 年	方
五圓以下	三七、六五一	四一、〇九二	三三四一	三三四一	減
五圓以上十圓以下	四二、九三一	三九、二九三	三、六三八	三、六三八	減
十圓以上二十圓以下	四九、八八四	四四、六八三	五二〇一	五二〇一	減
二十圓以上五十圓以下	五一、九六〇	四九、八二〇	二、一四〇	二、一四〇	減
五十圓以上百圓以下	二五、〇五七	二六、六〇七	一、五五〇	一、五五〇	減
百圓以上五百圓以下	二四、七七二	二四、二三六	五三六	五三六	減

金額	身代限				
	五百圓以上千圓以下	千圓以上一萬圓以下	一萬圓以上二萬圓以下	二萬圓以上三萬圓以下	三萬圓以上四萬圓以下
金額	二七九〇	一、七九〇	五四	二八	
合計	二、七九六	一、五七四	四六	二一	
金額	二七九六	一、五七四	四六	二一	
合計	二、七九六	一、五七四	四六	二一	
金額	二七九六	一、五七四	四六	二一	
合計	二、七九六	一、五七四	四六	二一	
金額	二七九六	一、五七四	四六	二一	
合計	二、七九六	一、五七四	四六	二一	
金額	二七九六	一、五七四	四六	二一	
合計	二、七九六	一、五七四	四六	二一	

身代限

本年身代限ノ處分件數ハ一萬零七十六件ニシテ追訴ノ件數ハ一萬七千四百八十二件トス前年ハ處分件數ト追訴件數ト混同記載セシモノアリテ處分ノ眞數ヲ得サルヲ以テ増減ヲ知ルニ由ナシト雖本年ノ處分件數ト追訴件數トヲ合シタル二萬七千五百五十八件ヲ以テ前年ニ比較スル片ハ一萬六千零二十三件ヲ増シ前年ハ一萬五千五百三十五件且負債金額モ大ニ増加シタルヲ見レハ處分件數モ必ラス前年ヨリ増加セシヲ推知スルニ足レリ

負債金額ハ三百三十六萬零八百二十一圓八十四錢六厘ニシテ前年ヨリ増ス  
 一七十四萬六千六百四十二圓零五錢二厘前年ハ二百六十一萬四千七百七十九圓  
トナシテ合算償還額ハ四十五萬六千二百十圓零十八錢九厘ニシテ前年ヨリ減スル一十七萬七千五百二十六圓七十四錢一厘前年ハ六十三萬三千七百七ナリ  
 償還ノ比例ハ負債額每百圓ニ十三圓五十七錢四厘ニシテ前年ヨリ每百圓ニ十圓七十三錢三厘ヲ減ス前年ハ每百圓ニ二十是レ最モ注目ス可キ條件ナリ  
 然ルニ綜計表中身代限ノ事ヲ記スルヤ負債額償還額ノ階級及ヒ皆償皆不償等ヲ區別セサルヲ以テ今其因由ヲ考究スルニ由ナシト雖安ソ詐偽ノ所爲ヲ以テ財産ヲ隱匿シ債主ニ損害ヲ被ラシムルノ類増殖スルニ非サルヲ知ランヤ當時ノ諺ニ曰ク三タヒ身代限ヲナシテ富ヲ致スト亦以テ其情況ヲ概見スルニ足レリ  
 身代限トナル者ハ大抵金錢貸借ノ訴訟ナリ今各廳金錢ニ關スル結局件數及ヒ負債ト償還ノ比例ヲ示スト左ノ如シ

廳名	東京裁判所				
	身代限ニ至リシ處分件數	金錢ニ關スル結局數百分ノ率	負債額	一件平均金額	償還額
東京裁判所	八六六	四、〇七二弱	一六〇、二二九、四七七	一八五、〇二二	二八、五一三、〇六四
					負債額ニ比シ百圓ノ率
					一七、七九四

横濱裁判所	一七九	三三一五	一一三、四七七、三二八	六三三、九五二	一五、〇六二、二七四	一三、二七三
水戸裁判所	三九三	二、九二三	九、〇七二、五四〇、四	二三〇、八五三	八、三六一、九七三	九、二一六
熊谷裁判所	一五四	一、九三四	三、二八七、一、三八二	二一三、四五〇	八、四三一、七〇三	二、五六五〇
名古屋裁判所	六二八	三、七七七	三、〇一、二、三九、四一一	四七九、六八〇	三、三〇、七九、四五八	一、〇、九八一
静岡裁判所	六八六	六、二三一	一、四、九、九三、〇、一九	一六七、六二八	二、八、三、四、五、五、一二	二、四、六、四、九
新潟裁判所	三八四	四、七三九	二、八、八、五、九、二、五、一、八	七五、一、五四三	三、六、九、〇、八、一九六	一、二、七、八、九
松本裁判所	二四一	三、〇二五	一、五、一、六、九、八、五、八、八	六、二、九、四、五、四	一、二、〇、七、六、七、五、四	七、九、六、一
京都裁判所	五六六	三、〇七二	一、〇、〇、七、四、三、九、六、二	一、七、七、九、九、二	一、六、三、三、五、五、一、一	一、六、二、一、四
大坂裁判所	二、四〇八	五、二、三、四、弱	五、八、九、一、〇、二、二、九、六	二、四、四、六、四、四	一、〇、七、五、八、八、五、三	一、八、八、〇、一
神戸裁判所	八四八	四、五、九、四、弱	二、九、七、五、五、五、〇、四、二	三、五、〇、九、六、一	四、四、五、八、四、八、四、二	一、四、九、八、三
金澤裁判所	二七三	四、六、四、八、強	一、三、八、一、六、〇、三、〇、三	五、〇、六、〇、八、一	一、七、一、七、六、七、三、四	一、二、四、三、二
松山裁判所	五五	一、三、七、一、弱	二、三、三、三、五、四、九、一	四、二、四、二、八、一	四、四、三、八、四、七、二	一、九、〇、二、〇
高知裁判所	四一〇	五、一、四、七、弱	一、一、八、八、六、七、四、三、二	二、八、九、九、二、〇	一、九、九、六、七、二、四、三	一、六、七、九、七
松江裁判所	二二六	四、〇、四、四、弱	一、六、二、一、八、六、四、三、七	六、八、七、二、三、〇	二、二、七、三、五、五、二、二	一、四、〇、一、〇
廣島裁判所	二六三	五、一、九、九、弱	七、六、八、二、二、七、九、八	二、九、二、一、〇、一	六、七、八、七、五、五、二	八、八、三、五
青森裁判所	四四〇	一、六、二、六、六、弱	六、三、八、四、〇、五、三、四	一、四、五、〇、九、二	一、〇、五、七、〇、三、七、八	一、六、五、五、七

仙臺裁判所	二九一	六、三、三、六、弱	二、四、六、〇、五、七、七、三	八、四、五、五、五、九	六、二、一、八、三、二、八	二、五、二、七
福島裁判所	一三八	一、九、九、五、弱	六、〇、〇、一、二、六、九、七	四、三、四、八、七、四	九、二、九、六、三、〇、四	一、五、四、九、〇
函館裁判所	二〇	二、二、九、四、弱	九、四、〇、七、三、〇、八	四、七、〇、三、六、五	二、五、二、五、四、六	二、六、八、四
長崎裁判所	四五三	四、六、六、六、弱	一、八、六、七、一、六、八、〇、七	四、一、二、一、七、八	一、〇、四、九、四、〇、九、一	五、六、二、〇
熊本裁判所	一三八	二、一、四、八、弱	三、〇、八、〇、七、八、二、五	二、二、三、二、四、五	五、二、四、一、八、二、一	一、七、〇、一、四
鹿兒島裁判所	二	〇、三、四、四、強	一、四、三、九、二、七、一	七、一、七、六、三、五	一、四、五、二、〇	一、〇、〇、八
開拓使	四	一、八、五、二、弱	一、九、三、八、七、八、六	四、八、四、六、九、六	五、五、九、五、三、八	二、八、八、六、〇

右ニ依テ見ル片ハ身代限ノ件數ハ大坂裁判所ヲ最モ多トス之ニ次ク者ハ東京裁判所ナリ又負債額ト償還額ト比例スル片ハ開拓使ハ償還最モ多クシテ鹿兒島裁判所ハ最モ少シ單ニ身代限ニ就テ之ヲ見ル片ハ此ノ如シト雖開拓使鹿兒島裁判所ハ其件數固ヨリ少シ偶其償還ニ多少アルヲ以テ概シテ其地ノ情况ヲ認定スルヲ得ス又身代限ノ件數ヲ以テ金錢ニ關スル件數ニ比例シタル率ハ青森裁判所最モ多ク他裁判所其率ノ半ニ及フ者ナク身代限件數ニ平均シタル負債ノ額ハ仙臺裁判所最多シ然レモ其調査スル所負債額償還額ノ階級等ニ及ハス且金錢ニ關スル件數モ精確ニ類別シタル者ニ非サルニ

因リ亦之ヲ以テ其多少ヲ判定スルヲ得ス  
 前表ノ中米穀ヲ以テ身代限ヲナスモノアリト雖モ其件數ハ金錢ニ關スル件  
 數ニ合記スルヲ以テ區別スル能ハス今其負債額ヲ舉レハ千六百八十六石零  
 六升五合ニシテ其償還額ハ百七十八石七斗六升四合ナリ即每百石ニ一石六  
 斗四升五合ヲ償還セシ割合ナリ

身代限件數中外國人ニ關涉セシ處分件數十四件追訴五件アリ前年ハ外國人  
關涉ノ件數ヲ  
分ヲサ  
ルヲ以テ増減 負債金額ハ四萬四千八百九十三圓七十三錢一厘ニシテ  
ヲ比較スル能ハス 前年ヨリ十六萬四千九百三十三圓十六錢七厘ヲ減シ前年ハ二十萬零九千八  
百二十六圓八十九錢八  
 厘償還額ハ八百七十六圓七十三錢八厘ニシテ前年ヨリ六千四百八十六圓九  
 十二錢一厘ヲ減ス前年ハ七千三百六十  
三圓六十五錢九厘 償還ノ比例ハ每百圓ニ一圓九十五錢  
 三厘ニシテ前年ヨリ大ニ其率ヲ減ス前年ハ每百圓ニ三  
圓五十錢零九厘 又各裁判所ニ就テ償  
 還ノ多少ヲ見ルニ新潟裁判所ハ償還最モ少ク(每百圓ニ五十五錢三厘)大坂裁  
 判所ハ償還最モ多シ(每百圓ニ二圓六十錢餘)

勸解 第十  
四表

本年各廳受ル所ノ勸解ノ數十七萬四千三百二十九件前年勸解ヲ開キシハ東  
京裁判所小倉縣ニ止リ

其件數モ總カニ一萬六千七百九十二件ナリ故ニ増減ヲ比較セス之ニ前年ノ殘件六千三百三十四件ヲ合セテ十  
 八萬零四百六十三件ナリ此中結局ニ至リタルモノ十六萬三千三百四十六件  
 トス即チ左ノ如シ

- 一 願下及ヒ棄却 四萬二千二百五十七件
- 一 勸解調フタルモノ 十一萬四千九百九十三件
- 一 勸解調ハサルモノ 五千九百六十二件
- 一 刑事課ニ送付ス 百三十四件

勸解調ハサルモノノ勸解調フタルモノニ比スレハ每百件ニ五件強ノ割合ナリ  
 本年十二月三十一日ニ至リ猶一萬七千百十七件ノ未決アリ即チ結局總數十  
 分ノ一強ニ當ル

勸解新訴ノ最モ多キモノハ東京裁判所ナリ總數十分  
之ニ次テ多キ者ハ大坂  
 裁判所京都裁判所ナリト雖モ共ニ東京裁判所七分ノ一弱ニ過キス其他ノ裁  
 判所ニ至ツテハ東京裁判所十分ノ二ニ上ル者稀ナリ蓋シ東京ハ全國ノ首府  
 ニシテ人民最モ輻輳スルヲ以テ其件數ノ多キハ固ヨリ然ルヘシト雖モ勸解  
 ノ數特ニ多キ所以ノ者ハ勸解ヲ開ク丁東京裁判所最モ早ク前年既ニ一萬六  
 千以上ノ件數アリ各地方ニ至ツテハ之ヲ開ク丁日猶ホ淺ク僅ニ一二月ニ滿

氏事第一

大審院

上告結局別以原裁判所對照ス

合計	控訴ヲ經サルモノ	所長崎上等裁判所	判宮城上等裁判所	裁大坂上等裁判所	原東京上等裁判所	廳名	上告	
							總數	高越
一九二	二	〇	三	二	三	數總告上	三	九
四六	一	二	二	二	三	高越	三	九
二四六	〇	八	一	二	九	訴新	三	九
三	一	二	一	二	二	下願	三	九
四八	一	二	七	二	二	理受不	三	九
一三	一	二	一	二	二	毀破	三	九
一	一	三	九	二	四	廻事刑	三	九
六五	一	三	九	二	四	計合	三	九
二七	一	七	四	二	四	決未	三	九

氏事第二

大審院

上告結局別以其時間對照ス

通計	二年以下	一年以下	半年以下	百日以下	六十日以下	三十日以下	十五日以下	七日以下	即日	結局時間	上告	
											總數	下願
六五	二	二〇	九	一	一	一	一	一	六	數總告上	三	九
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	下願	三	九
四八	四	一六	五	一	一	一	一	一	六	理受不	三	九
一三	一	三	二	一	一	一	一	一	一	毀破	三	九
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	廻事刑	三	九

甲甲ハ總テ外國人交渉ニ係ル下做之

サル者モ亦少カラス故ニ本年ヲ以テ其比較ヲ定ムルヲ得ス

表四第事民

所判裁等上

ス照對ニ名廳及訴控告初以ヲ別區局結

控訴廳名	東京上等裁判所				大坂上等裁判所				宮城上等裁判所				長崎上等裁判所			
	初告	控訴	通計	合計	初告	控訴	通計	合計	初告	控訴	通計	合計	初告	控訴	通計	合計
總數	122	457	579	1111	384	49	433	811	84	1	85	171	90	171	261	1111
新訴	93	388	481	979	25	287	312	699	6	17	23	29	7	77	84	1111
下願	26	55	81	156	7	73	80	160	4	11	15	20	1	18	19	1111
結	60	115	175	350	109	22	131	262	4	18	22	26	1	19	20	1111
初告	18	1	19	37	5	1	6	12	1	1	2	3	1	1	2	1111
控訴	113	118	231	244	72	72	144	150	1	1	2	2	1	1	2	1111
通計	131	119	250	270	77	73	150	150	1	1	2	2	1	1	2	1111
合計	105	344	449	898	28	30	58	116	5	19	24	29	2	20	22	1111
決末	17	108	125	250	9	55	64	128	2	11	13	15	2	13	15	1111

表三第事氏

院審大

ス照對ニ目件訟訴以ヲ所判裁原及別區局結告上

訴訟件目	結告上															
	總數	願下	不受理	破毀	刑事	原	裁	判	所	控	訴	經	入	控	訴	經
祭典ニ關スル事	1															
後見	5															
地所家屋賣買	2															
地所家屋賃借	2															
小地境引揚	2															
地所通界	2															
道所通界	6															
地所所有	6															
代所木	1															
開會地	2															
入會山	1															
入會山	1															
山會	1															
地所獵	1															
漁所ニ關スル違約	6															
地所ニ關スル違約	4															
諸物ニ關スル違約	1															
訟物ニ關スル違約	1															
金貸借	5															
金賣買	4															
預物	1															
貨物	1															
敷料	1															
立換	1															
爲換	1															
資本	1															
債取	1															
横取	1															
品代	1															
小作	1															
租金	1															
合計	65	3	4	1	1	4	2	4	1	4	1	1	1	3	1	1















臺		福 嶋										函 館						
宮城縣		舊										本 廳						
第一支廳	第二支廳	第三支廳	磐井縣	岩手縣	白川支廳	福嶋縣	平出張所	若松出張所	磐前縣	若松縣	山形縣	置賜支廳	高畑支廳	新庄支廳	置賜支廳	鶴岡支廳	福山區	本廳
1159	208	414	208	181	100	367	33	155	43	520	259	367	6	11	450	364	117	265
855	1996	670	2197	523	1326	188	155	448	509	1881	2111	111	3	538	444	94	327	1151
26	38	48	50	51	20	38	1	37	37	96	239	4	4	8	8	9	10	21
88	1048	87	2687	1011	1554	175	16	584	188	6111	1001	1174	1	449	444	117	110	847
11	108	1	38	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
41	1048	41	2687	1011	1554	175	16	584	188	6111	1001	1174	1	449	444	117	110	847
11	1048	11	2687	1011	1554	175	16	584	188	6111	1001	1174	1	449	444	117	110	847
11	1048	11	2687	1011	1554	175	16	584	188	6111	1001	1174	1	449	444	117	110	847
11	1048	11	2687	1011	1554	175	16	584	188	6111	1001	1174	1	449	444	117	110	847
11	1048	11	2687	1011	1554	175	16	584	188	6111	1001	1174	1	449	444	117	110	847

江		廣 島					青 森		仙 臺		石 巻							
新 支 廳		舊					秋 田 縣		宮 城 縣		石 巻 區							
隱岐支廳	濱田縣	鳥取縣	山口裁判所	赤間關區	岩國區	山口縣	廣島縣	福山支廳	本廳	盛岡支廳	仙臺支廳	磐井區	盛岡區	石巻區	古川區	仙臺區	宮城裁判所	石巻區
59	489	1028	1028	1028	1028	1028	759	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
113	285	337	897	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
113	285	337	897	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115
113	285	337	897	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115
113	285	337	897	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115
113	285	337	897	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115
113	285	337	897	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115

九

局





表九第事民  
所判裁方地  
ス照對二目件訟訴以ノ別區局結

訴訟件目	越高合併地 才受取	新訴合計	訴狀下 願下	前前合 併後合	裁許 刑事	本廳支 他廳支 合計	合併 他移	未決
金銀貸借	四〇二三四	四一五八二	九三四一	二五五〇	二四二二	三六六	三六五〇	三〇九九
米穀貸借	六四一	四五一	二八二	九〇四	二〇	二四	二五〇八	四三五
物品貸借	四七〇	五八八	四八四	九八二	一九	二七	四四四	五四一
家畜貸借	一	一	二	一	二	一	一	一
漁船貸借	四	二六	五	一	二	一	二	四
地代	三九	四八二	五五	八四	五	八	四七九	二
家賃	一五七	七三	一四二	一七七	一五	一六	二〇五	五七
敷金	三六	二八五	三七	六八	一一	一〇	二八七	五九
雇賃	六	四五一	五七	八九	一	五	二八七	二八
給金	五	二二一	三二	九二	七	一	四八八	一七
席料	四	二二	四	一八	九	一	二五	一
損料	三九	二七六	二五	五七	二〇	二	一九九	一九
預ケ金	三八	二〇七	一五	五七	二〇	七	一九〇	二五
預ケ穀	三六	二〇七	一五	五七	二〇	七	一九〇	二五
預ケ物品	三六	二〇七	一五	五七	二〇	七	一九〇	二五
預ケ家畜	三六	二〇七	一五	五七	二〇	七	一九〇	二五
預ケ物品	三六	二〇七	一五	五七	二〇	七	一九〇	二五
書入質	四九	八七八	二七一	三三九	三七	一五	二六四	八六
質入物品	二	一七六	二〇	七九	二	一	一九〇	八
抵當	二	一〇	四	二〇	一	一	一〇	八
抵當物品	二	一〇	四	二〇	一	一	一〇	八
年賦	七	一五	八	一九	四	二	一四	九
立替金	一五	三三	一五	三六	一八	一	三三	一五
爲替金	八三	四六	二九	三六	二二	一	四八	三六
身元金	一〇	二	九	七	一	一	二	九
資本金	一〇	二	九	七	一	一	二	九

受員金	引負金	手摺金	証憑金	償賦金	割取金	横取金	講取金	積取金	持參金	會社金	養育金	船舶金	代金	藥料	止宿料	酒食料	藝妓料	村區入費	訴訟入費	代書料	小作金	税金	租稅	地所家屋	米穀三關	諸物品	受員違約	訴訟	
二六	一八	一〇九	九〇	二〇三	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一五	三三	六六	一一	二〇	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
一八四	二二	七三	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
二二五	一〇	九三	五九	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七
二八	二七	八〇	五	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四
四〇	四〇	二五	八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八
八九	五三	一七	一七	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
八	八	一七	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一九	一九	一八	一八	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九
一八	一八	一八	一八	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九

訴訟件目	越 高	廢 職 或 合 併 付 也 ヨ リ 受 取	新 訴 合 計	訴 狀 下 願	結 下 府 河 濟 局 廢 職 或 合 併 付 也 ヨ リ 受 取	許 刑 事 處 區 廢 職 或 合 併 付 也 ヨ リ 受 取	本 廳 支 區 廢 職 或 合 併 付 也 ヨ リ 受 取	廢 職 或 合 併 付 也 ヨ リ 受 取	未 決
裁判執行	七	一九	八三	一〇	一七	五	八	一九	七
家畜賣買違約	二	一	六	一	五	一	八	一	一
家督相續	一	一	六	一	一	一	一	一	一
遺物	一	一	六	一	一	一	一	一	一
後妻離別	四	一	三	一	一	一	一	一	一
夫妻離別	一	一	二	一	一	一	一	一	一
養子女離別	三	一	四	一	一	一	一	一	一
妻取戻	三〇	一	三一	一	一	一	一	一	一
子女取戻	一〇	一	一一	一	一	一	一	一	一
分家籍關スル事	三	一	四	一	一	一	一	一	一
雇人取戻	四	一	五	一	一	一	一	一	一
同居立退	一	一	二	一	一	一	一	一	一
親屬不和	二	一	三	一	一	一	一	一	一
証券差拒	五	一	六	一	一	一	一	一	一
調印差拒	二	一	三	一	一	一	一	一	一
帳簿一覽差拒	四	一	五	一	一	一	一	一	一
精算差拒	二	一	三	一	一	一	一	一	一
營業差拒	九	二	一一	一	一	一	一	一	一
漁獵關スル事	一	一	二	一	一	一	一	一	一
小作引揚	二	一	三	一	一	一	一	一	一
支配地引揚	一	一	二	一	一	一	一	一	一
地境引揚	一	一	二	一	一	一	一	一	一
支所界	一	一	二	一	一	一	一	一	一
地路通行	一	一	二	一	一	一	一	一	一
地所所有	一	一	二	一	一	一	一	一	一

伐木  
開墾地  
入會山  
地券  
河水  
用水  
鑛山  
家祿  
公債証書

合計

五〇九三	三五	四	一	二六	四〇	一一	九	一〇
五〇八八	四八	四	一	三〇	三八	二八	七	一〇
二七三九	一一	二九	五	二五	二六	二二	一	五〇
三八五八	一四	三七	六	三二	三九	二五	三	七〇
一〇一三	一四	八	二	二四	三九	二一	三	四
四五〇七	一九	六	三	四八	七〇	二九	四	一九
一〇八三	二一	一〇	五	五八	四八	一四	四	一三
八八八五	四八	八	一	一一	九三	三五	八	一八
四八二〇	一	一	一	一六	七八	九	四	一
七二	一	一	一	一	一四	一	一	一
六二〇	五	一	一	一	三六	一	一	五
二九二八	一七	二	四	二五	二五	一九	二	五
五〇五六	四	三	二	二九	三五	二七	七	一〇
四二八三	四	二	二	二	三六	一六	七	五





訴訟件目

金銭貸借	米穀貸借	物品貸借	濱松貸借	地代	家賃	敷賃	給金	損料	預ケ米穀	預ケ物品	預ケ家畜	書入貨物	質入物品	抵當ノ家屋地所	年賦金	立替金	為替金	身元金	資本金	受買金	引買金	手金	證券金	債金	割賦金	横取金	積金	積金	會社金取引ニ關スル事	養育米金	代金	藥料	止宿並賄料	酒食料			
三九三	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
三九三	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
三九三	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
三九三	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
三九三	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
三九三	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七

新潟裁判所

松本裁判所

計

本廳  
第一支廳  
第二支廳  
第三支廳  
第四支廳  
第五支廳  
川相計

藝娼妓揚代金	村區入費	訴訟入費	代書代言料	小作米金	税金	租稅	地所家屋ニ關スル違約	米穀ニ關スル違約	諸物品ニ關スル違約	受買違約	訴訟濟口違約	裁判ノ執行	家畜賣買違約	家督相續	後見	夫妻離別	養子女離別	戸籍ニ關スル事	分家分地	雇入取戻	同居人立退	証券	調印差拒	帳簿一覽差拒	精算差拒	營業差拒	小作地引揚	友配地引揚	地所境界	道路通行	地所所有	代水	開墾地	八會山	地券	河水	家用	家祿	公債証書				
六一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	
六一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一
六一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一
六一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一
六一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一
六一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一

十五



訴訟事件目

金錢貸借	米穀貸借	物品貸借	地代	家賃	敷金	雇賃	給金	損料	預ケ米穀	預ケ物品	書入質	質入物品	抵當ノ物品	年月賦金	立替金	爲替金	資本金	受負金	手金	証換金	債金	割賦金	講金	積金	養育金	代金	止宿並賄料	酒食料	藝娼妓場代金
232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232
232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232	232

神戶裁判所

金澤裁判所

本館  
姫路支店  
岡山支店  
豊洲支店  
玉津山支店  
兵部庫  
姫路支店  
洲本支店  
豊洲支店  
兵部庫  
節山支店  
笠川支店  
北條支店  
岡部支店

村區入費	訴訟入費	代書代言料	小作米金	税金	租稅	地所家屋ニ關スル違約	米穀ニ關スル違約	諸物品ニ關スル違約	受負違約	訴訟濟口違約	裁判ノ執行	家畜賣買違約	家督相續	夫妻離別	養子女離別	妻取戻	子取戻	戸籍ニ關スル事	雇人取戻	同居人立退	証券	調印差拒	精算差拒	營業差拒	小作地引揚	支配地引揚	地所境界	地所所有	伐水	入會山	地券	用水	鑛山	家祿	公債証書	
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

十

計

訴訟件目		松山裁判所	高知裁判所	松江裁判所	廣島裁判所
金錢貸借	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
米穀貸借	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
物品貸借	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
地代	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
家賃	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
敷金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
雇賃	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
給金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
預ケ米穀	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
預ケ物品	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
預ケ家畜	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
預ケ物品	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
抵當ノ家屋地所	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
抵當ノ物品	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
年月賦金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
立替金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
為替金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
資本金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
受負金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
引負金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
手金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
罰金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
訓賦金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
講金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
持參金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
會社金取引ニ關スル事	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
養育金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
代金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
止宿並膳料	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
酒食料	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
村區入費	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
訴訟入費	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1

代書代言料		松山裁判所	高知裁判所	松江裁判所	廣島裁判所
小作米金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
税金	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
租稅	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
地所家屋ニ關スル違約	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
米穀ニ關スル違約	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
諸物ニ關スル違約	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
訴訟濟口違約	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
裁判ノ執行	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
家督相續	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
遺物	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
夫妻離別	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
養子女離別	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
子女取戻	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
戶籍ニ關スル事	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
分家分地	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
雇人取戻	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
同居人立退	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
親屬不和	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
証券	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
調印差拒	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
精算差拒	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
營業差拒	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
漁業ニ關スル事	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
小作地引揚	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
支配地引揚	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
地所境界	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
道路通行	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
地所所有	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
伐木	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
入會山	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
地券	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
用水	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
鑛山	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
家祿	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1
公債証書	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1	本廳 1



訴訟件目

訴訟件目	本廳	青森裁判所	仙臺裁判所	福島縣
全貸借	10	10	10	10
未貸借	10	10	10	10
物品貸借	10	10	10	10
瀨船貸借	10	10	10	10
地代	10	10	10	10
家賃	10	10	10	10
敷金	10	10	10	10
雇賃	10	10	10	10
給金	10	10	10	10
損料	10	10	10	10
預ケ金	10	10	10	10
預ケ未殺	10	10	10	10
預ケ物品	10	10	10	10
預ケ家畜	10	10	10	10
預ケ家畜	10	10	10	10
書入質	10	10	10	10
質入物品	10	10	10	10
抵當ノ物品	10	10	10	10
年月賦金	10	10	10	10
立替金	10	10	10	10
為替金	10	10	10	10
資本金	10	10	10	10
受負金	10	10	10	10
手金	10	10	10	10
償金	10	10	10	10
罰賦金	10	10	10	10
横取金	10	10	10	10
講金	10	10	10	10
積金	10	10	10	10
會社金取引ニ關スル事	10	10	10	10
養育金	10	10	10	10
代金	10	10	10	10
止宿並賄料	10	10	10	10

訴訟件目	本廳	青森裁判所	仙臺裁判所	福島縣
村區入費	10	10	10	10
訴訟入費	10	10	10	10
代書代言料	10	10	10	10
小作米金	10	10	10	10
税金	10	10	10	10
租稅	10	10	10	10
地所家屋ニ關スル違約	10	10	10	10
米穀ニ關スル違約	10	10	10	10
諸物品ニ關スル違約	10	10	10	10
裁判ノ執行	10	10	10	10
家畜賣買違約	10	10	10	10
家督相續	10	10	10	10
夫妻離別	10	10	10	10
養子女離別	10	10	10	10
子女取戻	10	10	10	10
戶籍ニ關スル事	10	10	10	10
分家分地	10	10	10	10
雇人取戻	10	10	10	10
同居人立退	10	10	10	10
証券	10	10	10	10
調印差拒	10	10	10	10
精算差拒	10	10	10	10
營業差拒	10	10	10	10
漁業ニ關スル事	10	10	10	10
小作地引揚	10	10	10	10
地所境界	10	10	10	10
道路通行	10	10	10	10
地所所有	10	10	10	10
伐木	10	10	10	10
開墾地	10	10	10	10
入會山	10	10	10	10
地券	10	10	10	10
用水	10	10	10	10
家祿	10	10	10	10

計





民 事 第 一 拾 一 表  
地 方 裁 判 所 其 地

ス 照 對 二 目 件 其 テ シ 記 抽 ノ 別 區 局 結 訟 訴 ノ 涉 關 人 國 外

訴 訟 件 目	合 計																									
	金 錢 貸 借	物 品 貸 借	家 賃	雇 賃	給 金	損 料	預 金	預 物 品	質 入 物 品	抵 當 ノ 物 品	年 月 賦 金	立 替 金	為 替 金	受 負 金	引 負 金	手 金	債 金	講 金	會 社 金 取 引 ニ 關 ス ル 事	代 金	地 所 家 屋 ニ 關 ス ル 違 約	米 穀 ニ 關 ス ル 違 約	諸 物 品 ニ 關 ス ル 違 約	受 負 違 約	精 算 差 拒	
總 數	一八	一	三	七	九	八	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
却 下 願	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
下 席 前 濟	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
後 濟	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
裁 許 未 決	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合 計	一八	一	三	七	九	八	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

其 地 方 裁 判 所 二

ス 照 對 二 名 廳 其 テ シ 記 抽 ノ 別 區 局 結 訟 訴 ノ 涉 關 人 國 外

廳 名	合 計						
	東 京	大 坂	神 戶	橫 濱	新 潟	函 館	長 崎
總 數	四六	四七	五四	一一八	一	二九	六五
却 下 願	六	四	一六	九	五	四	四
下 席 前 濟	二	四	二	三	一	三	一
後 濟	九	一	一	二	一	一	一
裁 許 未 決	三	一	一	三	一	一	一
合 計	四六	四七	五四	一一八	一	二九	六五

表 二 拾 第 事 民

其  
所 判 裁 等 上 庭 院 審 大

ス 照 對 ニ 級 階 員 金 ノ 訟 訴 ル ス 關 ニ 錢 金 以 名 廳

金 員 階 級	大 審 院						東 京 大 坂 城 崎 計						合 計																													
	東 京	大 坂	城	崎	計	合 計	東 京	大 坂	城	崎	計	合 計																														
五圓以下						二						二																														
五圓以上拾圓以下						二						二																														
拾圓以上廿圓以下						二						二																														
廿圓以上五十圓以下						一						一																														
五十圓以上百圓以下						二						二																														
百圓以上五百圓以下						八						八																														
五百圓以上千圓以下						二						二																														
千圓以上壹萬圓以下						八						八																														
壹萬圓以上貳萬圓以下						二						二																														
貳萬圓以上三萬圓以下						一						一																														
三萬圓以上四萬圓以下						二						二																														
四萬圓以上五萬圓以下						三						三																														
五萬圓以上六萬圓以下						一						一																														
六萬圓以上七萬圓以下						一						一																														
七萬圓以上八萬圓以下						一						一																														
八萬圓以上九萬圓以下						一						一																														
拾萬圓以上						一						一																														
金圓不詳						四						四																														
通計	六五七九六						一七九						一四四						二二						三三						四二						四二					
金錢ニ關セサル件數	三						一七九						一四四						二二						三三						四二						四二					
金錢ニ關セサル件數	六五						三二						一四						二二						三三						四二						四二					
金錢關不關合計	六五						三二						一四						二二						三三						四二						四二					

三 其  
所 判 裁 方 地

ス 照 對 ニ 目 件 其 テ シ 記 抽 ヲ 名 廳 ル ア 訟 訴 涉 關 人 國 外

訴 訟 件 目	東 京		大 坂		橫 濱		函 館		神 戶		新 潟		長 崎		合 計
	東 京	大 坂	大 坂	橫 濱	函 館	神 戶	神 戶	新 潟	長 崎	長 崎	合 計	合 計			
金錢貸借	八一														八一
物品貸借		二〇													二〇
家賃															
給金															
預料															
預金															
預物品															
預物品															
抵當ノ物品															
年月賦金															
立替金															
為替金															
受負金															
引負金															
手金															
債金															
講金															
會社金取引ニ關スル事															
代金															
地所家屋ニ關スル違約															
米穀ニ關スル違約															
諸物品ニ關スル違約															
受負違約															
精算差拒															
合 計	二九	四六	三	一七	七	三	一								二九
内結局計	三六	四七	一	二	一	三									三六

其地方法裁所

金銭關ル訴訟ノ員階級以テ水支區廳名ニ對照ス

洋銀ヲ合算ス

Main data table with columns for court names (廳名), categories (水, 濱, 横, 京, 東), and numerical values (五圓, 拾圓, etc.). Includes a '計金高' (Total Amount) section at the bottom.



Table with columns for Hall Name (廳名), Category (以下, 五圓, etc.), and Amount (計金高). Includes sub-headers for 坂, 神, 戸, 澤, and 松.

Table with columns for Hall Name (廳名), Category (以下, 五圓, etc.), and Amount (計金高). Includes sub-headers for 澤, 松, 高, 知, 松, 鳥, 水, and 舊.





廳名	長崎						崎						熊						本						總計														
	鷹原區	佐賀區	久留米區	唐津區	小倉區	平戸區	福江區	嚴原區	佐賀裁判所	同唐津區	三箱裁判所	同唐津區	同唐津區	佐賀區	三箱縣	小倉縣	福岡縣	同小倉支廳	熊本縣	天草支廳	人吉支廳	大分縣	熊本區	熊水區		大分區	熊水區	大分區	熊水區	大分區	通計	通計	通計	通計					
以下五圓	八							二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
拾圓以上	一							一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
廿圓以上	六							四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	
廿五圓以上	一							一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
百圓以上	一							一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
五百圓以上	一							一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
千圓以上	一							一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二方圓以上																																							
三方圓以上																																							
四方圓以上																																							
五方圓以上																																							
全圓																																							
計	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
金高	二八、七、七五	一、八、五、六六	一、九、九、九	一、八、八、八	二、八、二、七八	二、八、二、七八	二、八、二、七八	一、七、一、八八	一、六、八、八八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	一、八、二、七八	
金銭金銭 二關不 七關不 件數合計	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

廳名	通計	通計	通計	通計	總計
中津支廳	一	一	一	一	一
水宮崎支廳	八	八	八	八	八
鹿兒島縣	九	九	九	九	九
鳴門縣	一	一	一	一	一
開水支廳	一	一	一	一	一
拓根支廳	一	一	一	一	一
使根室支廳	一	一	一	一	一
總計	二二	二二	二二	二二	二二

前表ノ外無原因ノ債金ニシテ其額非常ナルモノ七件アリ  
別ニ抽出スル左ノ如シ

京都裁判所 一件 八九〇、二五八、七八〇、〇〇〇  
 鶴岡縣 五件 一九〇、八九五、五三九、六〇二、七三六、七五〇  
 鳴根縣 一件 九、四三七、一八四、〇〇〇

金員不詳ハ書類焼失等ニ因ル

# 民 事 第 三 拾 三 表

## 地 方 裁 判 所

身代限分案件数人員及債高却高以本支區廳名對照

廳名	東		京		濱 橫		水		戸	
	千葉支廳	本廳	千葉裁判所	千葉區	本廳	八王子區	水支廳	水支廳	水支廳	水支廳
處分件數	六五六	一一一	七七一	七七一	一六八	一七一	一六八	一六八	一六八	一六八
訴訟件數	七七一	一一一	九二九	九二九	一九五	二一〇	一九五	一九五	一九五	一九五
負債主負	一一八	一一一	九二九	九二九	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四	一八四
負債高	一、三九、九七六	一、五〇、九七五	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇	一、一八、九一〇	一、一八、九一〇	一、一八、九一〇	一、一八、九一〇	一、一八、九一〇	一、一八、九一〇
債還高	二、一五、四一七	二、〇、九一七	二、二七、八〇〇	二、二七、八〇〇	二、一八、九一〇	二、一八、九一〇	二、一八、九一〇	二、一八、九一〇	二、一八、九一〇	二、一八、九一〇
負債高 金百圓	一、八五、六八	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇	三、〇、〇〇〇
債還高之割合	一一五、六八	二〇、二〇	二二、七二	二二、七二	二二、七二	二二、七二	二二、七二	二二、七二	二二、七二	二二、七二

廳名	熊 谷		名 古 屋		靜 岡		圖 庫	
	水支廳	浦和支廳	高崎區	大宮區	安濃津支廳	山田區	愛知縣	山田區
處分件數	二五三	三二	二五三	三二	二五三	三二	二五三	三二
訴訟件數	三三	一一	三三	一一	三三	一一	三三	一一
負債主負	二五三	三二	二五三	三二	二五三	三二	二五三	三二
負債高	七、八〇、六八五〇	六、三三、一一九	七、八〇、六八五〇	六、三三、一一九	七、八〇、六八五〇	六、三三、一一九	七、八〇、六八五〇	六、三三、一一九
債還高	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六
負債高 金百圓	二、三九、四九	二、七、三〇八	二、三九、四九	二、七、三〇八	二、三九、四九	二、七、三〇八	二、三九、四九	二、七、三〇八
債還高之割合	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六	一、一四、一七六

廳名	新潟				長野		松本					京都		大阪		兵庫		神戶		金澤		山松		通計					
	第一支	第二支	第三支	第四支	第五支	長野區	伊那出張所	筑摩縣	第三支	第五支	岐阜縣	大津支	京都區	伏見區	大津區	和歌山縣	奈良縣	兵庫裁判所	同山縣	豐岡縣	新川縣	敦賀縣	石川縣		富山支	愛媛縣	高松出張所	香川縣	
處分件數	581	177	54	38	40	74	384	1	1	211	1	146	2	1	20	2	400	239	400	2	2	2	2	2	2	2	2	2	153
訴訟件數	1,257	415	30	174	118	111	859	1	1	264	1	264	1	1	1	1	503	370	370	1	1	1	1	1	1	1	1	184	
負債主人員	715	192	59	38	45	74	409	1	1	146	1	146	1	1	1	1	473	248	404	1	1	1	1	1	1	1	1	157	
負債高	1,064,022	219,345	61,835	149,915	164,436	30,492	288,592	1	1	83,558	1	83,558	1	1	1	1	1,706,159	759,744	759,744	1	1	1	1	1	1	1	1	247,962	
償還高	2,440,735	2,787,089	1,450,881	2,603,750	2,533,750	2,179,192	3,690,819	1	1	487,744	1	487,744	1	1	1	1	1,381,288	587,500	587,500	1	1	1	1	1	1	1	1	881,037	
負債高金百圓付 償還高之割合	22.938	12.614	23.449	17.368	15.695	7.138	12.779	0.146	0.146	10.146	0.146	10.146	0.146	0.146	0.146	0.146	22.938	12.614	12.614	0.146	0.146	0.146	0.146	0.146	0.146	0.146	0.146	22.938	

廳名		處分件數	訴訟件數	負債夫員	負債高	債還高	負債高金百圓 債還高之割合
高知	德島支廳	四〇	五一	四	五三〇・二五五・三六七	二九一・八八七・八	九六四七
	高知縣	一九三	八二	一九七	五〇〇・六五〇・一五三	一〇・八八三・三六八	一九七八四
松山	本取支廳	一	一	一	一	一	一
	鳥取支廳	一	一	一	一	一	一
江崎	舊島根縣	二一七	三六	二七	六三六・一〇六・三三	七八四・二七三・三	二五・三三五
	鳥取縣	一	一	一	一	一	一
廣島	山口裁判所	二一	二	一	一	一	一
	赤間關區	一	一	一	一	一	一
青森	秋田支廳	一	一	一	一	一	一
	青森縣	一	一	一	一	一	一
仙臺	仙臺廳	一	一	一	一	一	一
	石卷區	一	一	一	一	一	一
臺	宮城縣	九七	一九	九七	一六八・一八〇・二二五	二八二・六一・三	二四三・二
	磐井縣	二七	三	二	三三・五二・七	一六・六三・八	二〇・六六三
福	本支廳	二	三	二	八〇・五二・七	一六・六三・八	二〇・六六三
	若松支廳	一	一	一	一	一	一
嶋	舊松縣	一	一	一	一	一	一
	福嶋縣	一	一	一	一	一	一
箱館	舊形縣	一	一	一	一	一	一
	置賜縣	一	一	一	一	一	一
長	平戶區	一	一	一	一	一	一
	唐津區	一	一	一	一	一	一
崎	佐賀裁判所	一	一	一	一	一	一
	三浦裁判所	一	一	一	一	一	一
通計	舊小倉縣	九	四	九	一六一・四八六	三一・八九〇・八	一九七・八九
	通計	七	一	七	一〇・八八三	一〇・八八三	一〇・八八三

廳名	處分件數	訴訟件數	負債主人員	負債高	償還高	負債高全百圓 未拾名三付	償還高之割合
福岡縣	五九	一〇〇	六〇	五七四九	三三三九	五八〇	二四〇七
小倉支廳	三八	三六	四四	九二七	一〇一七	一〇九七	六五〇四
熊本區	二二	二七	二九	一〇七五	六八八	一五〇〇	七〇八九
熊本縣	三七	一〇	八	二四三〇	一七三九〇	八二一五〇	五三四〇
熊本廳	一〇	一八	三	六四一	三四二七	八二一五〇	一三五八一
熊本縣	三八	七	二	一八五九	二五二五	二〇七八	二〇七八
大分縣	二	二五	二	二四二九	一九一八	一六二四〇	七八二〇
中津支廳	二	二	二	三〇一六	四八九九	一六二四〇	一〇〇八
鹿嶋	二	二	二	一四三九	一四五二	一〇〇八	一〇〇八
開拓使	四	六	四	一九三八	五五九五	二八八六〇	二八八六〇
總計	一〇、〇七六	一七、四八二	一〇、八六六	三三、六〇八	四一、一八四	二五、一八九	一三五七四
鶴岡縣	五	五	五	一、六八六	一、七八七	一、八四五	一、八四五
總計	一〇、〇七六	一七、四八二	一〇、八六六	三三、六〇八	四一、一八四	二五、一八九	一三五七四

洋銀ヲ合算ス〇全圖ノ左側ニ細書スルハ求數ナリ

該件負債高莫大ニシテ其實無源因ノ償金タルヲ以テ本表總計中へ算入セス

前表ノ中ニ就テ特ニ外國人關涉事件ヲ抽載スル左ノ如シ

廳名	處分件數	訴訟件數	負債主人員	負債高	償還高	負債高全百圓 未拾名三付	償還高之割合
橫濱裁判所	七	四	八	一、四〇九	一、二七六	二六	二二九
新瀉裁判所	一	一	一	八五二	四七二	五五	五五三
大坂裁判所	二	一	二	一、〇〇〇	八五〇	二九	二六〇
神戸裁判所	一	一	一	六九五	一〇五九	三五	三五二
箱館裁判所	二	二	二	一、一九七	一、七三五	七八	一〇七九
長崎裁判所	一	一	一	一、五三〇	四一三	四八	一〇八
合計	一四	五	一五	四、八七五	三、九七六	一八	一九五

# 民事第四拾表

勸解局別以廳名對照

廳名	越前	新高	結局區別			合計	廢廳 付他へ 移ス	未決 三月三十一日
			勸解願下 勸解不調却下 他廳迴シ刑事等	結	局			
築地	二九八	一四七九	一〇〇二五	四〇四四	五八	四一三	三五〇	
巴町	二二二	一三六四	一〇〇八二	三三九	二二	一三三	五四六	
富士見町	二〇二	一三六〇	九五三	二〇七	二〇七	二二一	一一三	
二長町	二二〇	一〇八四	八九一	二四五九	六九	三一四	六五二	
林町	二二〇	一〇九四	一〇七〇	二二三五	五	二六四	一五〇	
千葉区	二二三	一六五八	一七〇五	二二二	六一	二六四	一七〇	
八日市場区	七二四	六八三	四〇三	二二二	七一	二四四	六六	
千葉区	六三〇	一〇六八	一〇九七	二二二	一四八	三二一	三三〇	
千代田区	三〇〇	一〇九四	四三二	一〇〇二	一	二五七	二二	
佐貫区	三二七	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
八日市場区	三二七	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
東金出張所	四〇五	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
横濱	六六〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
八王子	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
小田原	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
高崎	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
熊谷	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
前橋	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
大宮	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
浦和	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
川越	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
熊谷	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
谷田	八〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
埼玉裁判所	一〇六	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
熊谷裁判所	八八	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
熊谷支廳	五七	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
熊谷裁判所	八八	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
名古屋	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
名山	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
豊橋	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
山田	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
上野	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
安濃津	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
古知	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
愛知	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
名古屋	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
水戸	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
土浦	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
宇都宮	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
戸田	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
水戸	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
茨城	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
足利	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
静岡	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
沼津	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
甲府	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
下松	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
山梨	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	
岡	三〇	一〇六八	二〇九	一四七	一	二二七	二八	

松		澤金		戸		神		坂		大		都		宮											
本	富	福	金	岡	兵	御	玉	豊	洲	津	節	兵	田	奈	堺	天	堂	滋	滋	京	京	京	京	宮	
愛媛縣高松出張所	通	山	井	通	庫	野	嶋	岡	本	山	磨	庫	通	邊	良	王	嶋	通	賀	賀	都	都	都	津	
廳	計	區	區	計	區	計	區	區	區	區	區	計	區	區	區	計	區	計	廳	縣	計	區	區	區	
六五三	一一四八	二一七	六三一	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
一一八〇	二一七	六三一	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
八九四	六一	二七〇	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三
一〇	六	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
六一	一〇	二七	五	二〇	二	六二	五九	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
九六五	一一九	三三	二一七	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一	一六一
八三六	八八	二一九	三七	一三三	五九	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三

京		本		松		湯		新		廳名														
海	彦	大	園	伏	京	飯	岐	高	松		長	湯	新											
津	根	津	部	見	都	通	田	山	本	野	通	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支			
區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區	區			
一一九	一一	四〇	九	一六	七	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一四〇	一一	四〇	九	一六	七	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一一六	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
二四	一一	二七	一八	七六	一八	二七	一一	二四	一一	二四	一一	二四	一一	二四	一一	二四	一一	二四	一一	二四	一一	二四	一一	二四



廳名															越高	新訴	合計	勸解	願下	勸解不調却	下他廳	別	合計	廢廳
山	香	川	縣	計	二八四	二八四	一五二	三〇	三三	二一七	二二〇	二一七	二一七	二一七	二一七	二一七	二一七	二一七	二一七	六六七				
鳥	松	江	區	計	六五三	六五三	三三〇	九〇	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	六六三			
廣	赤	岩	關	區	一〇七	一〇七	五五	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二			
廣	嶺	嶺	縣	計	二八	二八	一四	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七			
福	鶴	山	平	白	中	朱	若	福	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺			
仙	盛	石	古	仙	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺			
青	青	森	秋	秋	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森	森			
函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函	函			
長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長			

廳名	越前										結局區別		合計	廢廳ニ付他ヘ未決
	越前	高田	新訴合計	勸解願下	勸解不調却下	他廳廻シ刑事廳	合計	移ス	未決					
福岡縣支廳														
福岡縣小倉支廳														
小倉縣														
小倉縣中津支廳														
大分縣通計														
大分縣支廳														
熊本市區														
町山吉區														
人吉區														
山鹿區														
八代區														
津代區														
中津區														
大分縣通計														
大分縣第一勸解所														
大分縣第二勸解所														
大分縣第三勸解所														
大分縣第四勸解所														
大分縣中津支廳														
鹿兒島縣通計														
鹿兒島裁判所														
官崎支廳														
官崎通計														
開拓使總計														

他廳ヨリ受取他廳廻他廳ヘ移スノ三區ハ同符號ヲ以其受渡ヲ標ス○※印ノ八百三十六件ハ同年十一月十四日舊愛媛縣高松出張所閉廳ノ際除滅ス○甲印ノ内二件乙印ノ内各一件丙印ノ内各一件ハ外國人交渉ナリ

正誤

- 一丁裏九行訴訟件目(代木)ハ(代木)ノ誤
- 五丁裏二行第二區(七三)ハ(七三)ノ誤
- 同 廿六行第六區(九三)ハ(三九三)ノ誤
- 十三丁裏八行訴訟件目(租金)ハ(租稅)ノ誤
- 十四丁裏三行第廿區(三三)ノ誤
- 十五丁裏三十二行第廿七區(五九二)ハ(九五二)ノ誤
- 十六丁裏廿八行第十三區(三一八)ハ(三二八)ノ誤
- 十九丁裏三十五行第廿二區(五三三七)ハ(五三三七)ノ誤
- 廿丁裏一行第一區(五五〇)ハ(五九〇)ノ誤
- 廿五丁裏十二行廳名(豊岡廳)ハ(豊岡區)ノ誤
- 廿六丁裏十三行第十四區(七三、二二二、五五三)ハ(七三、二二二、五八三)ノ誤
- 同 廿行第十六區(三四)ハ(三五)ノ誤
- 廿八丁裏十七行第一區(一三)ハ(三十八)行第一區(三三)ノ誤
- 三十丁裏五行第一區(三三)ハ(三九三)ノ誤
- 同 裏十八行第六區(六四、七一四)ハ(六四、七一七)ノ誤
- 三十二丁裏五行第一區(一七九)ヲ脱ス
- 三十五丁裏九行第二區(四〇二)ハ(四〇三)ノ誤

第三編刑事統計要旨

罪犯ノ總數及處斷區別 自第一表至第十二表

本年全國中常事犯罪ノ處斷ヲ受ケタル者ハ第一表 十一萬千六百二十九人ニ係ル罪犯ハ五萬二千六百六十八人物之ヲ前年ニ比較スル片ハ一萬二千八百九十八人ヲ減ス凡ソ十分ノ割合ナリ猶ホ之ヲ細別スレハ全免減等無科呵責ノ三項ヲ平均シ其減少三千零九十人 前年ハ一萬六千六百五十八人 懲役十日以上百日以下ノ減少八千二百八十二人 前年ハ九萬九千九百四十五人 懲役一年以上三年以下ノ減少百七十人 前年ハ千五百五十二人 懲役五年以上十年以下ノ減少百八十九人 前年ハ千三百零二人 懲役終身ノ減少九十三人 前年ハ三百八十九人 死刑ノ減少七十四人 前年ハ四百七十八人 ナリ又各種ノ刑名ニ依テ前年ト比較スレハ懲役十日以上百日以下ノ減少ハ十分ノ零八三強ニシテ未ダ十分一ニ至ラス懲役一年以上三年以下ノ減少ハ十分ノ一二零弱懲役五年以上十年以下ノ減少ハ十分ノ一二五強ニシテ共ニ十分一ヲ超過シ懲役終身ノ減少ハ十分ノ二三九強ニシテ十分ノ二分以上ニ及ヒ死刑ノ減少ハ十分ノ一六四弱ニシテ殆ント十分ノ二ニ近シ此ノ如ク差異ヲ生シタルハ法律ノ改良ニ

由ル者ナリ抑死刑ノ減少セシハ本年二月第廿二號布告ヲ以テ懲役人又犯罪條例懲役人逃條例ヲ増補シテ律例第三百二條ヲ删除シ本年五月第七十四號布告ヲ以テ雇人盜家長財物律例ヲ改正シ本年七月第百一號ヲ以テ改定律例第百二十六條ヲ删除シ監守盜常人盜條例ヲ改正シ死ニ入ルモノハ皆懲役終身ト爲ス故ニ死刑ノ者減スレハ必懲役終身ノ者著シク増加ス可キノ理ナリ然ルニ亦同シク減少セシハ何ソヤ此レ本年二月司法省第二十號布達ヲ以テ死罪及ヒ懲役終身ノ本罪ヨリ酌量輕減スルノ權限ヲ府縣裁判官ニ委任セラレ法律活用ノ効此結果ヲ生スルナラン又懲役十日以上十年以下ノ減少セシハ本年一月第一號布告ヲ以テ改定律例第二百六十七條ヲ廢シ賣滯ノ懲罰ヲ警視廳各地方官へ委任セラレ本年四月第四十八號布告ヲ以テ職制律ヲ廢シ其他官吏ノ公罪ニ係ル者ヲ廢シタルニ由ル者トス今前年ノ數ヲ比較シテ増減ヲ証スル左ノ如シ

全免	刑名	
	八年全員	九年全員
一〇、一一二	九、二八〇	
		八年ヨリ
	增	減
		八三二

計	死刑			全終身	全五年以上十年以下	全一年以上三年以下	懲役十日以上百日以下	呵責	減等無科
	梟	斬	絞						
一二四、五二七	一三	三七一	六八	三八九	一、五〇二	一、五五二	九九、九二七	九、七四四	八四九
一一一、六二九	七	三四一	三〇	二九六	一、三一一	一、三八二	九一、六四五	六、四四七	八八八
									三九
一二、八九八	六	三〇	三八	九三	一八九	一七〇	八、二八二	三、二九七	

罪犯ノ減少セシ理由ハ畧ホ前文ニ謂フ所ノ如シ之ヲ律門ニ區分シ前年ニ比較スレハ賊盜犯姦鬪毆雜犯等ハ一萬二千八百九十八人ヲ減シ而シテ戸婚人命詐偽等ハ反テ三千八百六十七人ヲ増ス蓋シ時世ノ進歩ニ從ヒ人智ノ慧黠ニ

移ルヲ証スルニ足レリ乃チ比較表ヲ左ニ掲ク

律門	八年人員		九年人員		八年ヨリ 増減
	人員	増減	人員	増減	
職制	二六一三	七八九	七八九	一、八二四	
戸婚	一一、〇七五	一二、五八三	一二、五八三	一、五〇八	
賊盜	二六、六一一	二四、九五五	二四、九五五	一、六五六	
人命	九八〇	二、二八七	二、二八七	一、三〇七	
受贓	一、一二四	七二五	七二五	三九九	
闘毆	三、〇〇二	六六二	六六二	二、三四〇	
罵詈	二六六	一五七	一五七	一〇九	
訴訟	一八〇	九四	九四	八六	
詐偽	二、五四二	三、五九四	三、五九四	一、〇五二	
犯姦	二、一六二	二二三	二二三	一、九三九	
雜犯	七二、一九六	六四、二四二	六四、二四二	七、九五四	
捕亡	一、六一〇	一一四〇	一一四〇	三七〇	

斷獄	計	八年人員	九年人員	八年ヨリ 増減
計	一一、四、五二七	一一、一、六二九	一一、一、六二九	一一、八九八

本年處斷セシ罪犯中懲役終身及ヒ死罪ヲ犯シタル者ノミヲ舉ケ前年ニ比較スレハ謀殺故殺ニ關スル者五十人ニシテ増加スル一一人強盜ハ三百三十四人ニシテ減少スル一二十六人前年ハ三百六十六人 監守盜常人盜竊盜雇人盜ヲ合シ百六十三人ニシテ減少スル一十九人前年ハ八十二人 闘毆人ヲ殺傷スル者ハ二十二人ニシテ減少スル一十二人前年ハ四十四人 過失殺ハ三十三人ニシテ減少スル一人前年ハ三十四人 瘋癲人人ヲ殺ス者ハ五人ニシテ減少スル一人前年ハ六人 犯姦罪ハ全ク之ナシ懲役終身ノ囚人逃走スル者ハ六人ニシテ減少スル一人前年ハ七人 二罪人追捕ヲ拒ミ捕吏ヲ毆傷スル者ハ五人ニシテ減少スル一人前年ハ八人 偽造寶貨ニ關スルモノハ十六人ニシテ減少スル一人前年ハ十七人 火犯罪ニ係ル者ハ十人ニシテ減少スル一人前年ハ十一人 ナリ仍ホ數年前ニ溯テ之ヲ比較スレハ重罪犯ハ年々遞減スルヲ視ル即チ明治六年ハ死刑九百四十六人ニシテ七年ハ減シテ七百二十二人八年ハ又減シテ四百五十二人本年ハ更ニ減シテ三百七十八人ト爲ル懲役終身ハ明治六年二百二十八人ニシ

テ七年ハ増シテ四百九十七人ニ至ル而ノ八年ハ又減シテ三百三十九人本年  
 ハ更ニ減シテ二百九十六人ト爲ル茲ニ本年懲役終身并死刑ニ處セシ者ノ犯  
 狀ヲ以テ前年ニ比較スル左ノ如シ

罪 狀	懲 役 終 身		八 年 員	死	刑		八 年 員
	八 年 員	九 年 員			增 減	八 年 員	
財ヲ圖リ人ノ子女ヲ乞養シテ殺ス	〇	一	增	三	五	二	減
持 <sup>兇器</sup> 強盜人ヲ殺傷ス	〇	六	六	五七	五四	三	
不持 <sup>兇器</sup> 強盜因テ強姦ス	〇	〇		〇	一	一	
持 <sup>兇器</sup> 強盜得 <sup>財者</sup> 及從 <sup>不持兇器</sup> 未得 <sup>財</sup>	二八	二八		二四四	二三五	九	
強盜ニ畏懼隨行或ハ瞭望財物ヲ接遞ス	三四	一六		〇	〇	二	
強盜ニ畏懼隨行二次ニ及フ	〇	〇		二	〇	〇	
持兇器人家ニ押入り踏躡シテ直ニ逃去	一	〇		〇	〇	〇	
ル自ラ管守スル所ノ金錢物品ヲ盜ム	三	八	五	五	〇	五	

常人官ノ財物ヲ盜ム	三	五	二	五	一	一	四
財物ヲ竊取シ及ヒ掬摸ス	一六二	一四二		〇	一	一	
雇人家長ノ財物ヲ盜ム	〇	五	五	二	一	一	一
雇人脚夫寄托ノ財物ヲ竊取ス	六	〇	六	〇	〇	〇	
村吏民費賦課金ヲ私ニ費用ス	二	〇	二	〇	〇	〇	
竊盜四犯財ヲ得ル	四	〇	四	〇	〇	〇	
人ヲ謀殺ス及ヒ從	〇	〇		二〇	二〇		
人ヲ謀殺スルニ傷シテ死セス及從	〇	二		三	五	二	
謀殺ヲ行ヒ傷セス及ヒ未タ行ハス	〇	一	一	〇	〇		
父母及養父母ヲ謀殺ス	〇	〇		六	二		四
父ヲ毒殺セント謀リ誤テ祖母ヲ殺ス	〇	〇		〇	一	一	
毒藥ヲ用ヒ故ラニ父ヲ疾苦セシム	〇	一	一	〇	〇	一	
夫ノ父ヲ謀殺ス	〇			〇	一	一	

夫ヲ謀殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
姦夫姦婦本夫ヲ毒殺ス <small>夫ヲ殺サント謀リ姦夫ヲシテ下手セシメ行フテ傷セス 前妻ヲ謀殺セントシテ誤テ其母及ヒ子ヲ殺ス</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人ノ兄ヲ謀殺スルニ從ニシテ加功ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
姦夫本夫ヲ謀殺ス姦婦其情ヲ知ラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
妻ヲ謀殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兄ヲ謀殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三等親以下ノ尊長ヲ謀殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人ヲ故殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
母及養母ヲ故殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
妻ヲ故殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三等親以下ノ尊長ヲ故殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

人ニ毒藥ヲ用ヒ全身ヲ痠痒ス <small>人ヲ殺スノ意ナク只毒藥ノ効驗ヲ試ミントシテ人ニ用ヒ死ニ致ス</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
姦夫本夫ヲ毒殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
闘毆人ヲ殺傷ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
父母ヲ毆傷ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子孫ヲ殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
妻ノ母ヲ毆殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
妻ヲ毆テ死ニ致ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
養父ヲ毆テ死ニ致ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人ヲ過失殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
瘋癲人々ヲ殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
瘋癲人母ヲ殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
瘋癲人妻ヲ殺ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

瘋癲人夫ヲ殺ス	人ヲ誣告ス	姦婦姦情ヲ絶テ別レント乞フヲ憤リ兇器ヲ以テ暴威ヲ示シ其婦ヲ死ニ致ス	姦ニ因リ人ヲ殺ス	父子相姦ス	竊盜抗拒シテ事主ヲ傷ス	罪ヲ犯シ逃走追捕ヲ拒ミ或ハ捕吏ヲ毆傷ス	懲役終身ノ囚人逃走ス	獄舎ヨリ喚出ノ中途守衛人ヲ突倒シ逃走ス	竊盜三犯五十圓以下ノ囚脱監逃走ス	若役ノ長キヲ厭ヒ罪ヲ惹テ自ラ死ニ就カント同囚ヲ毆殺ス	同囚ヲ謀殺セント欲シ既ニ傷ヲナス	寶貨ヲ偽造シテ已ニ行使ス及ヒ從
一	〇	一	〇	二	五	五	〇	一	一	〇	〇	一
〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇	四	四
六				二	五	二						三
七	三	一	〇	〇	二	〇	〇	二	〇	〇	〇	〇
八	〇	〇	〇	〇	六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一												
	三	一			一八	二						

寶貨ヲ偽造シテ未タ行使セス	寶貨偽造ノ情ヲ知テ行使或ハ買使ス	寶貨ノ偽造ニ係ルヲ知り雇ヲ受ケ接遞シ眞貨ニ兌換ス	赦前寶貨ヲ偽造シ赦後行使ス	偽造寶貨ノ匠人已ニ行使ス	舊藩ノ紙幣ヲ偽造シテ已ニ行使シ或ハ自ラ手ヲ下サス其偽造ヲ行使ス	三井組ノ証券ヲ偽造シ已ニ行使ス	火ヲ放テ故ラニ公廩倉庫ヲ燒ク	火ヲ放テ故ラニ人ノ宅舎及ヒ田野積聚ノ物ヲ燒ク	瘋癲人火ヲ放テ自己又ハ人ノ宅舎ヲ燒ク	火ヲ放テ自己ノ宅舎ヲ燒キ他ヘ延燒シ因テ財ヲ盜ム	懲役人外役先ヨリ逃走外ニ在テ盜ヲ爲サントシテ民舎ヲ燒ク	公事ニ關シテ餽送ヲ受ク
三	四	一	一	一	二	一	〇	二	一	一	〇	一
	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	一	〇	〇	〇
								二				
三		一	一	一	二	一				一		
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	二三	〇	〇	一	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	二三	〇	〇	〇	〇
							七	一			一	



合計

三八九	二九六	九三	四五二	三七八	七四
-----	-----	----	-----	-----	----

罪犯處斷區別見第七表ニ就テ之ヲ見レハ實斷ノ刑ヲ受ケタル人員處斷ヲ受ケ  
 無力贖フ能ハス實斷四萬千七百七十四人之ヲ前年ニ比較スレハ其減少シタ  
 セラレタル者ヲ合ス七前年ハ四萬七千ナリ贖罪取贖ノ處斷ヲ受ケタル人員ハ力  
 ル丁六千零々三人七前年ハ七千ナリ贖罪取贖ノ處斷ヲ受ケタル人員ハ力  
 贖フ能ハス實斷セ五萬二千四百零三人之ヲ前年ニ比較スレハ其減少シタル  
 一三千百五十三人五前年ハ五萬五千ナリ又贖罪取贖ノ處斷ヲ受ケ無力贖フ能  
 ハス實斷セラレタル人員ノミヲ前年ニ比較スレハ其増加セシ丁五百十九人  
 前年ハ六百六十四人ナリ抑贖罪取贖ハ刑律ノ恩典ナリ然ルニ贖フヘキ資力  
 本年ハ六百八十三人ナリ抑贖罪取贖ハ刑律ノ恩典ナリ然ルニ贖フヘキ資力  
 ナキヨリ此恩典ニ漏レ更ニ實決ノ刑ヲ受クル者前年ヨリ倍加セシハ其因由  
 ヲ確認スルヲ得スト雖モ果シテ民力ノ盛衰ニ關スルモノトセハ亦歎息スヘ  
 キニアラスヤ

本年犯則ノ處斷ヲ受ケタル人員ハ見第十表一萬二千九百五十五人之ヲ前年ニ  
 比スレハ其増加シタル丁千七百八十三人ナリ即チ罰金ニ處セラレタル者ノ  
 増加二千百九十三人前年ハ一萬二千四百九十九人禁獄ニ處セラレタル者ノ増  
 加二十九人前年ハ三十三人罰金ノ上沒收ノ處分ヲ受ケタル者ノ減少四人前年  
 ハ七人

本年罰金禁獄併科セラレタル者ノ増加三十三人前年ハ三十七人本沒收ノミ  
 ノ處分ヲ受ケタル者ノ増加一人前年ハ三人ナリ今此犯則人員ノ著シク増加  
 セシ理由ヲ考フルニ蓋シ前年以來制定セシ罰則ハ一ニシテ足ラス即チ北海  
 道諸産物出港稅則并各港船政規則烟草稅則讒謗律新聞條例度量衡取締條例  
 出版條例西洋形日本船各開港場出入規則寫真條例等ニシテ其結果ヲ本年ニ  
 見ルモノニ似タリ然レモ犯則ノ科目ニ就キ之ヲ見ル片ハ右制定ノ犯則ニ依  
 リ處分セシ人員ハ僅カニ三百零八人ニシテ証券印稅犯則ニ係ルモノ其數一  
 萬零六百四十九人犯則全員十分ノナリ故ニ本年犯則ノ増加セシハ証券印稅  
 違犯ノ者ノミト謂フモ可ナリ乃チ犯則人員ヲ前年ニ比較シテ其増減ヲ証ス  
 ル左ノ如シ

犯則罰名	八年人員		九年人員		八年ヨリ	
	増	減	増	減	増	減
全免	八四四	三六七		四七七		
呵責	一	九	八			
罰金	一〇、三〇六	一二、四九九	二、一九三			
禁獄	四	三三三	二九			

計	罰金沒收		罰金禁獄		沒收	
	八	九	八	九	八	九
一一、二七二	一一	一	四	三	二	一
一二、九五五	七	一	三七	三三	三	一
一、七八三						

罪犯男女生國年齡種族職業ノ區別 自第十三表至第十四表

本年全國ニ於テ常律及ヒ罰則等ニテ處斷セシ犯者ノ總數ハ十一萬八千百三十七人<sup>阿責人員</sup>〔男十萬零九千四百三十二人<sup>內清國人七十六人</sup>アリ女八千七百零五人〕ニシテ前年ニ比スレハ其減少スル丁七千八百十七人ナリ 第一表第五表第十表第十表見合 者男女ノ別年齡種族職業ヲ以テ明治八九兩年ヲ比較スレハ左ノ如シ

年齡種族職業	八 年 人 員		九 年 人 員		八 年 ヨリ	
	男之數	女之數	男之數	女之數	增	減
合計	一一六、八九二	九、〇六二	一〇九、四三二	八、七〇五	七、四六〇	三五七
全員之内	一一六、八九二	九、〇六二	一〇九、四三二	八、七〇五	七、四六〇	三五七
七歲以上十歲以下	一、六六一		一、四七七		一八四	
十歲以上十五歲以下	八、三五六		六、八四一		一、五一五	
十五歲以上二十歲以下	三五、八五九		三三、七六六		二、〇九三	
二十歲以上三十歲以下	三〇、九四二		三二、一八五		一一四三	
三十歲以上四十歲以下	二〇、七八一		二二、七一九		一、九三八	
四十歲以上五十歲以下	一〇、九七七		一一、九七八		一、〇〇一	
五十歲以上六十歲以下	三、四五四		三、八四七		三九三	
六十歲以上七十歲以下	八九〇		八三九		五二	
七十歲以上八十歲以下	二三		二二		一	
八十歲以上九十歲以下	二		〇		二	
九十歲以上						
年齡不詳	一二、九四五		五、三九八		七、五四七	
合計	一二五、九五四		一一八、一三七		七、八一七	
華族	三		一八		一五	
士族	六、八四一		六、八三九		二	

平民	合計	一一九、一一〇	一一一、二八〇	七、八三〇
官吏	一一二五、九五四	一一八、一三七	七、八一七	
准官吏及雇	四〇一	一七七	二二四	
兵卒	五八三	五〇九	七四	
神官及教導職	二	〇	二	
僧尼	六九	一六一	九二	
修驗	五二二	三一七	一九五	
代書代言人	二	〇	二	
新聞編輯人	一七二	五〇	一一三	
醫業	〇	五五	五五	
農業	一五〇	三三一	一八一	
工業	五〇、八三七	五七、八九三	七、〇五六	
商業	三三、三二七	七、九三〇	四、六〇三	
商業	一三三、三二三	一三、七五二	四、二九	
雜業	一一、七五四	二一、三一六	九、五六二	

雇人	四八	八一六	七六八
無職業	四四、七七四	八、七四九	二九、九四四
不分明	一二五、九五四	六、〇八一	七、八一七
合計	一二五、九五四	一一八、一三七	七、八一七

全國罪犯ノ總數ハ減少スト雖右表ノ如ク區分スル片ハ彼此増減アリ而ノ之ヲ八十一國ニ區分スルモ亦然リ第十三表見合乃チ本年對馬一國ノ犯者五百二十三人即チ人口五十八人ニシテ一人ノ率ナリ非常ノ多數ト謂フヘシ右八十一國ノ中對馬ヲ除キ犯者ノ比例最モ多キモノハ左ノ十國ナリトス

- 石狩 九十四人
- 山城 四千二百十一人
- 攝津 六千零十人
- 和泉 千六百十三人
- 上野 三千八百三十二人
- 下野 二千九百七十五人

付人口百零一人  
付人口百零一人  
付人口百零一人  
付人口百零一人  
付人口百零一人  
付人口百零一人  
付人口百零一人  
付人口百零一人  
付人口百零一人  
付人口百零一人

常陸 三千四百八十六人  
 武藏 一萬零五百二十八人  
 羽前 二千九百二十四人  
 紀伊 三千二百二十七人

凡ソ諸國民俗ノ良否ヲ觀ント欲セハ其犯者ノ多寡ヲ詳ニセサルヘカラス但  
 警察事務ノ周密ニ至ルト否トハ大ニ犯者ノ實數ヲ異ニスルモノナレハ宜ク  
 全國警察事務ノ景況ヲ熟察シ然ル後之カ見解ヲ下ス可キノミ然レモ今其事  
 實ヲ証スルニ由ナキヲ以テ先各國ノ犯者ヲ人口ニ對照スル左ノ如シ

十八  
 人口百九十五人  
 人口百九十人  
 人口百九十人  
 人口百九十人  
 人口百九十人

國名	總數			男			女		
	犯罪人員	人口	百分ノ率	犯罪人員	人口	百分ノ率	犯罪人員	人口	千分ノ率
全國 <small>琉球ヲ除ク</small>	一一八、〇五一	一、〇七、七〇三	〇、三四五強	一一〇、一七五	一、〇七、三〇六	〇、六三六弱	七、八四四	一、〇六、三三六	〇、四六六弱
武藏	一〇、五二八	二、〇七六、四四四	〇、五〇七弱	九、六四一	二、〇四〇、三三三	〇、九二七弱	八、八七七	二、〇三六、二二二	〇、八五六弱
山城	四、二一一	四、四三六、三九九	〇、九六四強	三、八三三	二、一七五、五四九	一、七六一弱	三、八一一	二、一八八、八五〇	一、七四一弱
大和	一、七九七	四、四三三、九三八	〇、四一四強	一、六八七	二、一八〇、三三四	〇、七七四弱	一一〇	二、二五九、〇四〇	〇、五〇九強
河内	一、一九八	二、四九九、六三四	〇、四七二弱	一、一三四	二、四九九、七七八	〇、九〇七強	六四	二、四四六、六五六	〇、五一一三強

國名	犯罪人員	人口	百分ノ率	犯罪人員	人口	百分ノ率	犯罪人員	人口	千分ノ率
和泉	一、六一三	二、二〇、九六二	〇、七三〇弱	一、四九六	一、〇九、八九三	一、三六一強	一一七	二、一〇、六九九	一、〇六二強
攝津	六、〇一〇	七、五三三、四二一	〇、七九八弱	五、四九六	三、七四、八二〇	一、四六七弱	五一一	三、七八、六〇一	一、三五八弱
伊賀	三四二	九、八五二、八	〇、三四七強	三三一	四、九三三	〇、六六三弱	一一	四、八五、九五五	〇、二四七弱
伊勢	二、〇三二	六、〇一、六九五	〇、三四五強	一、九五二	三、〇〇、二五六	〇、六五〇強	八〇	三、〇一、四三九	〇、二六五強
志摩	四五	四、九六五、四	〇、〇九一弱	三八	二、三、八一六	〇、一六〇弱	七	二、五八、三八	〇、二七一弱
尾張	三、二二八	七、四九、八九七	〇、四三〇強	二、九五一	三、七二、五二九	〇、七九二強	二七七	三、七三、六六八	〇、七三四強
三河	一、〇七一	四、九四、八一四	〇、二一六強	九九一	二、四四、〇一一	〇、四〇四強	八〇	二、四九、八〇三	〇、三三〇強
遠江	九二八	四、二一、三四二	〇、二二〇強	八三七	二、一三、一九二	〇、三九三弱	九一	二、〇八、一五〇	〇、四三七強
駿河	一、六一〇	三、八二、八一四	〇、四二八強	一、四八八	一、九四、〇〇八	〇、七六七強	一一二	一、八八、八〇六	〇、六四六強
甲斐	一、八一	一、三、七四、二五〇	〇、四八一強	一、七一一	一、八七、一三二	〇、九一六強	八六	一、八七、一一八	〇、四六〇弱
伊豆	二〇六	一、五五、二四八	〇、一三三弱	一九二	七、七、一二六	〇、二四九弱	一四	七、八、一二二	〇、一七九強
相模	一、〇〇〇	三、七二、二五〇	〇、二六九弱	九三七	一、九〇、三三三	〇、四九二強	六三	一、八一、九一七	〇、三四六強
安房	四一五	一、五、六、二四二	〇、二六六弱	三六七	七、七、九六八	〇、四七一弱	四八	七、八、二七四	〇、六一三強

地名	總數			男			女		
	犯罪人員	人口	百分率	犯罪人員	人口	百分率	犯罪人員	人口	千分率
陸中	一、〇〇二	五二、四六九	〇、一九一弱	九三八	二六、九三三	〇、三四八強	六四二	五五、三一	〇、二五一弱
陸奥	七五七	四八、九二四	〇、一五五弱	七二七	二五、二五八	〇、二八四弱	四〇二	三六、六六	〇、一六九強
羽前	二、九二四	五七、八六六	〇、五〇五強	二、八二〇	二九、四〇九	〇、九五九弱	一〇四	二八、五七	〇、三六五強
羽後	一、七二三	六五、七三三	〇、二六二強	一、五八六	三三、四三六	〇、四六二弱	一三七	三一、九四	〇、四三六強
若狹	一一七	八六、四八九	〇、一四五強	一一〇	四三、二五三	〇、二三四弱	一六	四三、二六	〇、三七〇強
越前	一、〇六八	四六、九三六	〇、二二九弱	九八九	二九、二四〇	〇、四二四強	七九	二九、六九	〇、三五二強
加賀	七七五	四二、四六〇	〇、一八三弱	七二八	二二、二八一	〇、三四三弱	四七	二二、三二	〇、二一一強
能登	二五七	二七、八一〇	〇、〇九五弱	二三八	一三、五九九	〇、一七五強	一九	一三、五八	〇、一四〇弱
越中	八六六	六四、四五八	〇、一三三強	八一九	三三、〇一一	〇、二四六弱	四七	三一、四四	〇、一四九弱
越後	四、一二七	一、四四、	〇、二九四弱	三、七九二	三〇、六三三	〇、五三九弱	三三五	三〇、四九	〇、四八四弱
佐渡	一一一	一〇、七六四	〇、一〇六弱	一〇三	五、一八七	〇、一九九弱	八	五、二八	〇、一五一強
丹波	一、〇四一	二九、七三七	〇、三五〇強	九六〇	一五、〇七一	〇、六二二弱	八一	一四、六五	〇、五五二強
丹後	三、〇二一	六二、九八八	〇、一八五強	二七七	八一、五一一	〇、三四〇弱	二五	八一、四七	〇、三〇七弱

地名	總數			男			女		
	犯罪人員	人口	百分率	犯罪人員	人口	百分率	犯罪人員	人口	千分率
陸前	九〇八	五五、七九八	〇、一六三弱	八六七	二八、七八〇	〇、三〇一強	四一二	二七、一七八	〇、一五二弱
岩代	一、三三〇	四四、九二六	〇、二九二弱	一、二二二	二九、五三四	〇、五三二強	八八	二九、六九	〇、四〇一弱
磐城	五三〇	三六、九一四	〇、一四四弱	四八二	一八、八八三	〇、二五四弱	四八	一七、三一一	〇、二四五強
下野	二、九七五	五三、四三六	〇、五五七弱	二、七七二	二六、九三八	一、〇二九強	二〇三	二六、九七八	〇、七六六強
上野	三、八三二	五四、〇七七	〇、七〇九強	三、六〇七	二七、二一一	一、三二五強	二二五	二六、二六	〇、八三九弱
信濃	二、七三四	九五、五九一	〇、二八六強	二、六一三	四八、二七〇	〇、五四一強	一一二	四七、三二	〇、二五六弱
飛彈	一、七二一	一〇、一六〇	〇、一六九強	一、六四	五、二五六	〇、三一二強	八	四九、〇四	〇、一六三強
美濃	二、一八二	二九、二一八	〇、三三五強	一九九	七、三五二	〇、五六九弱	一八	五、三四	〇、五四三弱
近江	二、三〇三	五八、七四七	〇、三九一弱	二、二一五	二九、一七五	〇、七五八強	八八	二九、五七	〇、二九六弱
常陸	三、四八六	六七、九四八	〇、五一一強	三、二八一	三四、五〇三	〇、九五一弱	二〇五	三三、四四	〇、六一三弱
下總	二、八三四	六六、五〇七	〇、四二五弱	二、六二四	三三、六二〇	〇、七八〇強	二一〇	三二、八八	〇、六三九弱
上總	二、〇六一	四三、二〇六	〇、四七七強	一九三	二二、〇二二	〇、八七四弱	一三〇	二二、〇二	〇、六一六強

國名	總數		男		女	
	犯罪人員	人口	犯罪人員	人口	犯罪人員	人口
周防	七三三	五〇七、八二六	六三三	二六〇、八六一	九一二	二四六、九六五
長門	六七一	三三六、七二四	六一八	一七二、八五五	五三一	一六三、八六九
紀伊	三、二七六	三九、六九六	二、九八九	三二四、〇五四	二三八	三一五、六四二
淡路	四七九	一六六、九二五	四三〇	八五、三六〇	四九	八一、五六五
阿波	二、四一五	六二、〇三五	二、二六六	三一四、一四二	一四九	三〇、六〇九
讚岐	一、三四二	五九、一五四	一、二二三	三〇、九〇四	一一〇	二八、二五四
伊豫	二、五六五	七九、三九七	二、四六八	四〇、〇八八	九七	三八、五九九
土佐	一、九一六	五三、三二九	一、八四四	二八、三六七	七二	二五、〇〇三
筑前	二、一六六	四七、三三五	二、〇九六	二三、三二一	七〇	二二、五〇一
筑後	一、〇三四	四〇、〇五四	九九〇	二〇、四、五二三	四四	一、九五、九八一
豐前	一、二二〇	三二、一五六	一、一四八	一六、四〇六	七二	二一、五八〇
豐後	一、五四七	五八、三七四	一、四八九	二九、六四五	五八	二八、七二八
肥前	二、五二五	一、〇〇、〇〇九	二、四二〇	五五、七六四	一〇五	五四、二六五

國名	總數		男		女	
	犯罪人員	人口	犯罪人員	人口	犯罪人員	人口
但馬	四五七	一九一、二四〇	四三四	九七、九六四	二二三	九三、二七六
因幡	五五〇	一六七、〇二〇	五三二	八五、三九〇	一八	八一、六三〇
伯耆	二六四	一九八、九八〇	二三六	一〇、二、三二二	二八	九六、六五八
出雲	一、〇六六	三四二、六二一	一、〇三二	一七六、二五五	三四	一六六、三六六
石見	八六二	二七、〇八〇	七九三	三三九、一七五	六九	一三一、六二九
隱岐	二五	二九、六三二	二二	一四、九九六	三	一四、六三六
播磨	二、五〇七	六五九、六四三	二、二五三	三三六、五九九	二五四	三三三、〇四四
美作	七〇六	二一八、六〇五	六七四	一四、二三一	三二	一〇、四、三七四
備前	九九六	三三七、七四四	九六一	一七七、九〇二	三五	一五九、八四二
備中	一、〇九九	四一、〇九三	一、〇四六	二一、三、二七二	五三	一九七、六五一
備後	一、〇五六	四七、五七〇	九八五	二四、三一五	七一	二二、三五七
安藝	一、四四七	七〇、九九八	一、三三八	一三六、九八四	六六	三四、〇一四

國名	總數			男			女		
	犯罪人員	人口	百分ノ率	犯罪人員	人口	百分ノ率	犯罪人員	人口	千分ノ率
肥後	三三九二	九七六、七五三	〇、三七四強	三、一四九	四八八、七七五	〇、六四四強	二四三	四八七、九七八	〇、四九八弱
日向	四四一	三三八、五〇八	〇、一一四弱	四一七	二〇〇、二八八	〇、二〇八強	二四	一八八、二二〇	〇、一二八弱
大隅	一〇、一二四	〇、二二二	〇、〇四五強	九七	一、一四、六〇三	〇、〇八五弱	四	一〇、九四一九	〇、〇三七弱
薩摩	四〇〇	五九六、六三二	〇、〇六七強	三八六	二、九六、四七四	〇、一三〇強	一四	三〇〇、一五八	〇、〇四七弱
壹岐	四〇	三三三、三〇四	〇、一二〇強	三八	一、七三、〇〇四	〇、二二〇弱	二	一六、〇〇〇	〇、一二五
對馬	五二三	三〇、一〇五	一、七三七強	五〇	九、一五、二九六	三、三二八弱	一四	一四、八〇九	〇、九四五強
石狩	九四	九、五三〇	〇、九八六強	九	五、〇九九	一、七八五弱	三	四、四三一	〇、六七七強
後志	八〇	二〇、八七二	〇、三八三強	七八	一〇、七五七	〇、七四一強	二	一〇、一一五	〇、一九八弱
膽振	二五	七、六三九	〇、三二七強	二四	四、〇一〇	〇、五九九弱	一	三、六二九	〇、二二〇強
渡島	三九四	九、五四〇	〇、四七三弱	三六	五、四七、七八五	〇、七六四弱	二九	四、七六一九	〇、六〇九強
日高	二〇	七、六七六	〇、二六一弱	一八	三、九二一	〇、四五九強	二	三、七五五	〇、五三三弱
釧路	二	二、二七七	〇、〇九〇弱	二	一、一六二	〇、一二二強		一、一一五	

北見	天塩	籍不分明	無籍	琉球	清國
一	三	一、二〇六	三三	一〇	七六
一、六〇四	一、八九六				
〇、〇二三強	〇、一五八強				
一	三	一、一〇〇			
八一九	一、〇〇五				
〇、一二二強	〇、二九九弱				
		一〇六			
七八五	八九一				

宗門 自第二十五表 至第二十八表

總計表犯者ノ宗門ヲ掲クルハ唯舊慣ニ依ル蓋シ幕政ノ時切支丹宗ノ禁特ニ嚴ナルヲ以テ罪人ヲ糾彈スルニ首トシテ其宗門ヲ問フ此ノ因習自カラ今日ニ存スル者ニシテ全ク犯者ノ多寡ニ依テ宗門ノ良否ヲ考究スルノ趣意ニ非ス然レレ之ヲ表ニ掲クル片ハ其増減ヲ以テ各宗門ノ總人員ニ對照シ其結果ヲ示スヘキハ勿論ナリト雖レ其財料未タ備ハラス且之ヲ考究スルモ畢竟無益ノ業ニ似タルヲ以テ今敢テ之レカ説明ヲ爲サ、ルナリ

懲役限内加等減等區別 自第二十九表至第三十二表

懲役限内逃亡及ヒ禁獄中擅出シ外ニ在テ罪ヲ犯シ役限ヲ増加セシ者千四百三十一人男千四百零一人ナリ内棒鎖ノ上役限増加セラル、者四百三十五人單ニ役限ノミヲ増加セラル、者六百零五人棒鎖閤室ノ處分ヲ受クル者三百二十六人自首免罪ノ者六十五人ナリ 第二十九表見合

懲役限内種々ノ理由ニ因リ役限ヲ減縮セラル、者千二百二十一人男ハ千二百零一人女ハ二十人内擬律ノ錯誤ヲ改正セシ者三十一人同囚ノ逃亡反獄ヲ首報シ或ハ火災ノ變ニ際シ消防ニ盡力セシ等ニテ減役セラル、者九百十三人祖父母父母老疾ニ係リ侍養ヲ聽サレタルモノ六十九人廢篤疾ニ係リ收贖セラル、者二百零七人幼年無力ニテ折半服役中隣佑ノ者代テ贖金ヲ納完シ放免セラレタル者一人ナリ 第三十一表見合

大審院各裁判事務景況 自第三十二表至第三十七表

大審院ニ於テ本年受クル所ノ刑事件數ハ各上等裁判所ヨリ出ス處ノ死罪案ヲ合シテ四百四十六件人員六百三十一人ナリ 第三十三表見合 此中國事犯ハ五件人員二十七人ニシテ結局ニ至リシモノ三件人員九人未決二件十八人ナリ上告

ハ百十九件人員百八十七人ニシテ結局ニ至リシモノ八十五件人員百四十二人未決三十四件人員四十五人ナリ右結局件數中破毀ニ係ルモノヲ舉レハ囚人上告五十一件ニシテ破毀ニ係ル者十二件檢事上告九件ニシテ破毀ニ係ル者七件警察官上告十八件ニシテ破毀ニ係ル者十四件ナリ此破毀件數ヲ上告總數ニ比例スレハ十分ノ二九七強 前年ハ十分ノ零六零 ナリ然シテ上告破毀セラレタル原裁判廳ハ府縣裁判所ノ部分ニ於テ之ヲ詳説スヘシ

各上等裁判所ヨリ送呈スル死罪案ノ數ハ三百三十五件人員四百三十四人ナリ此中結局ニ至リシモノヲ舉クレハ原案通批可還附セシモノ二百九十三件人員三百六十四人改正條例ニ依リ處分スヘキ旨ヲ以テ上等裁判所へ還附セシモノ七件人員十人罪人逃亡還附セシモノ一件一人未決六十九件人員九十六人ナリ即チ左ノ如シ

國事犯		件數	人員
三	九		
認庭内犯罪		一	一



合計	未決				既決					
	死罪案	上告刑事	判事犯罪	國事犯	規則外ノ者上告	檢事上告	警察官上告	死罪案批可濟		
									計	計
四九七	六九	三四	一	二	三〇三	一八	九	七	五一	六八
一〇六	六九	三四	一	二	三〇三	一八	九	七	五一	六八
一六〇	九六	四五	一	一八	三七八	三一	一一	三二	六八	
六九〇										

各上等裁判所ニ於テ本年受クル所ノ刑事總數ハ新舊合シテ九百三十七件人員千二百九十四人<sup>第三十四表</sup>見合ナリ此中上等裁判所ニ於テ直チニ處分セシ件數<sup>民刑事審理中發覺</sup>ハ百七十件人員二百三十四人ニシテ未決ハ十四件人員四

十八人トス

各府縣裁判所各縣ヨリ送呈スル懲役終身罪按ハ四百五十一件人員五百十二人ニシテ結局ニ至リシ者四百十五件人員四百五十五人未決三十六件人員五十七人ナリ  
各府縣裁判所各縣ヨリ送呈スル死罪案ハ三百七十二件人員四百七十四人ニシテ結局ニ至リシ者二百六十一件人員三百五十一人未決百零三件人員百四十九人ナリ本年各廳事務ノ繁簡ヲ示ス左ノ如シ

各上等裁判所直ニ處分セシ刑事	既決				各上等裁判所直ニ處分セシ刑事	計
	各府縣裁判所各縣ヨリ送呈スル <sup>懲役終身罪案</sup>	各府縣裁判所各縣ヨリ差出スル死罪案	計	計		
五	一七三	一七三	三四〇	三四〇	五	東京
五	八二	八二	三三四	三三四	五	大坂
〇	四	四	四八	四八	〇	宮城
四	二	二	六二	六二	四	長崎
一四	二六一	二六一	七八四	七八四	一四	計
二二	二三八	二三八	四五二	四五二	二二	東京
二一	一〇七	一〇七	四一三	四一三	二一	大坂
〇	四	四	四九	四九	〇	宮城
五	二	二	一二七	一二七	五	長崎
四八	三五一	三五一	一〇四〇	一〇四〇	四八	計

合計	計	未決	
		各府縣裁判所各縣ヨリ送呈スル罪案	各府縣裁判所各縣ヨリ送呈スル罪案
四二二	八二	五八	一九
三八六	五二	三四	一三
五九	一一	七	四
七〇	八	四	〇
九三七	一五三	一〇三	三六
五八一	一三〇	八六	二二
五一七	一〇四	五二	三一
六〇	一一	七	四
一三六	九	四	〇
二二九四	二五四	一四九	五七

各府縣裁判所及ヒ各縣ニ於テ本年受クル所ノ刑事總數ハ九萬零二千四百五十六件人員十三萬六千三百六十一人ナリ第三十五表見合之ヲ前年ニ比スレハ其件數ノ減少スル一萬千七百九十六件ニシテ人員ハ之ニ反シ千三百三十四人ヲ増加セリ前年ハ十萬零四千二百五十二人故ニ件數ハ凡ソ九分ノ一ヲ減少シ人員ハ凡ソ百分ノ一ヲ増加セリ然レモ各廳ニ就テ之ヲ見ル片ハ各増減スルモノアリ即チ其増加セシモノヲ舉クレハ京都裁判所ハ二千三百六十三件人員五千七百二十三人ヲ増加シ前年ハ五千二百三十八件人員六千九百六十六人新瀉水戸愛知高知山口ノ五裁判所及ヒ愛媛縣ハ各千件以上ヲ増加セリ又減少セシモノヲ舉クレハ三瀨縣ハ二千六百零一件人員二千八百二十九人ヲ減少シ前年ハ二千六百零一件人員七百八十二人茨城山梨大坂ノ三裁判所愛知奈良高知名東山口熊本ノ六縣ハ各千件以上ヲ減少セリ

各廳如是増減アリト雖モ之ヲ要スルニ前年以來各地ニ裁判所ヲ増設シ其管轄ノ伸縮ニ由ル者アルヲ以テ其事實ヲ詳ニスルヲ得ス

各府縣裁判所及ヒ各縣ノ判決ニ對シ上告ヲ爲ス者百零三件人員百二十九人ナリ而シテ其上告件數中破毀セラレタル原裁判所ヲ舉レハ東京裁判所ハ既決二十七件ニシテ破毀五件大坂裁判所ハ既決八件ニシテ破毀一件堺縣ハ既決五件ニシテ破毀四件愛媛縣ハ既決八件ニシテ破毀八件廣島縣ハ既決二件ニシテ破毀一件長崎裁判所ハ既決二件ニシテ破毀一件ナリ其他ノ諸裁判所各縣ニハ破毀件數ナシ

各府縣裁判所及ヒ各縣ヨリ各上等裁判所へ送致スル死罪案ノ總數ハ三百六十七件人員四百八十一人ニシテ上等裁判所ニ於テ受領セシ數ト照合セス又上等裁判所ヨリ大審院へ出ス所ノ數ト同院ニテ受領セシ所ノ數ト照合セス懲役終身案ハ府縣裁判所及各縣ヨリ上等裁判所へ送呈スル所ノ數四百十九件人員四百八十四人ニシテ亦上等裁判所ニテ受領セシ數ト照合セス上告モ亦大審院ノ既決件數ト府縣裁判所各縣ノ既決件數ト照合セス是レ遞送歳尾ニ際シ本年彼ヲ發スト雖モ未タ此ニ達セス前年彼ヲ發シテ本年ニ至リ始テ此ニ達スル等ノ者アルニ因ルナリ

死罪ニ該ル者ノ罪狀刑名自第三十八表至第四十表

本年死罪ヲ犯シ管轄裁判所へ交附セラレタル被告人ノ數ハ三百九十一人三十八表ニシテ戸婚律ニ係ル者五人賊盜律ニ係ル者二百八十五人人命律ニ係ル者四十五人捕亡律ニ係ル者六人雜犯律ニ係ル者二百二十九人ナリ内減等死ヲ出スモノ僅カニ十三人ニシテ死刑ニ執行セラル、者三百七十八人ナリ今其犯狀ト刑名トヲ前年ニ比較シテ其増減ヲ示ス左ノ如シ

罪狀	八 年		九 年		八 年ヨリ	
	絞	斬	絞	斬	増	減
戸婚 財ヲ圖リ人ノ子女ヲ乞養シテ殺ス		三			二	
自ラ監守スル處ノ財物ヲ盜ム	五		〇	〇		五
常人官ノ財物ヲ盜ム	五		一			四
雇人家長ノ財物ヲ盜ム	二		一			一
持兇器強盜人ヲ殺傷ス		五六	一〇	二八〇	二二三	

捕	犯姦	毆	闘	命	人				盜										
					兄ヲ謀殺ス	闘毆人ヲ殺ス	養父ヲ毆チ死ニ致シ母ヲ毆チ傷ヲ成ス	姦ニ仍リ人ヲ殺ス	懲役終身ノ囚人逃走ス	全四ヲ毆殺ス	持兇器強盜財ヲ得ル	全上財ヲ得ス	全上脅誘セラレ畏懼隨行二次ニ及フ	懲役終身ノ囚人竊盜四犯財ヲ得ル	人ヲ謀殺セシ者及從タル者	祖母及養父母夫ノ父母ヲ謀殺ス	姦夫姦婦本夫ヲ殺ス	夫妻ヲ謀殺シ妻夫ヲ謀殺ス	三等親以下ノ尊長ヲ謀殺ス
				〇	二		一	六	〇		一六								
			一四	〇	〇		二	二五	〇	二	二二八								
				〇	二		六	三	〇										
			〇	〇	一		一	九	一	〇	〇	〇							
			〇	二	一		一	二一		〇	〇	〇							
			〇	一	一		五			〇	〇	〇							
				二	一		一		一										
			一四				一	四		二	一六	二二八							
			二																
			一四																
			一																
			二四																

犯	雜		詐偽		七	
	公事ニ關シテ餽送ヲ受ク	火ヲ放テ人ノ宅舍ヲ燒ク	火ヲ放テ公廨倉庫及大教院ヲ燒ク	實貨ヲ偽造シテ己ニ行使ス	罪人追捕ヲ拒キ捕吏ヲ傷ス	全四ヲ謀殺セント欲シ既ニ傷ヲ成ス
計	六八	二	二	七	二	三
	三七一	一	八	七		
	一三					
	三〇	〇	〇	〇	〇	〇
	三四一	〇	〇	八	〇	〇
	七	〇	〇		〇	〇
				一		
	七四	一	八		二	三

減等加等 自第四十一表至第四十四表

本年常事犯被告人ノ内全免及減等ノ處分ヲ受クル者七千八百三十一人ナリ  
 第四十一表見合 之ヲ前年ニ比スレハ二百五十九人ヲ増加セリ 前年ハ七千五百七十二人 即チ一等減ハ三千七百三十二人二等減ハ二千三百四十人三等減ハ千零八十九人四等減ハ二百九十九人五等減ハ三百七十一人トス又加等ノ刑ヲ受ル者ハ四千六百八十四人ナリ之ヲ前年ニ比スレハ三百六十三人ヲ増加セリ 前年ハ四千一百一十人 即チ再犯ハ三千三百人三犯ハ千零五十三人四犯ハ八十八人脱監越獄逃走百人責付中逃走九十九人罪人拒捕五十二人ナリ

二罪俱發 自第四十五表至第四十七表

二罪以上俱發スル者五千八百五十九人ナリ 第四十五表見合 之ヲ前年ニ比スレハ五百六十六人ヲ増加セリ 前年ハ五千二百九十三人 即チ二罪俱發スル者三千九百七十四人三罪俱發スル者四百五十三人四罪俱發スル者六十五人五罪俱發スル者十人 賍罪併發スル者千三百五十七人トス

二度以上刑ヲ受ケシ者 第四十八表

二度以上刑ヲ受ケシ者七千六百六十一人ナリ之ヲ前年ニ比スレハ二千四百七十六人ヲ増加セリ 前年ハ五千八百八十五人 即チ二度刑ヲ受ケタル者五千零八十三人三度刑ヲ受ケタル者千七百七十六人四度刑ヲ受ケタル者五千零七人五度刑ヲ受ケタル者百四十八人六度刑ヲ受ケタル者六十四人七度刑ヲ受ケタル者二十二人八度刑ヲ受ケタル者五十四人九度刑ヲ受ケタル者七人ナリ

滯獄曠過、存留養親、瘋癲人、及士族収祿、死後刑名宣告、外國人關涉、清國人處